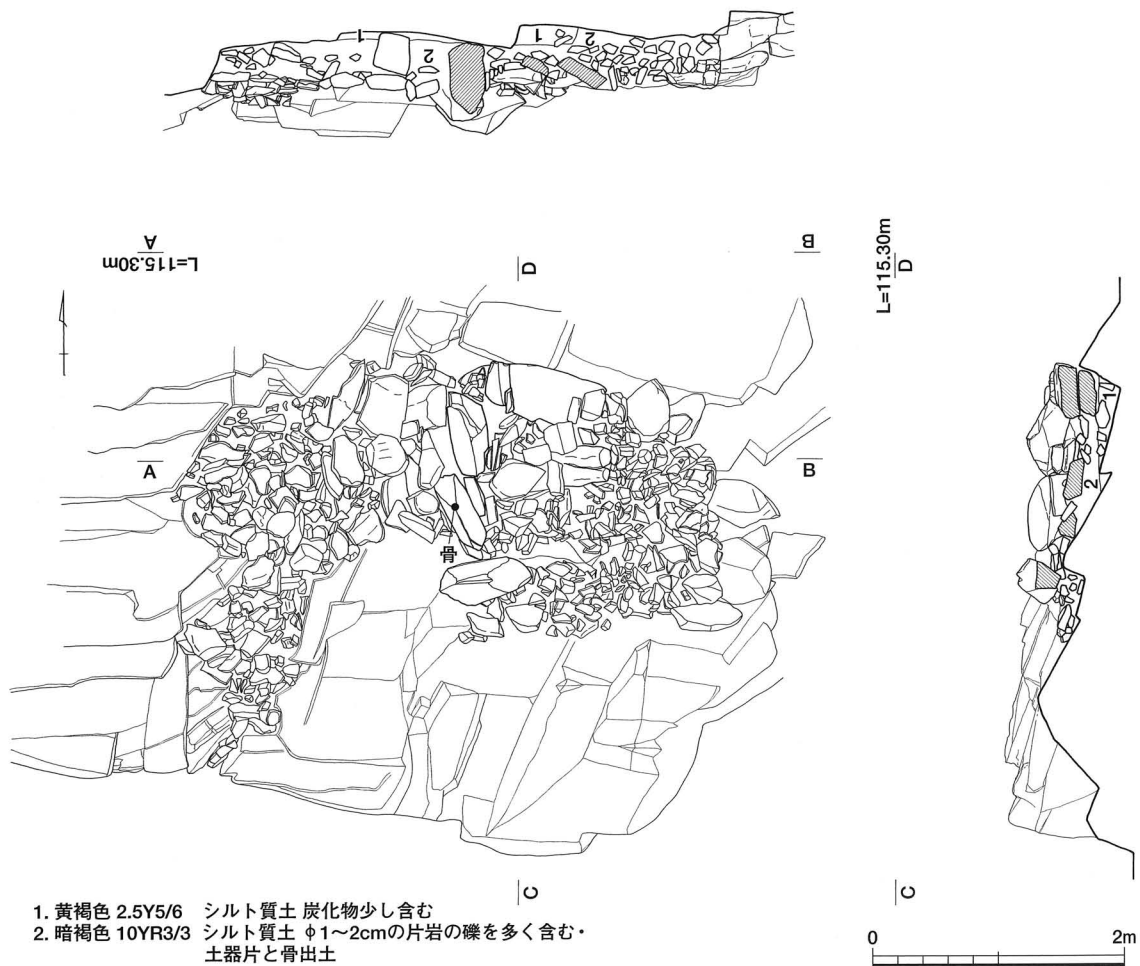




第47図 F区ST1002検出状況図

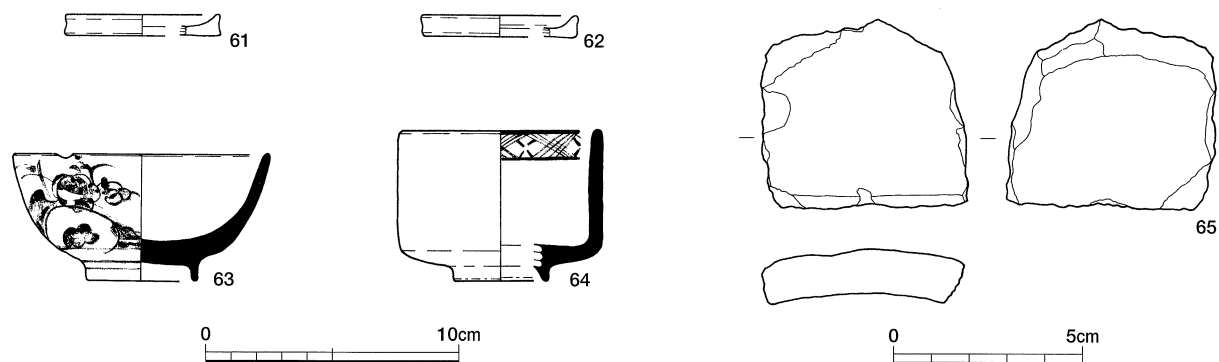


第48図 F区ST1002見通し図



1. 黄褐色 2.5Y5/6 シルト質土 炭化物少し含む
2. 暗褐色 10YR3/3 シルト質土 φ1~2cmの片岩の礫を多く含む・土器片と骨出土

第49図 F区ST1002 1号埋葬施設平・断面遺物出土状況図



第50図 F区ST1002出土遺物

して塚が形成されている。

この小礫に被覆された第1層を除去すると、とくに目立った配列や区画はないが30~40cm大の大型礫を用いてある程度塚としての範囲をつくり出し、この範囲の中の南西側において埋葬施設が1基確認できた。

1号埋葬施設（第49図）

2号塚の南側に位置する。検出グリッドはV-22グリッドである。0.5~1m大を測る岩盤礫（結晶片岩）を用い、一部が途切れるもののほぼ方形に礫を配して囲みをつくり出している。北側には東西に小口をもつ長方形の板石を水平に置き、奥壁の相当するものを形成する。さらに両側壁に相当する位置には長方形を呈する岩塊を立てて配している。南側の壁は不明である。よってこの埋葬施設の規模は残存値ながら長軸1.95m、短軸1.35m、深さ0.7mを測る。床面は、比較的水平を意識しつつ10cm前後の角礫を用いて敷き詰めている。

出土遺物は61、62は土師器の小皿である。63、64は磁器の碗である。65は土師質の平瓦である。

不明遺構（SX）

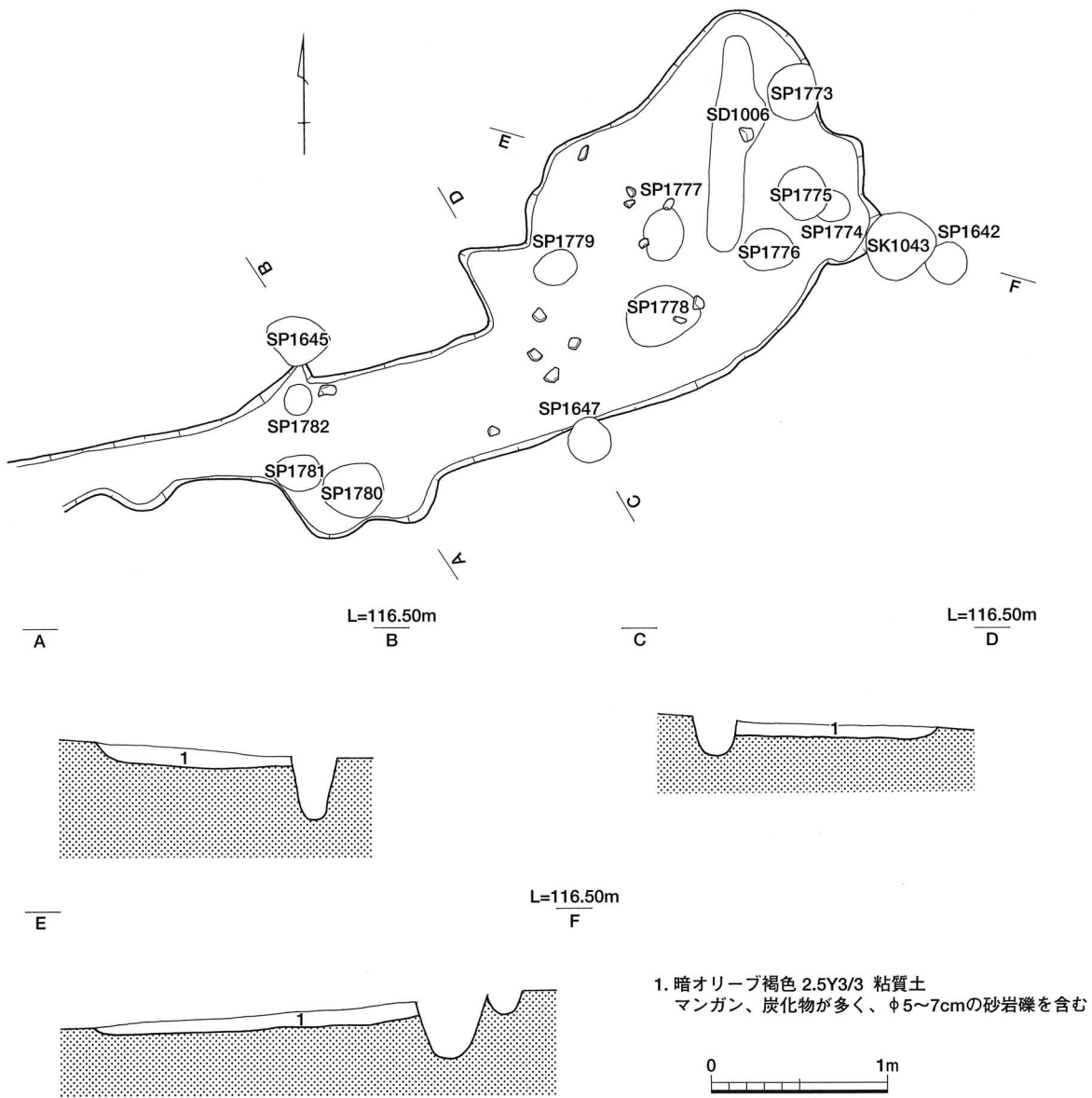
2号不明遺構（SX1002）（第51・52図）

D区の西側に位置する。検出グリッドはO・P-5・6グリッドである。遺構の西端は調査区外に延び、SD1006、SP1774~1776、1778~1780、1782を切り、SA1003（SP1777、1781）、SK1043、SP1645、1647に切られる。遺構平面形状は北東側がふくらんだ溝に近い形状を呈し、遺構断面形状は浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸4.9m、短軸0.3m、深さ0.17mを測る。

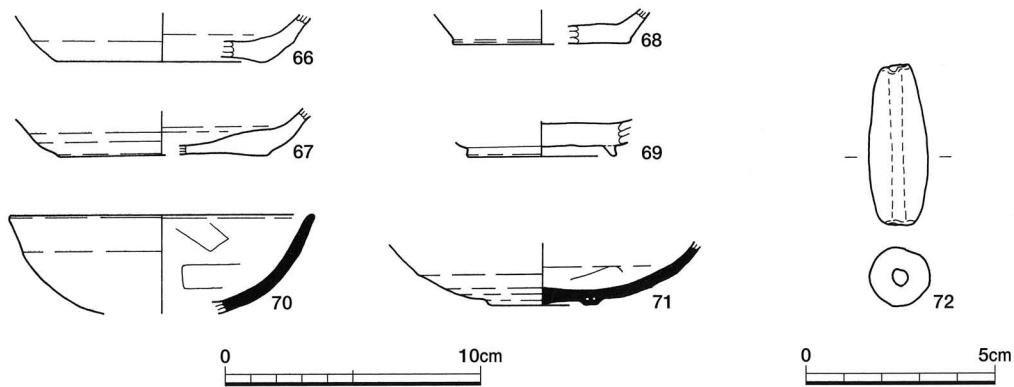
遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。この遺構埋土中にはφ6cm前後の砂岩礫が含まれていた。

66~68は土師器の杯である。69は土師器の碗である。70、71は須恵器の碗である。72は管状土錘である。

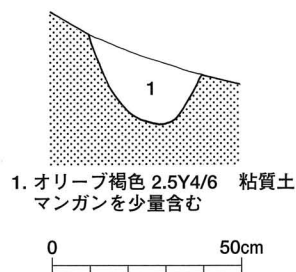
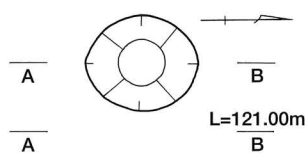
遺構の時期は、13世紀半ばから後半にかけてと考えられる。



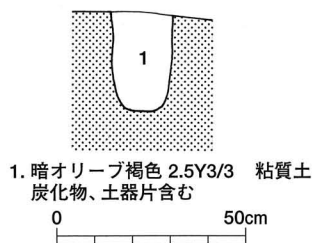
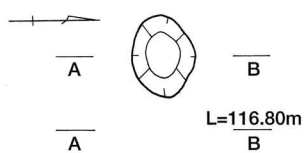
第51図 D区SX1002平・断面遺物出土状況図



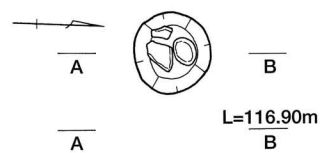
第52図 D区SX1002出土遺物



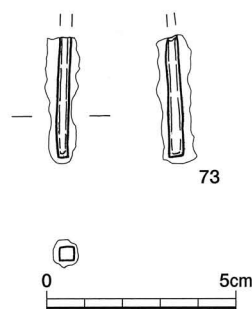
第53図 B区SP1041平・断面図



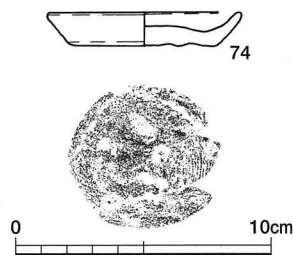
第55図 D区SP1306平・断面図



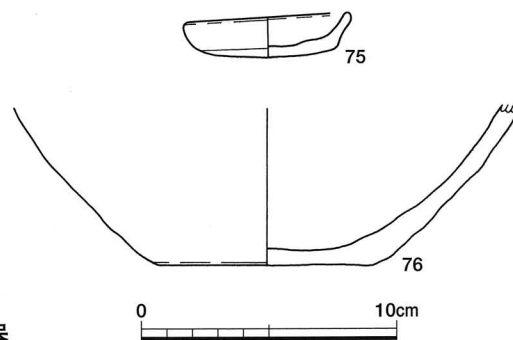
第57図 D区SP1325平・断面遺物出土状況図



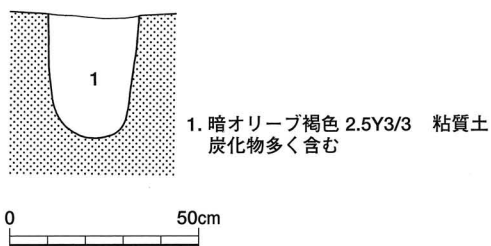
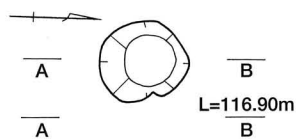
第54図 B区SP1041出土鉄器



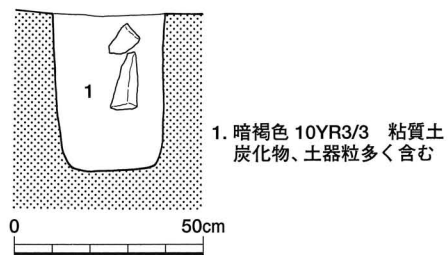
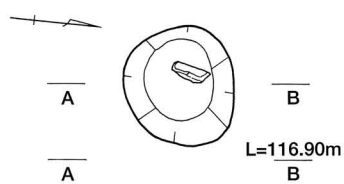
第56図 D区SP1306出土土器



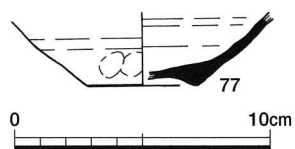
第58図 D区SP1325出土土器



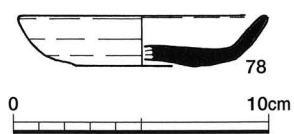
第59図 D区SP1326平・断面図



第61図 D区SP1329平・断面遺物出土状況図



第60図 D区SP1326出土土器



第62図 D区SP1329出土土器

小穴・柱穴 (SP)

41号小穴 (SP1041) (第53・54図)

B区の中央に位置する。検出グリッドはH-7グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.3m、深さ0.24mを測る。

遺構埋土はオリブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

73は鉄製釘である。

306号小穴 (SP1306) (第55・56図)

D区の東側に位置する。検出グリッドはP-11グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.22m、深さ0.27mを測る。

遺構埋土は暗オリブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物を含む。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

74は土師器の小皿である。

325号小穴 (SP1325) (第57・58図)

D区の中央に位置する。検出グリッドはO-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.21m、深さ0.18mを測る。

遺構埋土はオリブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。遺構の上層より結晶片岩の小礫とともに土師器の小皿と上半部を打ち欠いて鉢に転用したと思われる土師器の甕底部が出土している。何らかの祭祀行為が行われたのであろうか、詳細は判断できなかった。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

75は土師器の小皿である。76は土師器の甕である。

326号小穴 (SP1326) (第59・60図)

D区の中央に位置する。検出グリッドはO-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.24m、深さ0.34mを測る。

遺構埋土は暗オリブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には多くの炭化物が含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

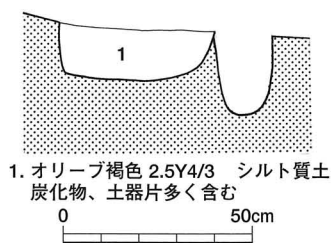
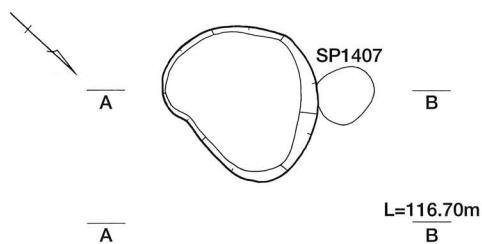
77は須恵器の椀である。

329号小穴 (SP1329) (第61・62図)

D区の中央に位置する。検出グリッドはO-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.32m、深さ0.41mを測る。

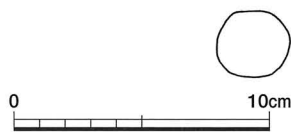
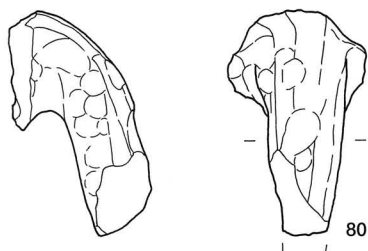
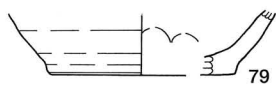
遺構埋土は暗褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

78は磁器の小皿である。



1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 シルト質土
炭化物、土器片多く含む

第63図 D区SP1406平・断面図



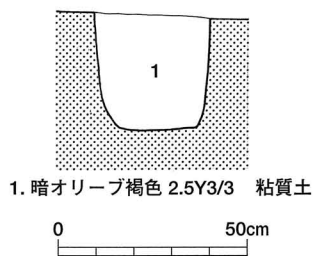
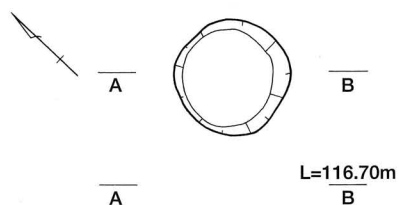
第64図 D区SP1406出土土器

406号小穴 (SP1406) (第63・64図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはO-9グリッドである。遺構の北西側をSP1407を切る。遺構平面形状は北西-南東に長軸をもち東側が括れる不整楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.43m、深さ0.15mを測る。

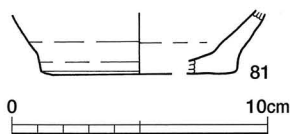
遺構埋土は、オリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

79は土師器の杯である。80は土師器羽釜の脚部である。

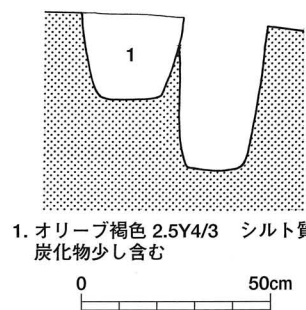
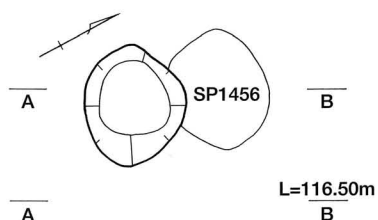


1. 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 粘質土

第65図 D区SP1408平・断面図

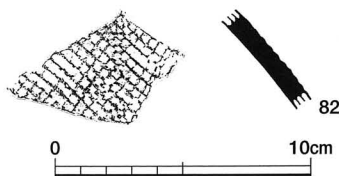


第66図 D区SP1408出土土器



1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 シルト質土
炭化物少し含む

第67図 D区SP1455平・断面図



第68図 D区SP1455出土土器

408号小穴 (SP1408) (第65・66図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはO-9グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.31m、深さ0.31mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

81は土師器の杯である。

455号小穴 (SP1455) (第67・68図)

D区の東側に位置する。検出グリッドはP-11グリッドである。遺構の北側でSP1456を切る。遺構平面形状は東西に長軸をもつ不整楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.32m、深さ0.23mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

82は須恵器の甕である。

484号小穴 (SP1484) (第69・70図)

D区の中央に位置する。検出グリッドはP-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.25m、深さ0.29mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

83は鉄製釘である。

552号小穴 (SP1552) (第71・72図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP・Q-7グリッドである。遺構の南東側でSP1551を切り、南西側でSP1553を切る。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.18mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

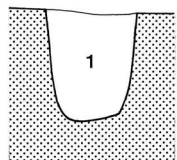
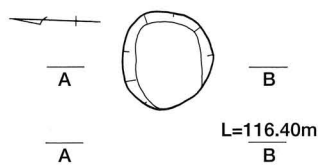
84は土師器の椀である。

554号小穴 (SP1554) (第73・74図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.27m、深さ0.32mを測る。

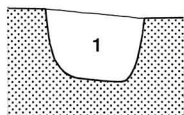
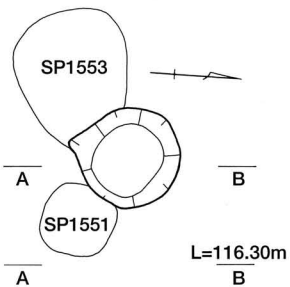
遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

85は土師器の小皿である。



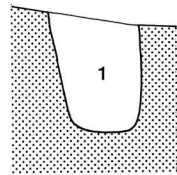
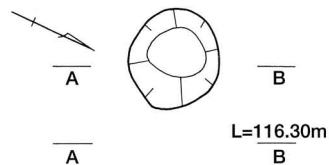
1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 シルト質土
マンガン、炭化物小礫を多く含む

第69図 D区SP1484平・断面図



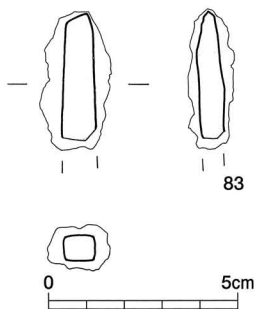
1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土
炭化物、マンガンを多く含む・小礫を少し含む

第71図 D区SP1552平・断面図



1. 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 砂質土
マンガン多く、炭化物を少し含む

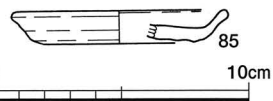
第73図 D区SP1554平・断面図



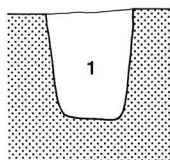
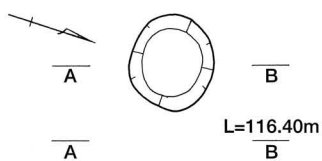
第70図 D区SP1484出土鉄器



第72図 D区SP1552出土土器

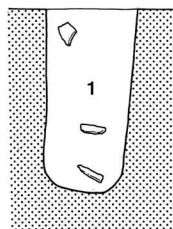
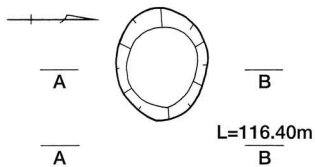


第74図 D区SP1554出土土器



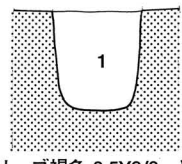
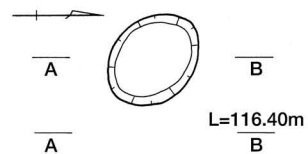
1. 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 シルト質土
マンガン多く、土器粒を少し含む

第75図 D区SP1565平・断面図



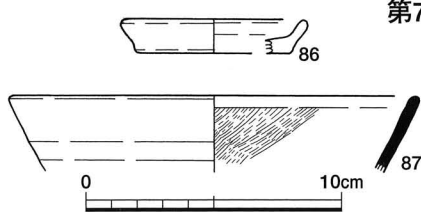
1. 暗灰黄色 2.5Y4/2 シルト質土
マンガン多く、炭化物と土器粒を少し含む

第77図 D区SP1567平・断面遺物出土状況図

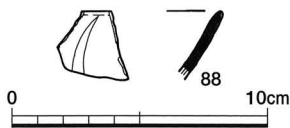


1. 暗オリーブ褐色 2.5Y3/3 粘質土
マンガン多く、炭化物と土器粒を少し含む

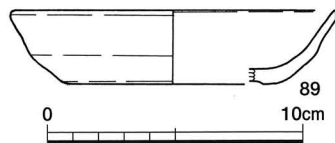
第79図 D区SP1572平・断面図



第76図 D区SP1565出土土器



第78図 D区SP1567出土土器



第80図 D区SP1572出土土器

565号小穴 (SP1565) (第75・76図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.26m、深さ0.29mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

86は土師器の小皿である。87は須恵器の椀である。

567号小穴 (SP1567) (第77・78図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.50mを測る。

遺構埋土は暗灰黄色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

88は青磁の碗である。

572号小穴 (SP1572) (第79・80図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は北西-南東に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.28m、深さ0.29mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

89は土師器の杯である。

587号小穴 (SP1587) (第81・82図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.32m、深さ0.14mを測る。

遺構埋土は暗灰黄色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

90は青磁の碗である。

619号小穴 (SP1619) (第83・84図)

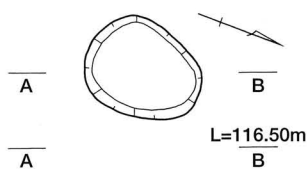
D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.32mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には比較的大型の岩盤礫が含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

91は白磁の碗である。

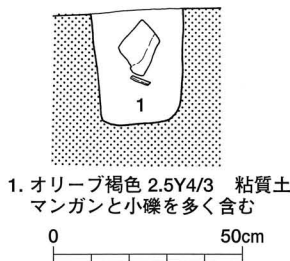
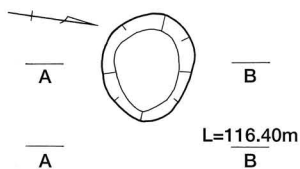
644号小穴 (SP1644) (第85・86図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-6グリッドである。遺構平面形状は不整円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.24m、深さ0.32mを測る。



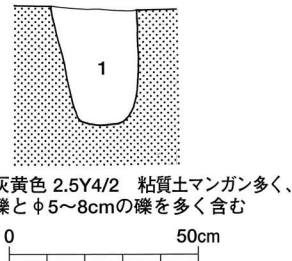
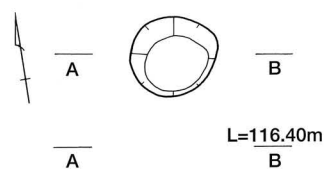
1. 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土
炭化物多く、マンガンを少し含む

第81図 D区SP1587平・断面図



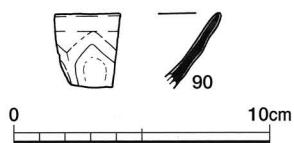
1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土
マンガンと小礫を多く含む

第83図 D区SP1619平・断面遺物出土状況図

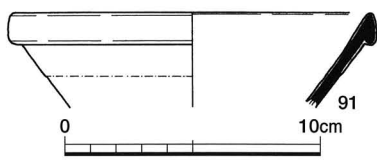


1. 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土マンガン多く、
小礫とφ5~8cmの礫を多く含む

第85図 D区SP1644平・断面図



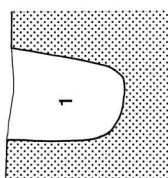
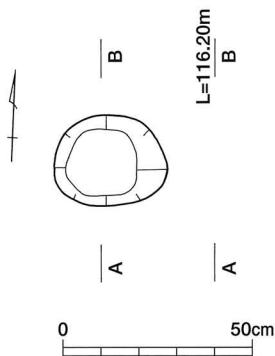
第82図 D区SP1587出土土器



第84図 D区SP1619出土土器

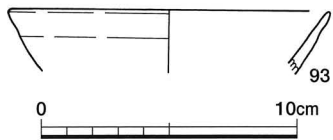


第86図 D区SP1644出土土器



1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土
マンガン、土器粒を少し含む

第87図 D区SP1776平・断面図



第88図 D区SP1776出土土器

遺構埋土は暗灰黄色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

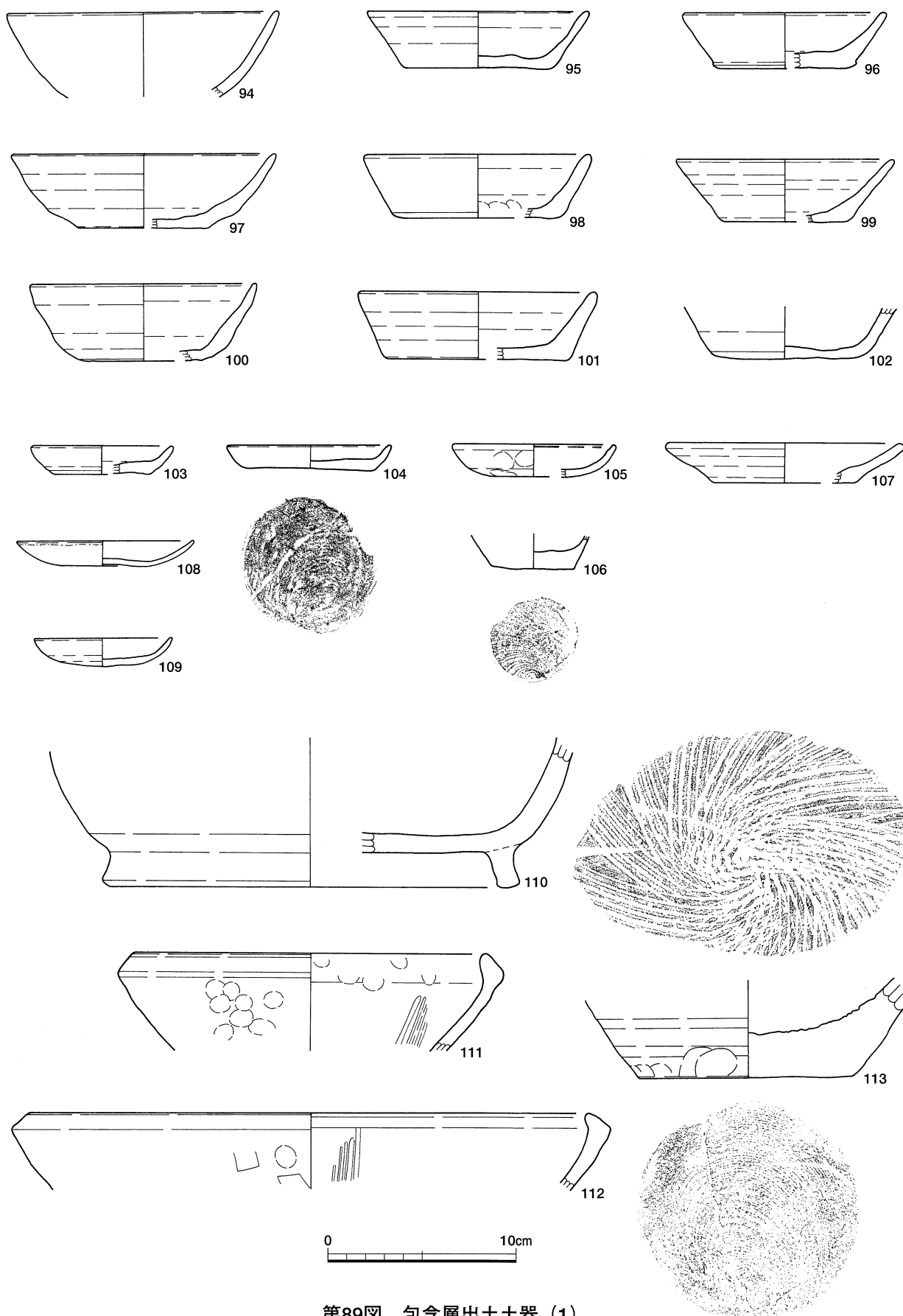
92は須恵器の椀である。

776号小穴 (SP1776) (第87・88図)

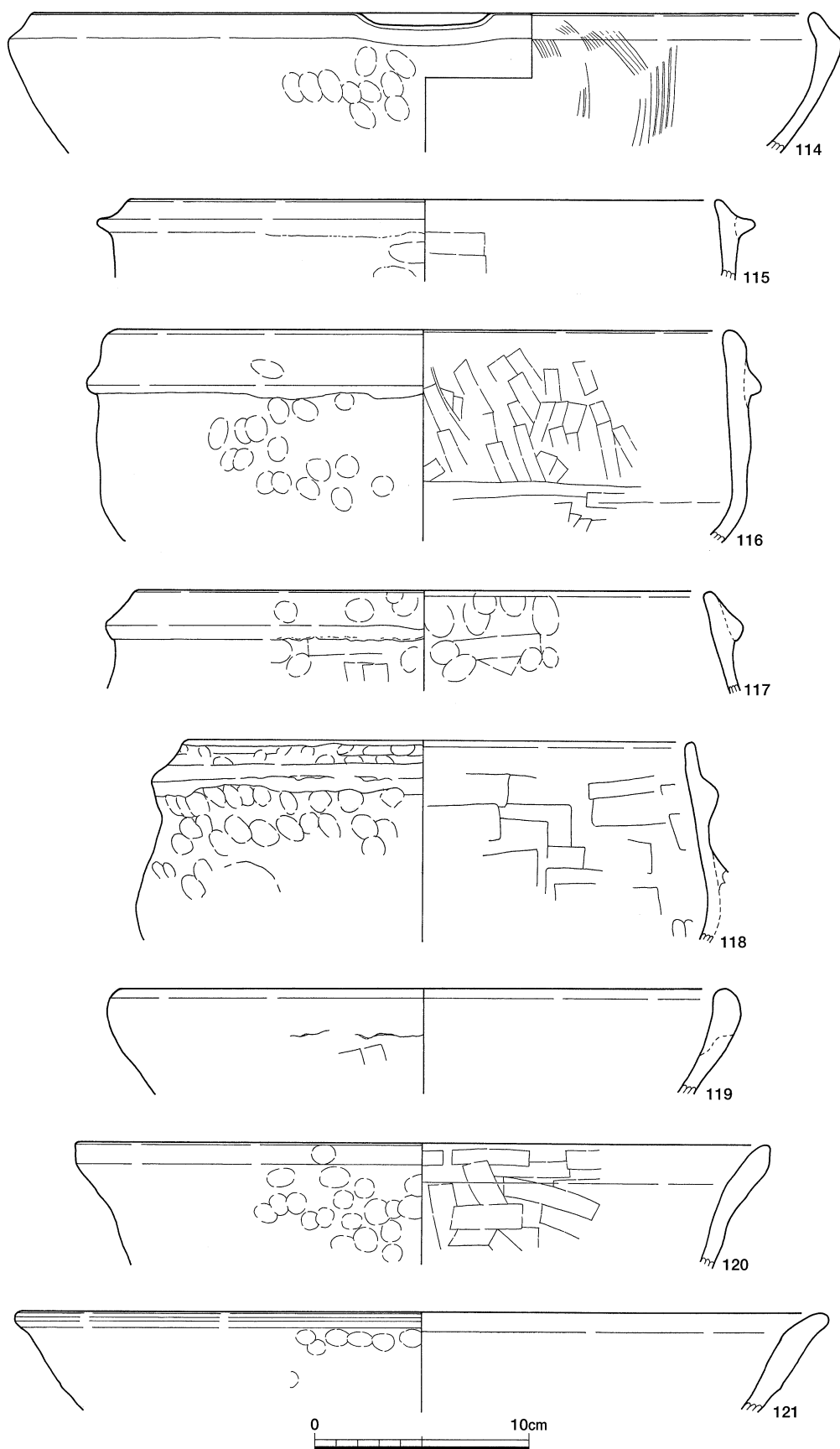
D区の西側に位置する。検出グリッドはP-6グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.31mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

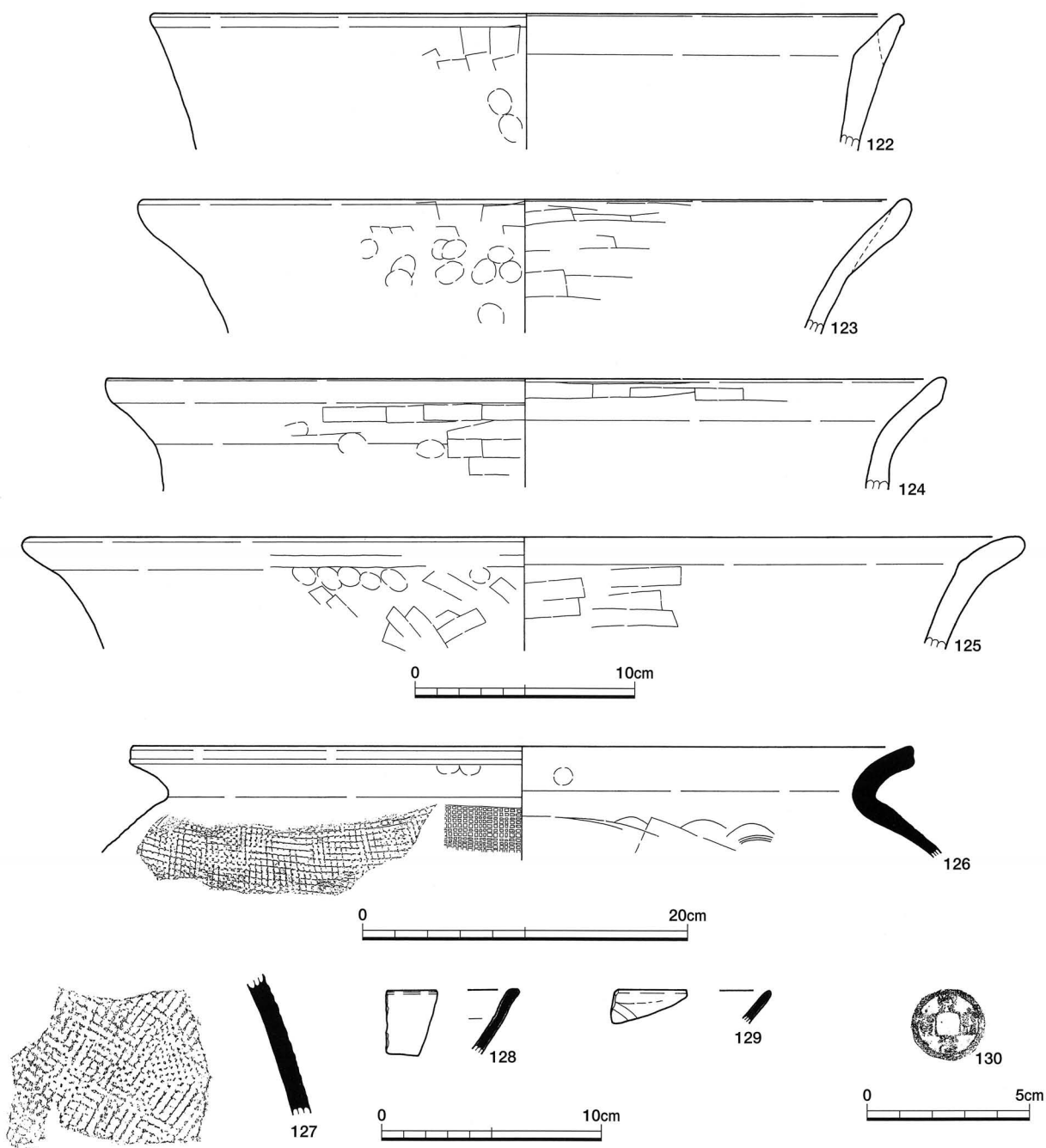
93は土師器の杯である。



第89图 包含層出土土器 (1)



第90図 包含層出土土器 (2)

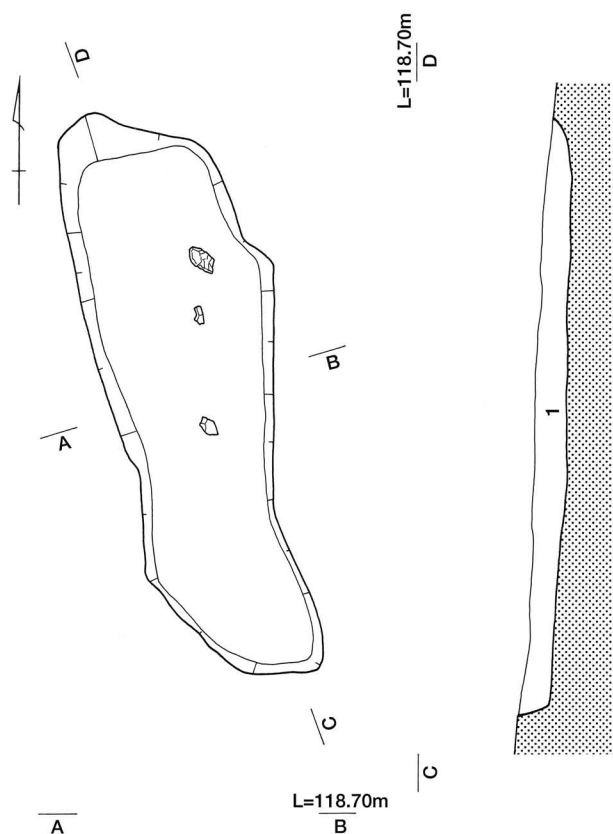


第91図 包含層出土遺物 (3)

包含層出土遺物 (第89~91図)

包含層出土遺物は遺構密度の高いD区から比較的多く出土した。とくに土師器を中心として出土しており杯・小皿などの食器や羽釜・鍋などの煮沸具が主体をなしている。

94~102は土師器の杯である。103~109は土師器の小皿である。110は土師器の甕または鉢である。111~113は土師器の擂り鉢である。114~118は土師器の羽釜である。119~125は土師器の鍋である。126、127は須恵器の甕である。128は白磁の碗である。129は青磁の碗である。130は北宋銭の「熙寧元寶」である。



近世

土坑 (SK)

3号土坑 (SK1003) (第92・93図)

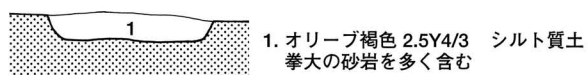
C区の北側に位置する。検出グリッドはM-10グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ不整長方形を呈し、遺構断面形状は浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸2.38m、短軸0.52m、深さ0.22mを測る。

遺構埋土はオリブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。

131は磁器の碗である。132、133は焙烙である。

4号土坑 (SK1004) (第94・95図)

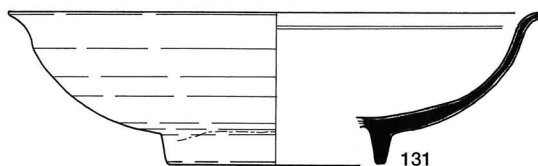
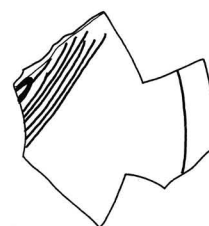
C区の北西側に位置する。検出グリッドはL・M-10グリッドである。SK1005を切る。



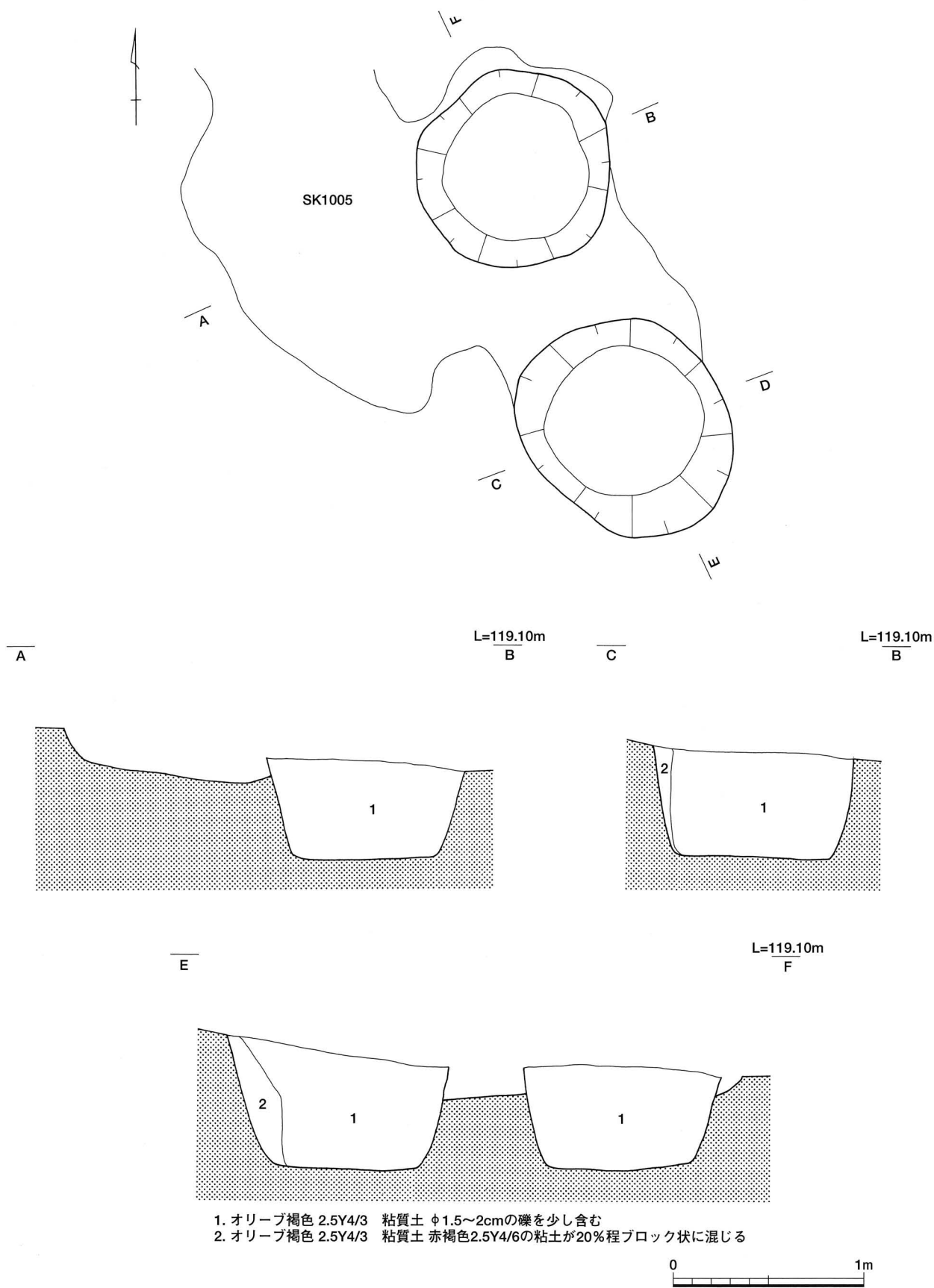
1. オリブ褐色 2.5Y4/3 シルト質土
拳大の砂岩を多く含む



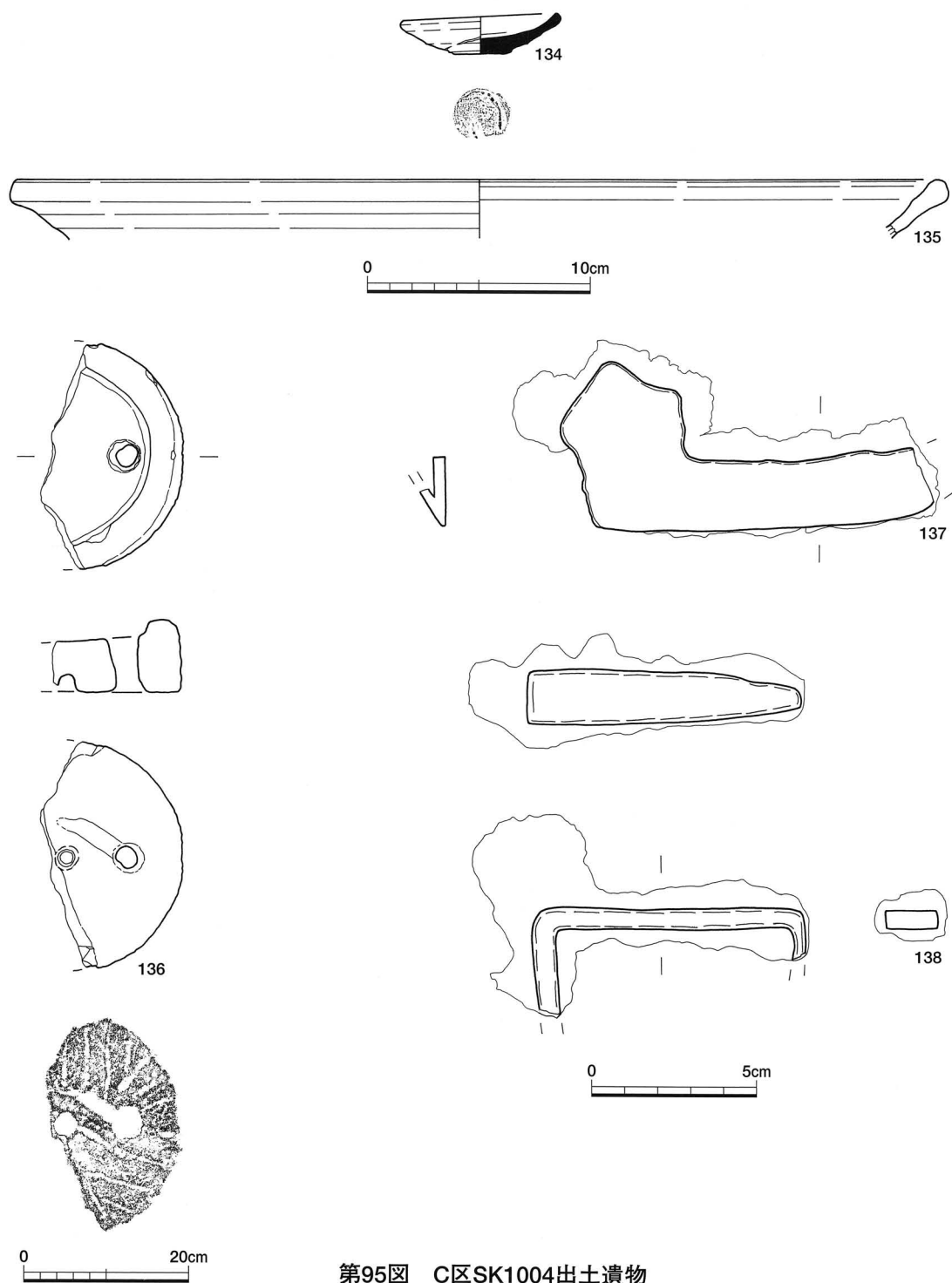
第92図 C区SK1003平・断面遺物出土状況図



第93図 C区SK1003出土土器

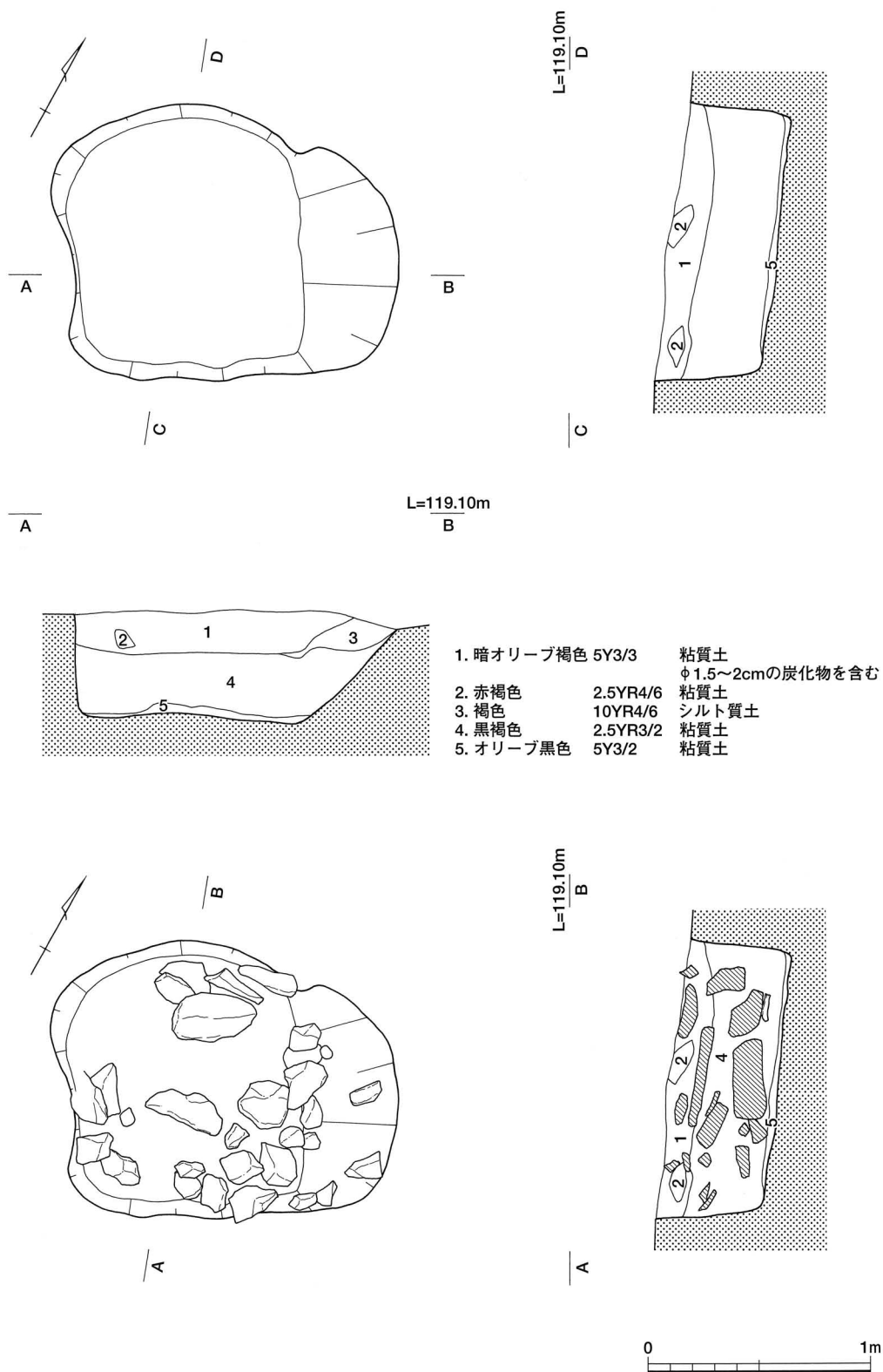


第94図 C区SK1004平・断面図

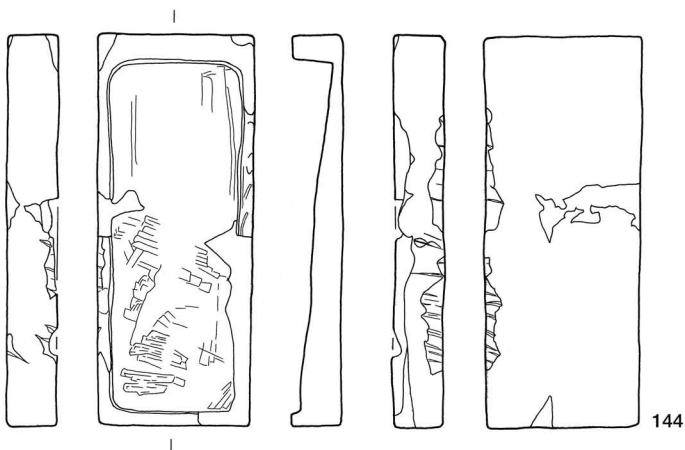
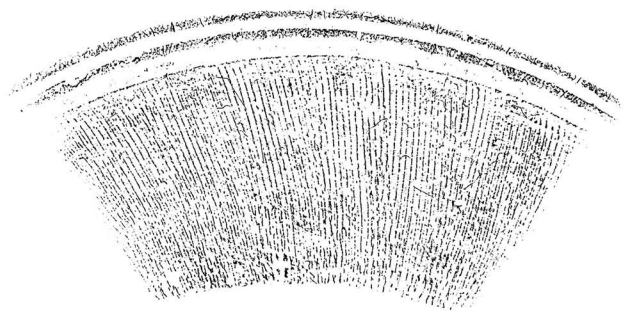
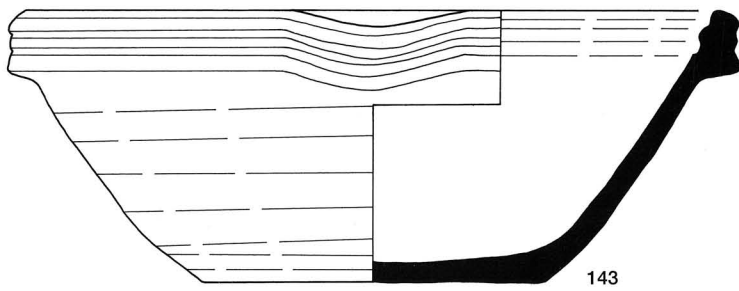
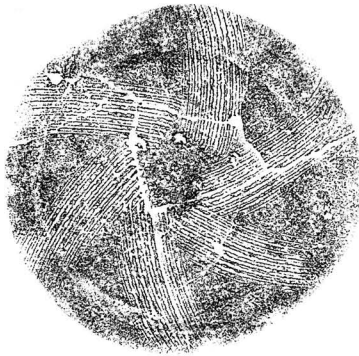
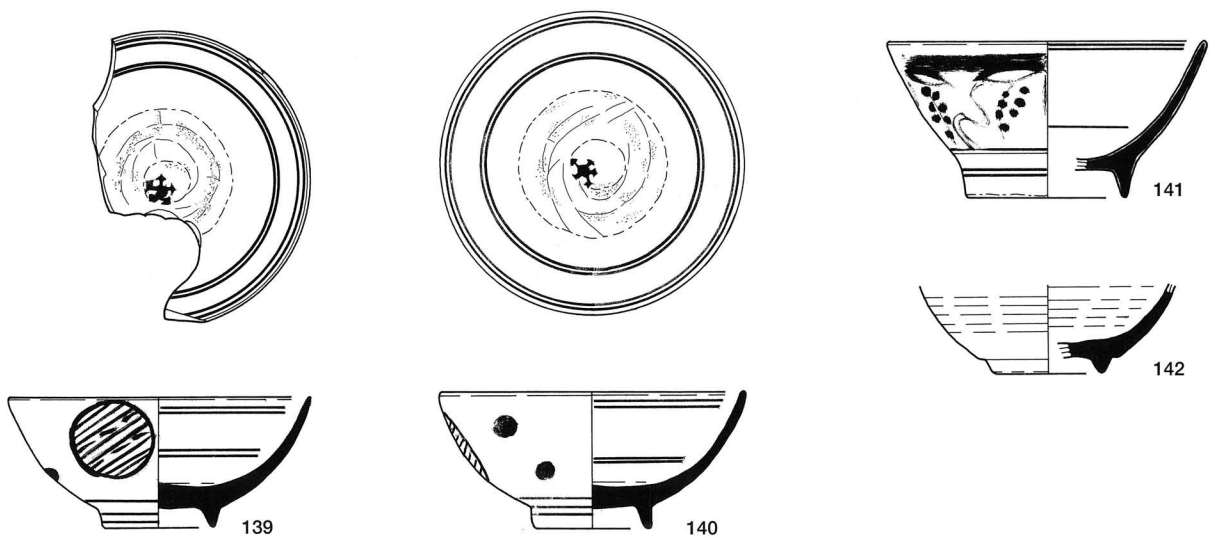


第95図 C区SK1004出土遺物

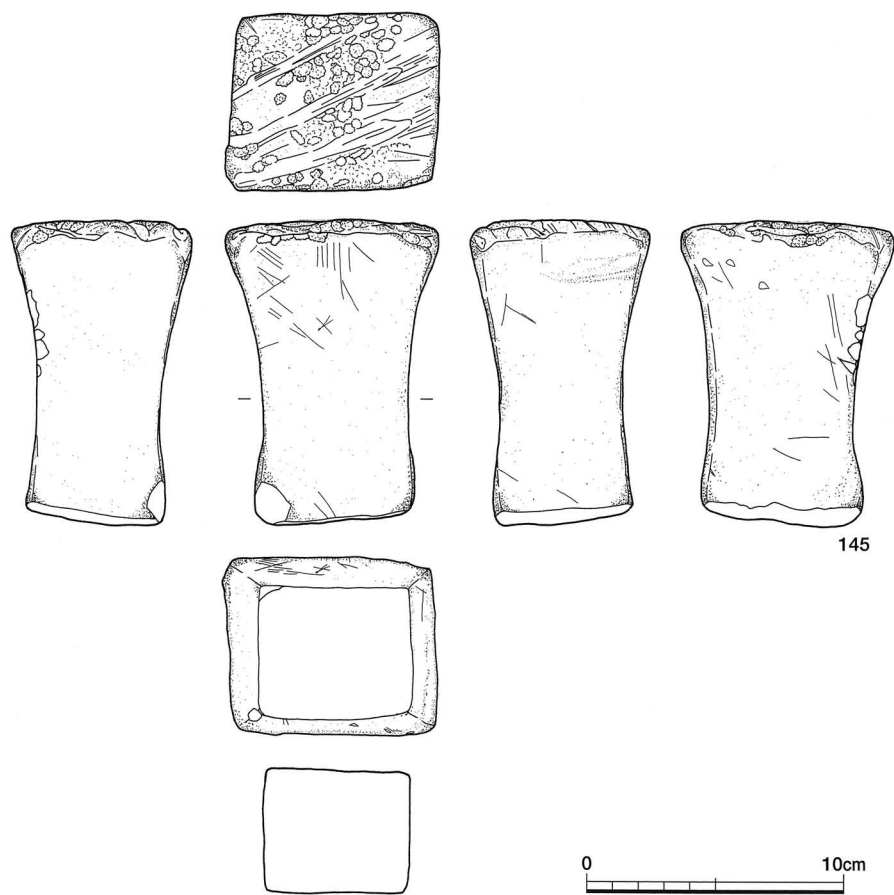
遺構は南北2基存在し、検出当初はSK1005とあわせて一つの遺構であろうと思われたが、結果的に2基の遺構であると判断した。また、SK1004が2基に分かれているが遺構埋土が両者とも同一であるため、掘り込みはもっと高いレベルから行われ、削平によりこのような形で残存したのであると考えたい。両者とも遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は北西側が長軸1.06m、短軸0.90m、深さ0.46mを測り、南東側が長軸1.16m、短軸0.98m、深さ0.69mを測る。



第96図 C区SK1007平・断面遺物出土状況図



第97图 C区SK1007出土遗物(1)



第98図 C区SK1007出土石器 (2)

遺構埋土は北西側が単一層であり、南東側は2層に分層することができる。第1層はオリーブ褐色を呈する粘質土であり両者に共通する。第2層はオリーブ褐色を呈する粘質土であり、南東側遺構の南西側立ち上がり部分にのみ堆積する。第1層、第2層とも色調と土質は類似するが、第2層にのみ赤褐色を呈する粘土がブロック上に混じっている。

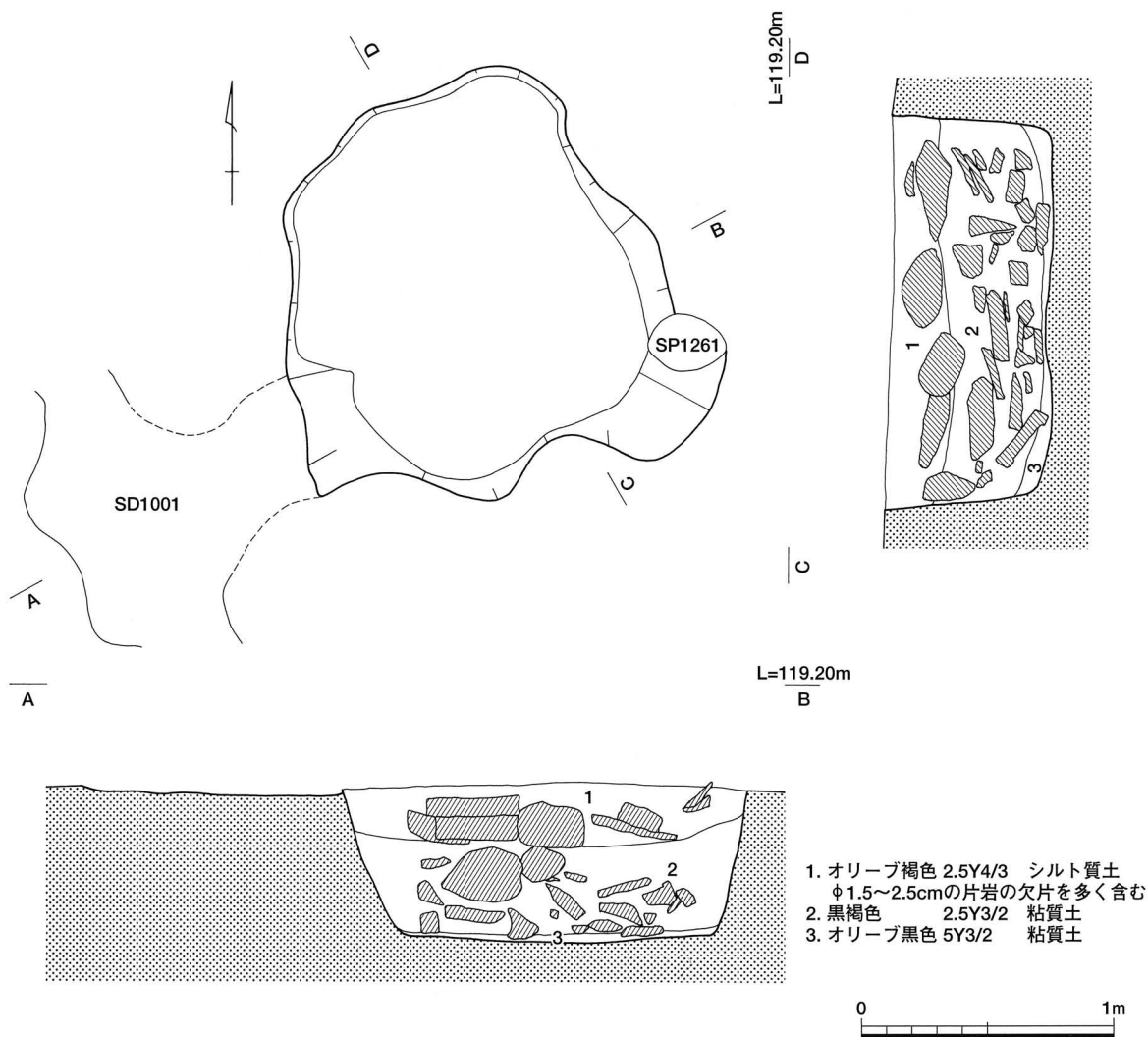
134は陶器の小皿である。135は焙烙である。136は石臼の上半部である。137は鉄製の鍬先である。138は鉄製の鋤であろうと思われる。

7号土坑 (SK1007) (第96~98図)

C区の北西側に位置する。検出グリッドはL-8・9グリッドである。遺構平面形状は不整隅丸方形状を呈し、遺構断面形状は遺構の東側が緩やかに立ち上がる逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.66m、短軸1.12m、遺構深度0.62mを測る。

遺構埋土は5層に分層することができ、色調は第1層が暗オリーブ褐色、第2層が赤褐色、第3層が褐色、第4層が黒褐色、第5層がオリーブ黒色を呈し、土質は第3層にはシルト質土が堆積し、それ以外には粘質土が堆積している。また、第1層には赤褐色を呈する粘質土ブロックが含まれる。

また、第1~3層中には岩盤礫がやや多く含まれていた。この岩盤礫は大きさがφ10~40cm前後とばらつきがあり、とくに積み上がられた様子もなかった。一部の板石が面を水平に保っていたり、3層上面に置かれるようにしたりして出土してはいるが、おそらく廃棄されたものと判断されることから遺



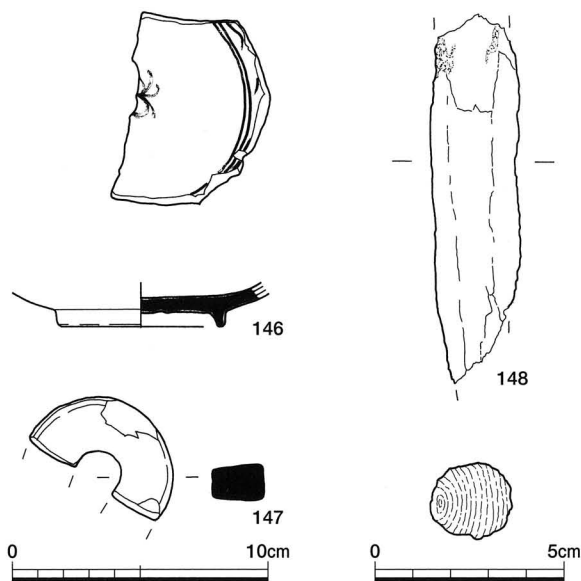
第99図 C区SK1008平・断面遺物出土状況図

構の性格は土坑として扱った。

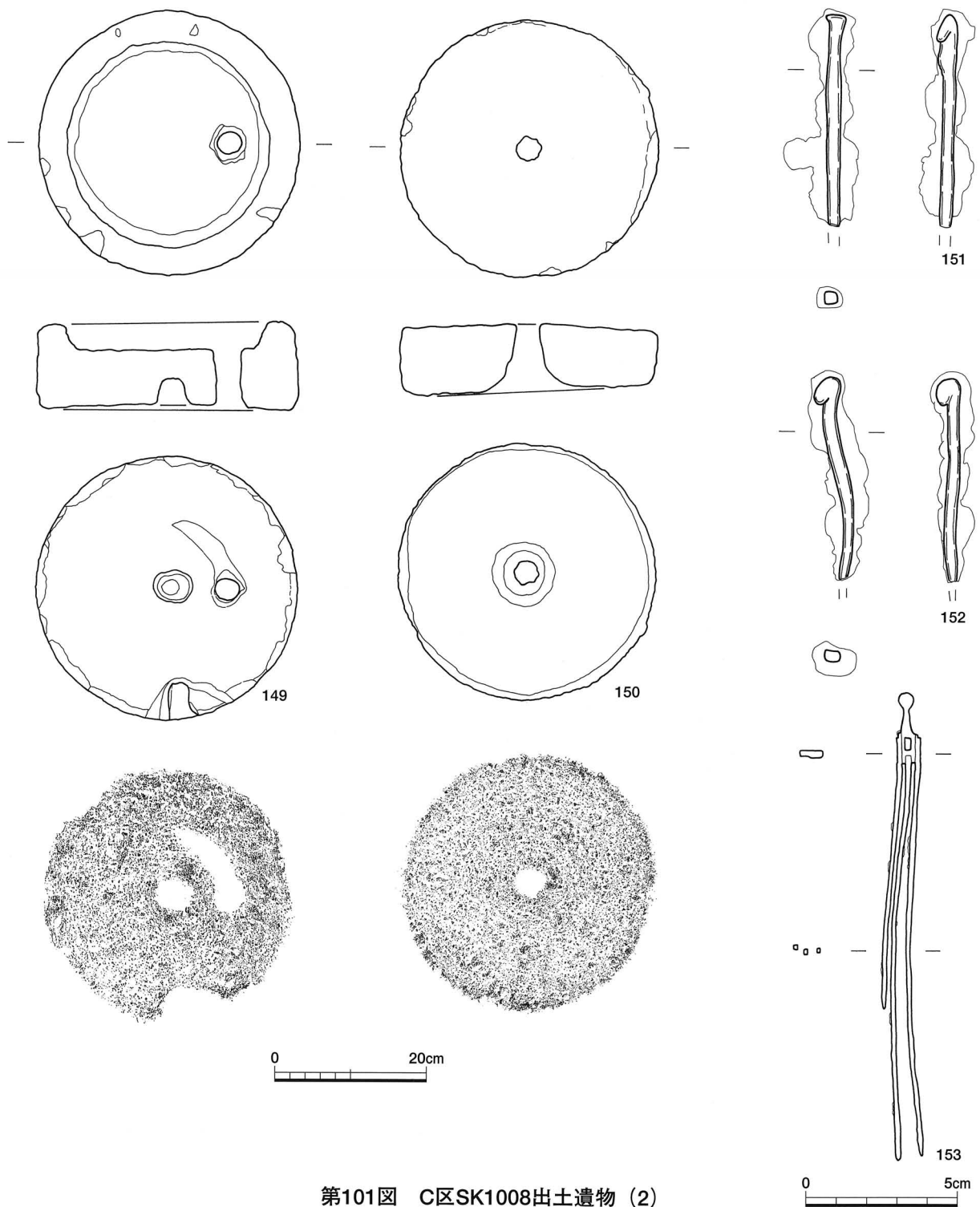
139~142は磁器の碗である。143は陶器の播り鉢である。144は硯である。145は砂岩製の砥石である。

8号土坑 (SK1008) (第99~101図)

C区の北西に位置する。検出グリッドはL-9・10グリッドである。北西-南東に主軸をもつSD1001から北東に延びる部分と切り合うが前後関係は不明であり、可能性として両遺構が連結して一つの機能を果たしていたということも考えられる。そうすると、当該遺構が一時的に水を溜める井戸の役割をもっていたことも想定できるが確証はない。また、遺構の南東側は



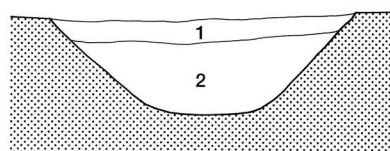
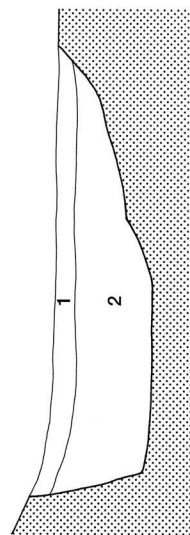
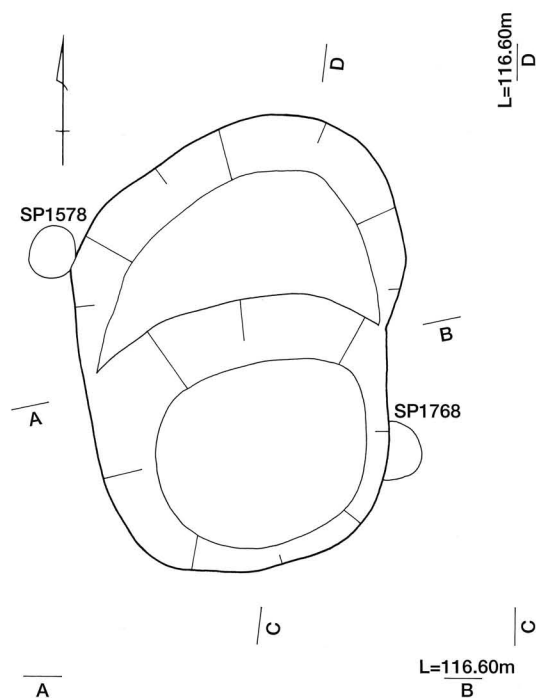
第100図 C区SK1008出土遺物 (1)



第101図 C区SK1008出土遺物 (2)

SP1261に切られる。遺構平面形状は不整形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.94m、短軸1.46m、深さ0.68mを測る。

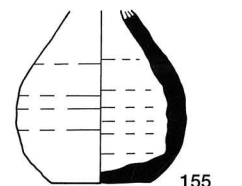
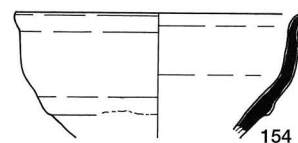
遺構埋土は3層に分層することができ、第1層にはオリーブ褐色を呈するシルト質土が、第2層には黒褐色を呈する粘質土が、第3層にはオリーブ黒色を呈する粘質土が堆積する。また、遺構埋土除去後多量の礫群を検出した。この礫群は一見無造作に放り込まれたようであり、規格制をもって積み上げら



- 1. 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土 マンガンと鉄分を含む
- 2. 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土 炭化物と土器片を含む



第102図 D区SK1030平・断面図



第103図 D区SK1030出土土器

れたようには見受けられない。しかし、礫には10~40cm大のものを使用しており比較的小型のものが低いレベルに、大型のものが高いレベルから出土していることから、大きさの選定は行われていたようである。この礫中には結晶片岩の角礫が主体を占めているが、砂岩の川原石も若干混じり一組の石臼も他の礫と同様の扱いをされていた。

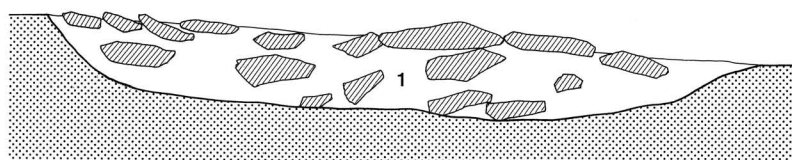
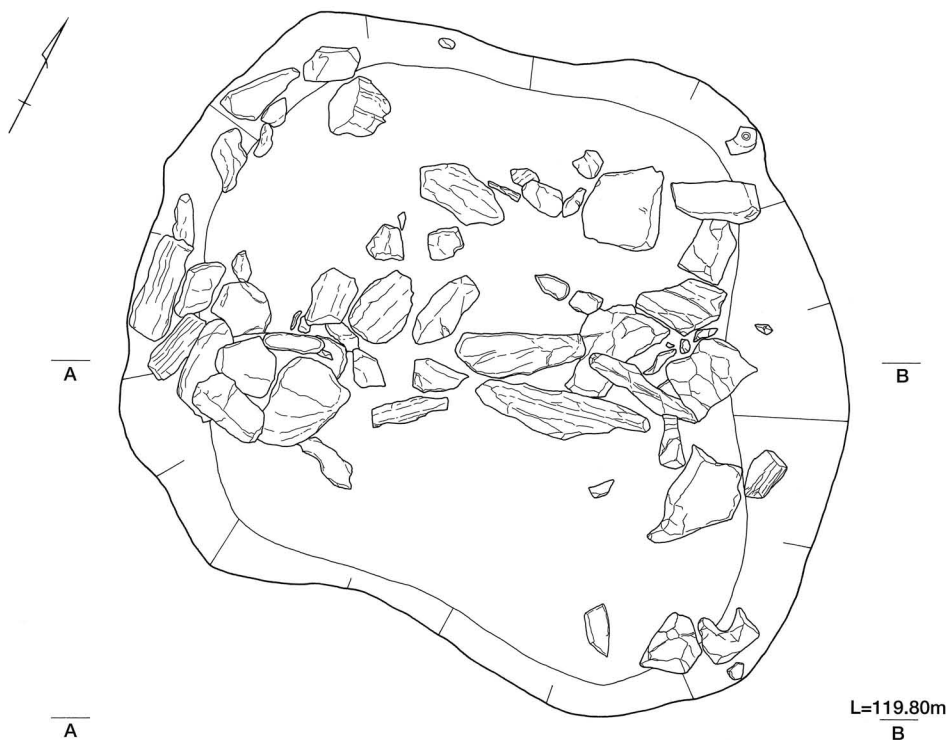
146は陶器の皿である。147は磁器である。148は付け木である。149、150は石臼である。151、152は鉄製の釘である。153は青銅製の簪である。

30号土坑 (SK1030) (第102・103図)

D区の側に位置する。検出グリッドはO-8グリッドである。遺構の南東側でSP1768を、北西側でSP1578を切る。遺構平面形状は不整楕円形を呈し、遺構北側にテラス状の平坦部をもつ。遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.82m、短軸1.21m、深さ0.40mを測る。

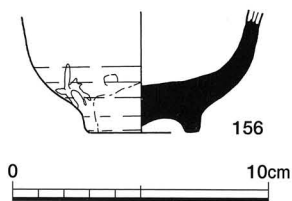
遺構埋土は2層に分層することができ、いずれも暗灰黄色を呈する粘質土が堆積し、第2層には炭化物を含んでいた。また、とくに2層北側のテラス状部分から若干浮いた位置には地山礫をやや含む。

154は天目茶碗である。155は陶器の小型壺である。



1. オリーブ褐色 2.5Y4/6 粘質土

第104図 B区ST1003平・断面遺物出土状況図



第105図 B区ST1003出土土器

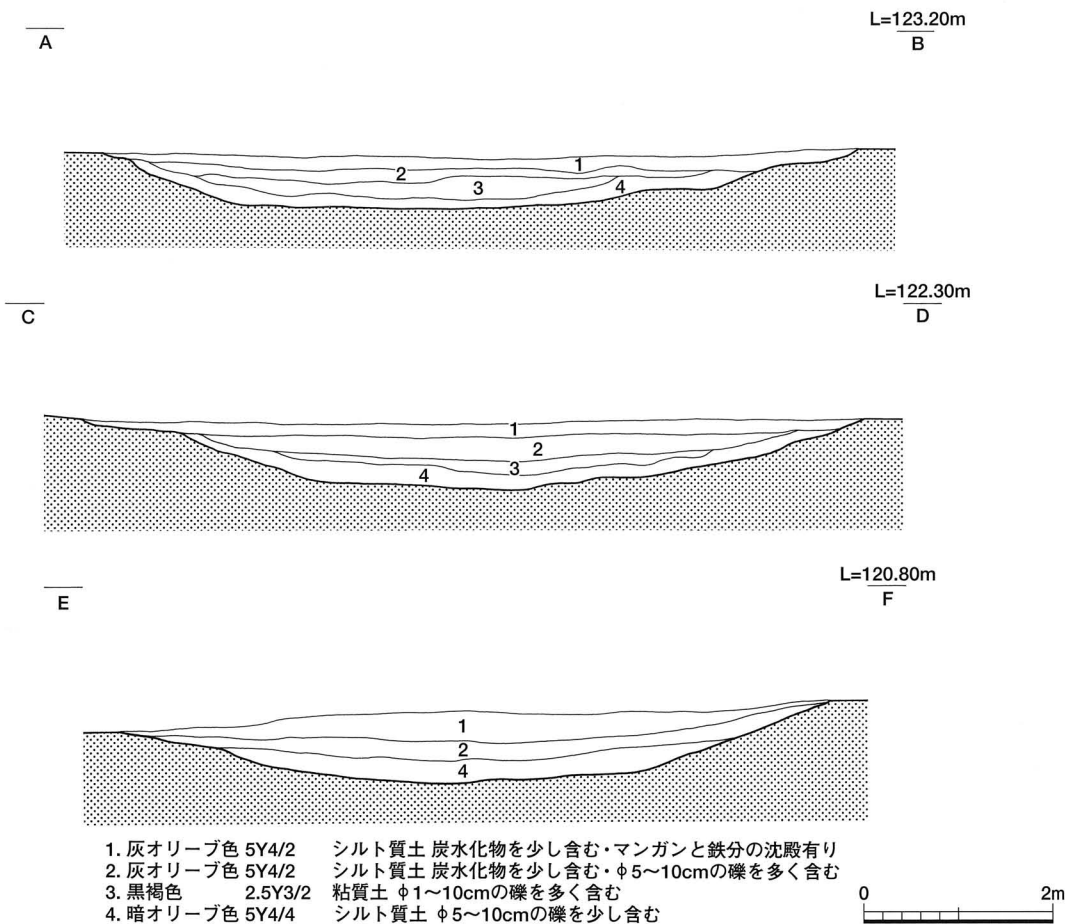
集石墓 (ST)

3号集石墓 (ST1003) (第104・105図)

B区の東側に位置する。検出グリッドはH-9グリッドである。遺構平面形状は東西に主軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は浅い船底形を呈する。遺構規模は長軸2.09m、短軸1.51m、深さ0.28mを測る。

遺構埋土は褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。また、遺構内より結晶片岩の礫が多量に出土した。遺構南西側では長軸25cm前後の長方形板石の小口を揃えるように2列の石組みが観察できたが、それ以外では10~40cm前後の礫が無造作に配されていた。

156は陶器の碗である。



第106図 A区SR1001断面図

自然流路 (SR)

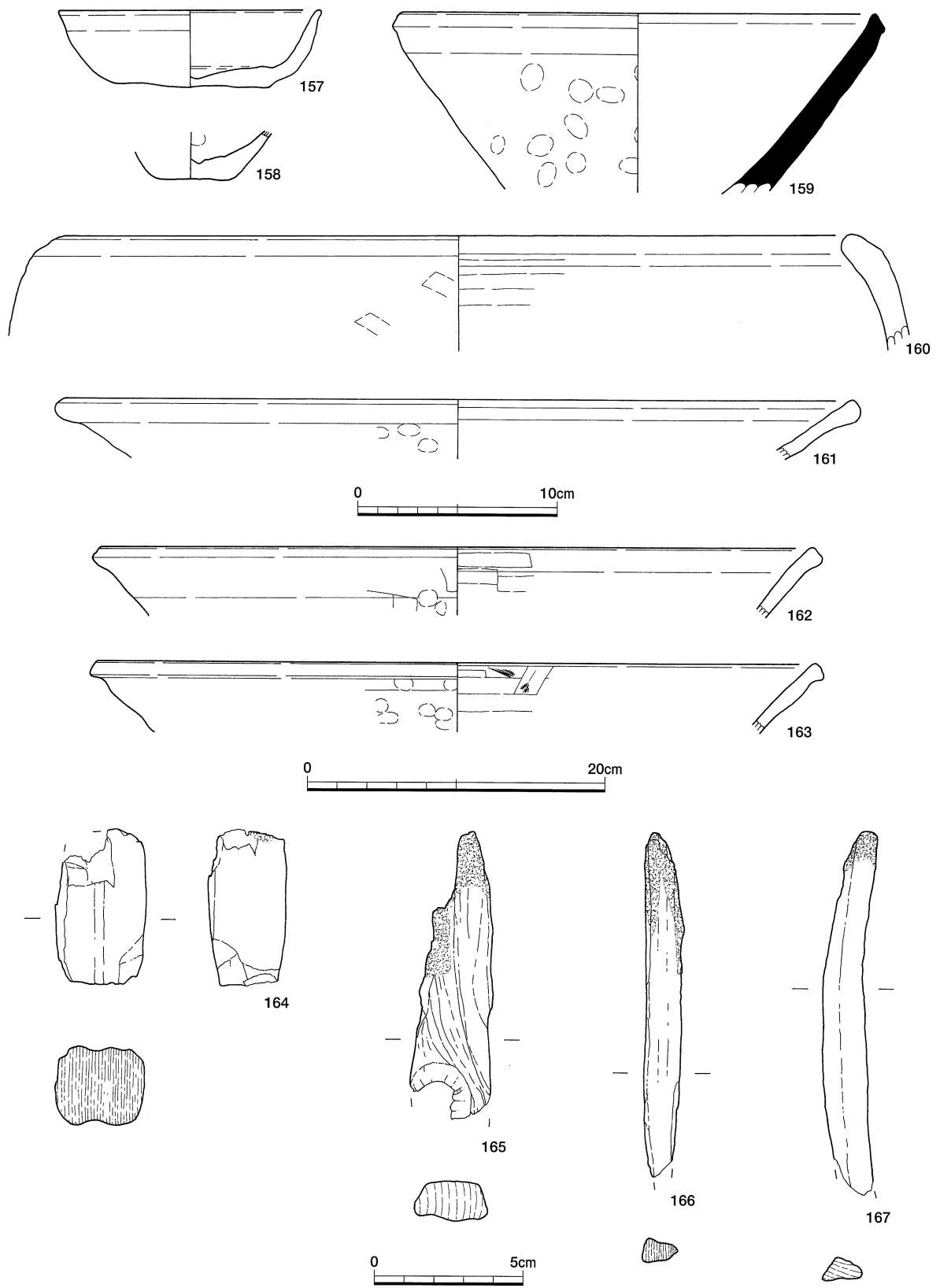
1号流路 (SR1001) (第106・107図)

A区において調査区を縦断するように検出された。検出グリッドはB~H-1~5グリッドである。遺構平面形状はほぼ直線に近い溝状を呈しており、あまり蛇行しない。遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は調査区内で確認できた最大幅が8.2m、深さ0.8mを測る。

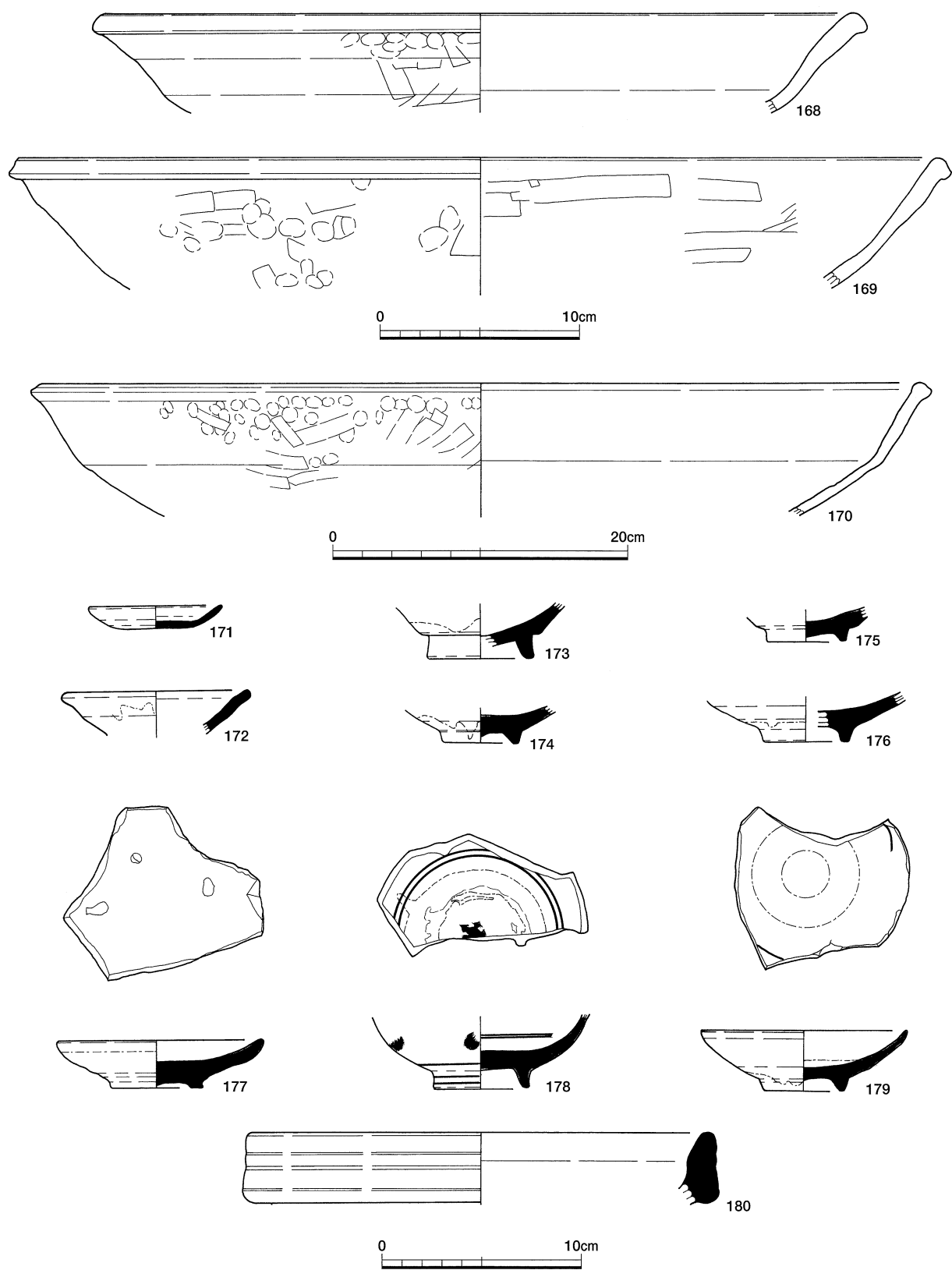
遺構埋土は4層に分層することができ、色調は第1層と第2層が灰オリーブ色、第3層が黒褐色、第4層が暗オリーブ色を呈する。土質は第3層には粘質土が堆積し、それ以外にはシルト質土が堆積していた。各層とも比較的安定して堆積しており、グライ化した層や粘土層が確認できないことや流路の幅に比べ深さが比較的浅いことなどから明確な滞水状況にあったことが看取できず、わずかながら流水があるなかで埋没が長時間に及んだものと考えられる。また、遺構の底面は南から北に向けての傾斜をもっており、当然ながら流水方向も同様であったと判断できる。

157は土師器の杯である。158は土師器の甕の底部である。159は須恵器のこね鉢である。160は土師器の鍋である。161~163は焙烙である。164は不明木製品である。165~167は付け木である。

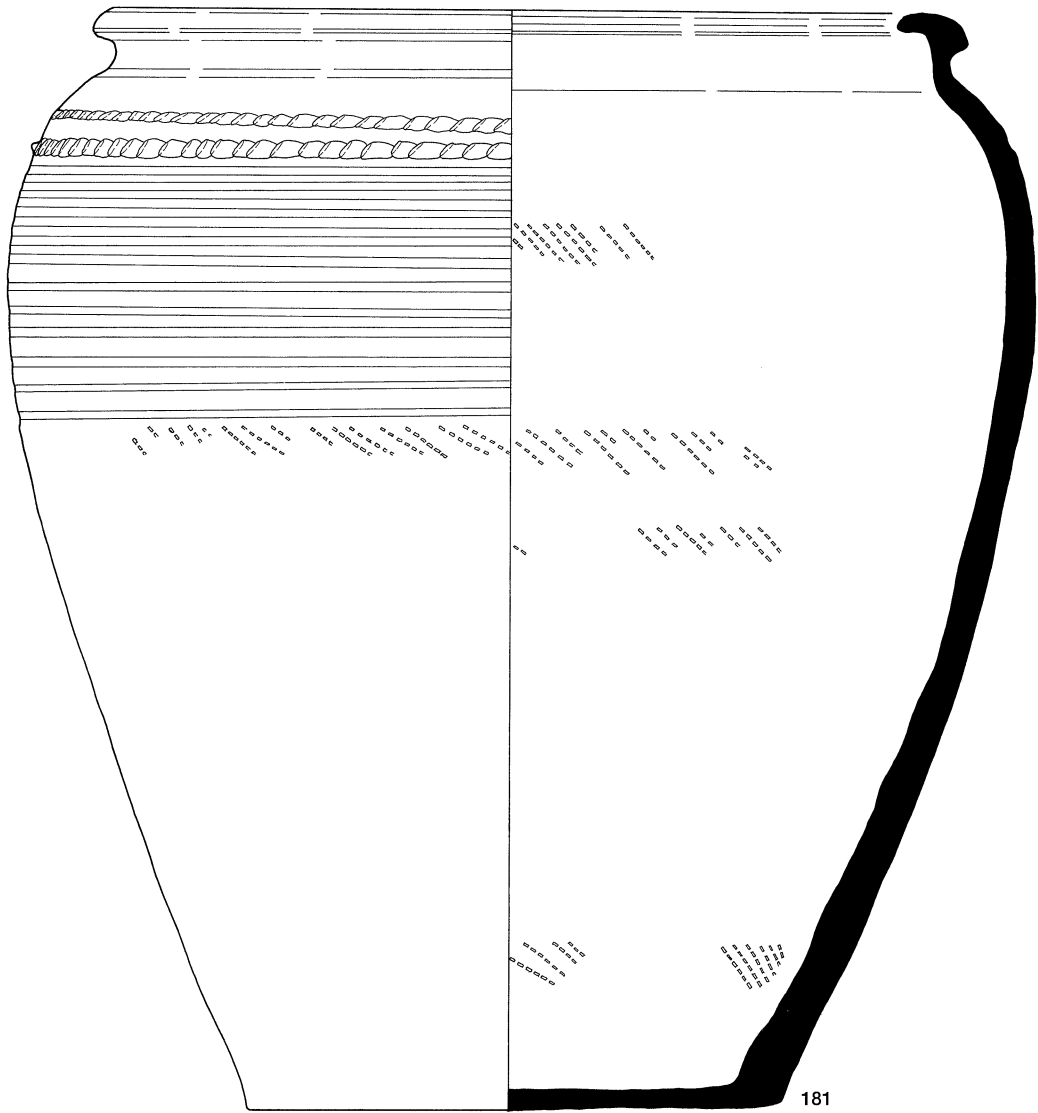
出土遺物には土師器の杯や須恵器の捏ね鉢なども見られるが、そのほとんどが焙烙や陶磁器類で占められることから、流路の埋没時期は17世紀以降であろうと思われる。



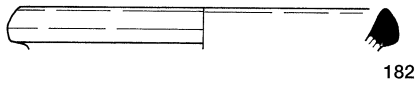
第107图 A区SR1001出土遗物



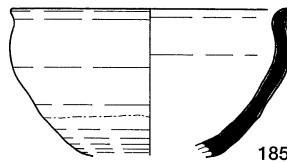
第108図 包含層出土土器 (1)



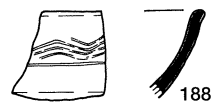
181



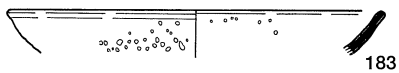
182



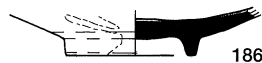
185



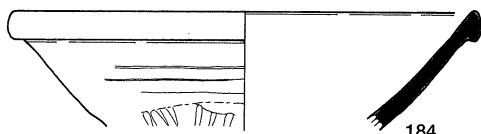
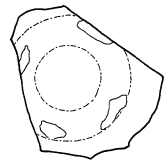
188



183



186



184



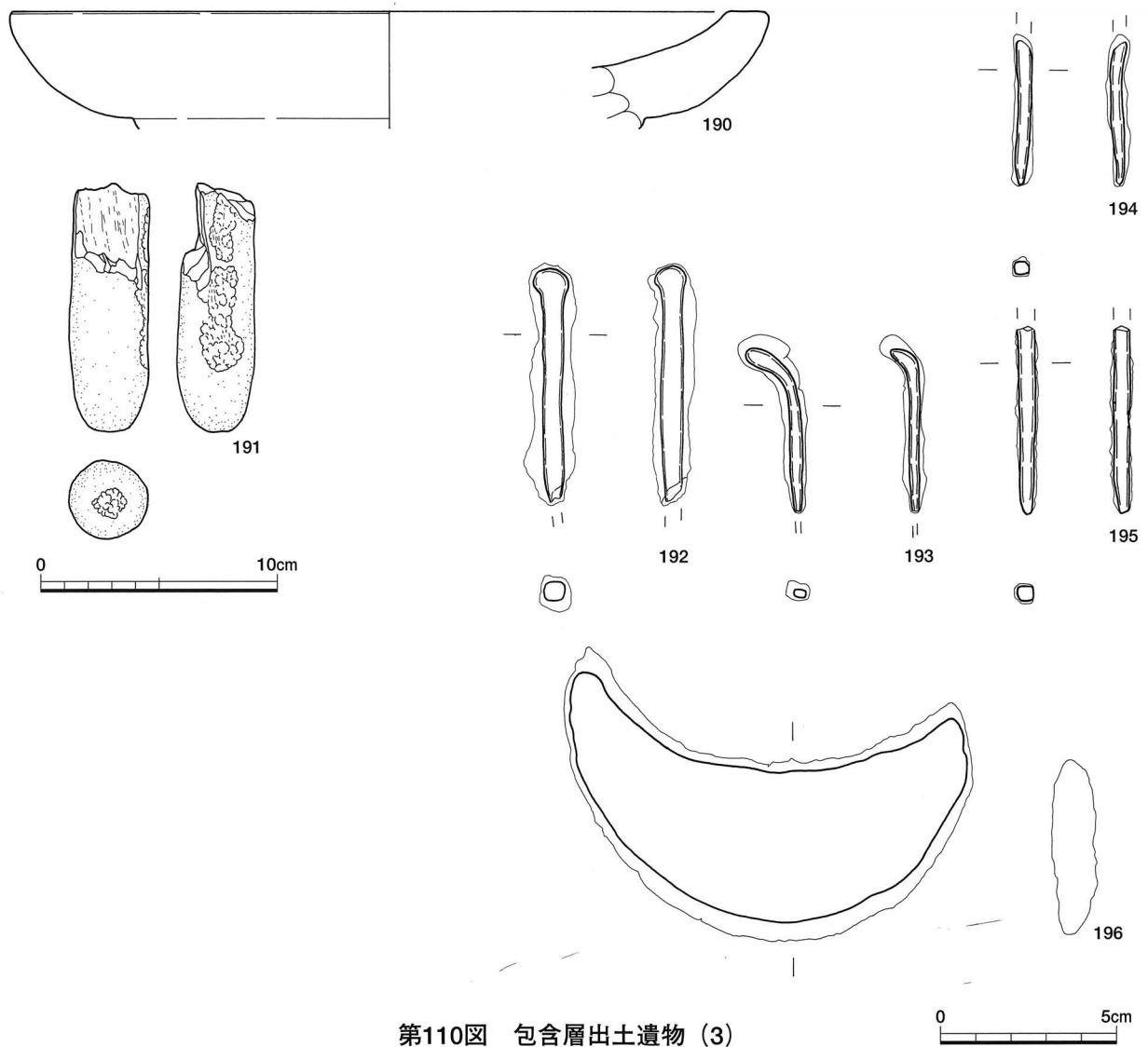
187



189



第109图 包含層出土土器 (2)



第110図 包含層出土遺物 (3)

包含層出土遺物 (第108~110図)

包含層出土遺物は遺構密度と同様にB区、D区を中心に出土しているが、その他の調査区においても比較的まんべんなく出土しているためここでは特徴的なものを抽出していくことにする。

168~170は焙烙である。171、172、177、179は陶器の皿である。173~176、178は陶器の碗である。180は陶器の播り鉢である。181は陶器の甕である。182~184、186~189は磁器の碗である。185は磁器の鉢である。190は石皿である。191は敲石である。192~195は鉄製の釘である。196は鉄製の鋏である。

3 まとめ

当該遺跡の遺跡名の元となった2基の「お塚さん」と呼び慣わされてきた積み石であるが、発掘調査によりいずれも中世段階において構築された中世墳墓であることが確認され、いわゆる古墳ではないことが明らかとなった。

ただし、1号塚においては被覆小礫除去後の状況が本来の姿をとどめておらず墓としての詳細および全体像を把握することはできなかった。そのため、遺構の構築時期を特定するまでにはいたらなかったが、3基の小規模な埋葬施設を確認できた。この埋葬施設の構築方法は、2号・3号埋葬施設においてはとくに平坦地を選ばず地山面に土を盛り整地することで平坦面をつくりだしている。その後20～30cm大の地山礫を用い、囲むように配している点については3基とも共通している。いずれの埋葬施設も配石の下には掘り込みをもたず、この場で火葬などが行われた可能性は低いものと考えられる。

出土遺物の特徴としては、土師器の羽釜を中心とした煮沸具が主体を占めることである。煮沸具としては土師器のなべや茶釜なども見られるが圧倒的に羽釜が多く、また、杯や小皿などの比較的供献土器としての機能をもつ供善具をしのぐ出土量である。しかし、これらの土器はすべて破片の状態出土しており、かつST1001全体からまんべんなく出土していることから埋葬施設に伴う祭祀行為を詳細に復元することは困難である。

この大量の煮沸具片を散布する石積みの埋葬施設は、当該遺跡に隣接する供養地遺跡¹⁾においても確認されている。このことから考えると、同地域において当該期の埋葬に伴う祭祀は、基壇の列石を設けず角礫を用いた小規模な埋葬施設を設け、その上に小礫で被覆し煮沸具片を散布するという共通した葬送形態を共有していたのであろう。

一方の2号塚においては、露呈している岩盤のわずかにぼみを利用して構築しているという特徴が挙げられる。そこでは1基の埋葬施設が確認できた。この埋葬施設においても特徴的なものは基壇に列石を設けず小礫を用いて被覆するなど1号塚の埋葬施設と共通するものが多く、ほぼ同様の目的を持って構築されたものであろうことが考えられる。

出土遺物についてみるとST1001とは異なり近世以降のものがわずかにみられた程度で、中世段階に属する遺物は出土していない。この点については、塚の構築状況などからST1001と大きな時期差はないと考えられるが、遺物の内容からST1001と同様の埋葬に伴う祭祀行為が行われたということまでは断定できない。しかし、近世以降現代に至るまで地域の祭祀対象として祀られていたことは確かである。

以上、主に2基の中世墳墓について大まかにふれてきた。吉野川上流域の当該地域においては、近年中世墓に関する調査が相次ぎ類例資料の蓄積がなされつつある状況である。しかし、これらにより当時の墓制を全て復元できるほどには至っておらずまだまだ検討の余地が残る。今後期待したい。

註

- 1) 本報告書所収

第1表 お塚古墳検出遺構一覧表 堀立柱建物跡

遺構番号	調査区	位置	平面形態	構造 (間)	遺構規模 (cm)				面積 (㎡)	主軸方位	付属施設	出土遺物
					梁間		桁行					
					長軸	柱間寸法	長軸	柱間寸法				
SA1001	B区	E・F-5・6	側柱式	1×2	205	205.0	385	192.5	7.89	N-33° -W	-	
SA1002	C区	L・M-14	側柱式	1×2	190	190.0	410	205.0	7.79	N-2° -W	-	
SA1003	D区	N・O-10・11	側柱式	2×2	230	115.0	335	167.5	7.71	N-2° -E	-	土師器羽釜2、土師器脚1、須恵器甕1
SA1004		P-8・9	側柱式	2×3	325	162.5	620	206.7	20.15	N-88° -W	-	瓦器椀1
SA1005		O・P-7	側柱式	1×2	140	140.0	390	195.0	5.46	N-90° -E	-	土師器杯1
SA1006	E区	T・U-15	側柱式	1×2	110	110.0	290	145.0	3.19	N-2° -E	-	
SA1007		R・S-13・14	側柱式	2×2	290	145.0	442	221.0	12.82	N-2° -W	-	
SA1008		R・S-15・16	側柱式	1×2	170	170.0	345	172.5	5.87	N-79° -W	-	土師器鍋1
SG1001	B区	I~K-5~8	-	8間	-	-	1500	187.5	-	-	-	

第2表 お塚古墳遺構一覧表 SK

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SK1001	B	E・F-6	-	-	11	円形	逆台形		
SK1002	B	G-6	97	14	17	不整形	逆台形		
SK1003	C	M-10	238	52	22	不整形長方形	逆台形	土師焙烙3、磁器碗2	
SK1004北	C	L・M-10	106	90	46	円形	逆台形	鉄、鋤先1、鏝1	SK1005を切る
SK1004南	C	L・M-10	116	(98)	69	円形	逆台形	陶器皿1、岩石1、石臼1、土師器焙烙1	
SK1005	C	L・M-9・10	490	81	32	不整形	不整逆台形	鉄釘1	SK1004に切られる
SK1006	C	L・M-9	104	76	42	不整円形	船底形		
SK1007	C	L-8・9	166	112	62	不整隅丸方形	逆台形	磁器碗3、白磁碗1、陶器すり鉢1、砂岩と石、凝岩石1、すずり1	
SK1008	C	L-9	194	146	68	不整形	逆台形	白磁碗1、陶器皿1、鉄釘1、青銅かんざし1、石臼2、つけ木1	SP1261に切られる
SK1009	C	L・M-8	368	46	67	不整形	不整逆台形		
SK1010	D	O-11	47	39	22	不整形長方形	逆台形		
SK1011	D	P-10・11	264	31	12	不整形	逆台形	土師器脚1	SP1749・1750を切り、SP1320・1748に切られる
SK1012	D	O-9・10	(67)	60	(14)	不整円形	逆台形	須恵器甕1	SP1751を切り、SP1366・1753に切られる
SK1013	D	O-9	42	34	8	楕円形	逆台形		
SK1014	D	O-9	56	48	16	楕円形	逆台形		SP1746に切られ、SK1015を切る
SK1015	D	O-8・9	(118)	66	(12)	不整形長方形	逆台形	土師器杯1	SP1419・SP1420・SP1746・1747・SK1014に切られる
SK1016	D	N-8	76	48	10	楕円形	船底形		
SK1017	D	N-8	58	40	7	円形	船底形		
SK1018	D	O-8	118	(50)	16	楕円形?	船底形		
SK1019	D	O-8	56	30	37	円形?	不整逆台形		
SK1020	D	N・O-8	64	51	-	楕円形			
SK1021	D	N・O-7・8	395	120	38	不整形長方形	不整逆台形 不整船底形	土師器杯2、土師器羽釜1、土師器釜1、土師器鍋1	SP1756に切られる
SK1022	D	P-11	128	32	13	不整形長方形	逆台形	土師器すり鉢2	SP1465・1769に切られ、SP1760・1761・1762を切る
SK1023	D	P-10	78	42	13	長方形	逆台形		SP1474に切られる
SK1024	D	P-9	84	60	-	方形	逆台形		
SK1025	D	P-9	66	50	14	円形	逆台形		
SK1026	D	P-9	70	68	11	不整円形	逆台形		
SK1027	D	P-8・9	60	33	8	長方形	船底形		
SK1028	D	P・Q-8	84	62	19	方形	逆台形		
SK1029	D	P-8	94	50	13	不整形長方形	逆台形		
SK1030	D	O-8	182	121	40	不整楕円形	逆台形	陶器壺1、磁器天目茶碗1	SP1578・1768を切る
SK1031	D	P-8	66	(28)	13	不整形	船底形		
SK1032	D	P-7	90	35	19	不整形	不整逆台形		
SK1033	D	P-7	74	56	14	不整形	逆台形		
SK1034	D	P-7	68	34	13	不整形	船底形		
SK1035	D	O・P-7	48	36	42	不整円形	不整逆台形		
SK1036	D	O-6	50	40	14	円形	不整船底形		
SK1037	D	P-6	62	44	15	円形	船底形		
SK1038	D	P-6	44	40	27	不整円形	不整船底形		
SK1039	D	P-6	(60)	44	15	楕円形	船底形		
SK1040	D	P-6	42	36	45	円形	逆台形		SA1005
SK1041	D	O-5・6	(45)	42	48	円形	不整逆台形		SP1660を切る
SK1042	D	O-6	56	45	10	円形	船底形		
SK1043	D	P-6	39	30	37	円形	船底形		SP1642・SX1002を切る
SK1044	D	P-9	(42)	36	48	円形	逆台形	土師器甕?1	SP1496に切られる
SK1045	E	P-17	100	30	18	不整形	逆台形		

第3表 お塚古墳遺構一覧表 SU

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SU1001	E	O・P 14~18	1345	275	-	溝状	-		
SU1002	E	N・O 18~20	1284	235	98	溝状	船底形?		
SU1003	不明								
SU1004	F	Y-20・21	414	176	52	不整隅丸方形	不整船底形		
SU1005	F	Y-20・21	414	176	52	不整隅丸方形	不整船底形		
SU1006	D	O-8・9	238	156	40	楕円形	不整船底形	土師器羽釜2	
SU1007	D	O-8	126	54	27	楕円形	不整船底形		

第4表 お塚古墳遺構一覧表 ST

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
ST1001	E	O~Q 13~15	980	710	-	不整円形	-	土師器明灯皿1、土師器小皿6、土師器鍋7、土師器杯1、土師器茶釜2、土師器羽釜3、須恵器壺2、須恵器甕1、陶器碗2、陶器皿1、陶器甕1、陶器すり鉢3、青磁碗2、磁器皿1、瓦質焙烙1、石製品?1、銅銭1	埋葬施設を3基持つ
ST1002	F	V・W 21~23	835	575	-	楕円形	-	土師器小皿2、磁器碗1、土師器瓦1、青磁?磁器碗1	埋葬施設を1基持つ
ST1003	B	H-9	209	151	28	楕円形	船底形	陶器碗1	
ST1004	B	H-8	61	34	7	楕円形			
ST1005	B	E-5	100	84	22	円形		陶器碗1	

第5表 お塚古墳遺構一覧表 SD

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			出土遺物	備考
			長さ	幅	深さ		
SD1001	C	K・L-8・9	850	-	4		SP1307・1310に切られる
SD1002	D	O・P-11	180	15	7		
SD1003	D	O-9	144	20	6		SP1770に切られる
SD1004	D	P-6	(62)	14	6		
SD1005	D	P-6	100	16	10		
SD1006	D	P-6	122	18	9		

第6表 お塚古墳遺構一覧表 SR

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SR1001	A	B~H 1~5	3050	690	88	溝状	船底形	土師器杯1、土師器甕1、土師器鍋1、土師器焙烙3、須恵器こね鉢1、つけ木2、不明2	

第7表 お塚古墳遺構一覧表 SX

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SX1001	D	P-8	180	50	10	不整形	船底形		
SX1002	D	O・P-5・6	(490)	30	17	溝状	逆台形	土師器杯3、土師器碗1、土錘1、須恵器碗2	SK1043・SP1647・SP1645に切られる
SX1003	E	T・U-14・15	180	62	18	楕円形	逆台形		

第8表 お塚古墳遺構一覧表 SP

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考	遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ						長軸	深さ		
SP1001	B	H-9	-	22			SP1058	B	F-7	-	51		
SP1002	B	H-9	-	19			SP1059	欠番		-	43		
SP1003	B	H-9	-	12			SP1060	B	G-7	-	29		SP1061を切る
SP1004	B	H-9	-	14			SP1061	B	G-7	-	29		SP1060に切られる
SP1005	B	G-9	-	39			SP1062	B	G-6・7	-	46		
SP1006	B	H-8	-	8			SP1063	B	G-7	-	17		
SP1007	B	I-9	-	10			SP1064	B	G-6	-	13		
SP1008	B	I-9	-	10			SP1065	B	F-6	-	17		
SP1009	B	I-8・9	-	6			SP1066	B	F・G-6	-	12		
SP1010	B	I-8	-	9			SP1067	B	F・G-6	-	17		
SP1011	B	I-8	-	16			SP1068	B	G-6	-	40		
SP1012	B	G-8	-	24			SP1069	B	F-6	-	25		
SP1013	B	G-8	-	18			SP1070	B	F-6	-	35		
SP1014	B	G-8	-	11			SP1071	B	F-6	-	44		
SP1015	B	G-8	-	7			SP1072	B	F-6	-	25		
SP1016	B	G-8	-	43			SP1073	B	F-6	-	36		
SP1017	B	G-8	-	24			SP1074	B	F-6	-	22		
SP1018	B	G-8	-	21			SP1075	B	F-6	-	10		
SP1019	B	G-8	-	14			SP1076	B	F-6	-	28		
SP1020	B	G-8	-	32			SP1077	B	F-6	-	42		
SP1021	B	G-8	-	28			SP1078	B	F-6	-	37		
SP1022	B	G-8	-	27		SP1023に切られる	SP1079	B	F-6	-	35		
SP1023	B	G-8	-	29		SP1022を切る	SP1080	B	F-6	-	22		
SP1024	B	G-8	-	47			SP1081	B	F-6	-	43		
SP1025	B	G-8	-	18			SP1082	B	F-5	-	10		
SP1026	B	G-8	-	26			SP1083	B	F-5	-	18		
SP1027	B	G-7	-	26			SP1084	B	F-5	-	24		
SP1028	B	G-8	-	40			SP1085	B	F-5	-	28		
SP1029	B	G-7・8	-	40			SP1086	B	F-5	-	21		
SP1030	B	G-7	-	33			SP1087	B	F-5	-	31		
SP1031	B	G-7	-	35			SP1088	B	F-5	-	55		
SP1032	B	G-7	-	24			SP1089	B	F-5	-	31		
SP1033	B	G-7	-	14			SP1090	B	F-5	-	29		SP1091を切る
SP1034	B	G-7	-	21			SP1091	B	F-5	-	(8)		SP1090に切られる
SP1035	B	H-8	-	19			SP1092	B	F-5	-	22		
SP1036	B	H-8	-	14			SP1093	B	E-5	-	-		
SP1037	B	H-8	-	57		SP1038を切る	SP1094	B	E-5	29	35		SA1001
SP1038	B	H-8	-	27		SP1037に切られる	SP1095	B	E・F-5	-	18		
SP1039	B	H-8	-	46			SP1096	B	F-5	30	25		SA1001
SP1040	B	I-8	-	11			SP1097	B	E-5	-	52		
SP1041	B	H-7	30	24	鉄釘1		SP1098	B	E-5	-	46		
SP1042	B	H-7	-	40		SP1043を切る	SP1099	B	E-5	32	39		SA1001
SP1043	B	H-7	-	(17)		SP1042に切られる	SP1100	B	E-5	-	31		
SP1044	B	G・H-7	-	12			SP1101	B	F-5	-	13		
SP1045	B	G-7	-	10			SP1102	B	E-5	40	23		SA1001
SP1046	B	H-7	-	35			SP1103	B	E-5	-	13		
SP1047	B	H-7	-	22			SP1104	B	E-4	-	6		
SP1048	B	G-7	-	18			SP1105	B	E-4	-	7		
SP1049	B	G-7	-	13			SP1106	B	G-6	-	8		
SP1050	B	G-7	-	(29)		SP1051に切られる	SP1107	B	G-6	-	15		
SP1051	B	G-7	-	36		SP1050を切る	SP1108	B	G-6	-	18		
SP1052	B	G-7	-	46			SP1109	B	G-6	-	28		
SP1053	B	F-7	-	31			SP1110	B	G-6	-	5		
SP1054	B	F-7	-	28			SP1111	B	G-6	-	5		
SP1055	B	F-6	-	18			SP1112	B	G-5・6	-	14		
SP1056	B	F-6	-	7			SP1113	B	G-5	-	29		
SP1057	B	F-6	-	13			SP1114	B	G-5	-	8		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1115	B	G-5	-	11		
SP1116	B	G-5	-	8		
SP1117	B	G-5	-	8		
SP1118	B	G-5	-	9		
SP1119	B	F-5	29	22		SA1001
SP1120	B	F-5	-	15		
SP1121	B	F-5	-	12		
SP1122	B	F-4	-	6		
SP1123	B	F-4	-	16		
SP1124	B	F-4	25	26		SA1001
SP1125	B	F-4	-	15		
SP1126	B	F-4	-	10		
SP1127	B	F-4	-	14		
SP1128	B	G-4	-	14		
SP1129	B	G-4	-	31		
SP1130	欠番		-	-		
SP1131			-	36		
SP1132	B	F-5	-	16		
SP1133	B	F-5	-	8		
SP1134	B	F-5	-	13		
SP1135	B	E-6	-	45		
SP1136	B	J・K-8	-	12		
SP1137	B	K-8	-	32		SP1138に切られる
SP1138	B	K-8	-	34		SP1137を切る
SP1139	B	K-8	-	32		
SP1140	B	K-8	-	27		
SP1141	B	K-8	-	16		
SP1142	B	K-8	-	25		
SP1143	B	K-8	-	20		
SP1144	B	K-8	-	21		
SP1145	B	K-8	-	18		
SP1146	B	K-8	26	22		
SP1147	B	K-8	24	19		
SP1148	B	K-8	20	23		
SP1149	B	K-8	31	16		
SP1150	B	K-8	-	11		
SP1151	B	K-8	-	27		
SP1152	B	K-8	-	14		
SP1153	B	K-7・8	-	29		
SP1154	B	J-8	-	5		
SP1155	B	J-8	-	6		
SP1156	B	J-8	-	29		
SP1157	B	K-8	-	11		
SP1158	B	K-8	-	21		
SP1159	B	K-8	24	21		
SP1160	B	J-8	-	24		
SP1161	B	J・K-8	(30)	19		SP1162・1163に切られる
SP1162	B	J-8	16	16		SP1161を切る
SP1163	B	J・K-8	25	11		SP1161を切る
SP1164	B	J-8	-	17		
SP1165	B	K-8	36	22		
SP1166	B	K-8	24	25		SP1169・1170を切る?
SP1167	B	K-8	-	13		断面図にはSP1169と記入されている
SP1168	B	K-7・8	36	22		
SP1169	B	K-7	33	7		SP1166に切られる?
SP1170	B	K-7	-	6		SP1166に切られる?
SP1171	B	J-8	-	15		
SP1172	B	J-8	-	6		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1173	B	J-8	-	12		
SP1174	B	J-8	-	12		
SP1175	B	J-8	-	16		
SP1176	B	J-8	-	7		
SP1177	B	J-7・8	-	18		
SP1178	B	J-7	-	22		
SP1179	B	J-7・8	-	7		
SP1180	B	J-7	-	34		
SP1181	B	J-7	-	7		
SP1182	B	J-7	-	26		
SP1183	B	J-7	-	10		
SP1184	B	J-7	-	11		
SP1185	B	J-7	-	5		
SP1186	B	J-7	-	14		
SP1187	B	J-7	-	10		
SP1188	B	J・K-7	-	24		
SP1189	B	K-7	-	27		
SP1190	B	K-7	-	12		
SP1191	B	K-7	-	26		
SP1192	B	K-7	28	4		
SP1193	B	K-7	(21)	14		
SP1194	B	K-7	-	11		
SP1195	B	K-7	-	11		
SP1196	B	J・K-7	-	5		
SP1197	B	K-7	-	6		
SP1198	B	K-7	-	10		
SP1199	B	K-7	-	10		
SP1200	B	K-7	-	19		
SP1201	B	K-7	-	10		
SP1202	B	K-7	-	9		
SP1203	B	K-7	-	7		
SP1204	B	J-8	-	5		
SP1205	B	J-7	-	17		
SP1206	B	J-7	-	49		
SP1207	B	J-7	-	8		
SP1208	B	J-7	-	44		
SP1209	B	J-7	-	30		
SP1210	B	J-7	-	31		
SP1211	B	K-7	-	8		
SP1212	B	K-7	57	20		SG1001、SP1213に切られる
SP1213	B	K-7	-	16		SP1212を切る
SP1214	B	K-7	-	6		
SP1215	B	J-7	-	7		SP1216に切られる
SP1216	B	J-7	-	10		SP1215を切る
SP1217	B	J-7	-	7		
SP1218	B	J-6	39	31		SG1001
SP1219	B	K-6	-	18		
SP1220	B	K-6	-	8		
SP1221	B	J-7	-	53		
SP1222	B	J-6	-	20		
SP1223	B	J-6	-	19		
SP1224	B	J-6	36	28		SG1001
SP1225	B	J-6	-	5		
SP1226	B	J-6	-	18		
SP1227	B	J-6	-	37		
SP1228	B	J-6	33	29		SG1001
SP1229	B	J-6	-	28		
SP1230	B	J-6	-	9		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1231	B	J-6	-	6		
SP1232	B	J-6	33	34		SG1001
SP1233	B	J-5	30	35		SG1001
SP1234	B	J-5	-	22		
SP1235	B	I-5	-	23		
SP1236	B	I・J-5	-	6		
SP1237	B	I・J-5	30	39		SG1001
SP1238	B	I-5	32	25		SG1001、SP1239を切る
SP1239	B	I-5	-	(21)		SP1238に切られる
SP1240	B	I-5	-	38		
SP1241	B	I-4	-	26		
SP1242	B	I-4	-	26		
SP1243	B	I-4	30	19		SG1001
SP1244	B	I-4	-	34		
SP1245	B	H-4	-	32		
SP1246	B	H-3	-	11		
SP1247	B	I-6	-	26		
SP1248	C	M-10	26	30		
SP1249	C	M-10	32	12		
SP1250	C	L-10	34	9		
SP1251	C	L-10	38	29		
SP1252	C	L-11	37	9		
SP1253	C	L-10・11	24	10		
SP1254	C	L-10	31	11		
SP1255	C	L-10	26	18		
SP1256	C	L-10	26	22		
SP1257	C	L-10	28	9		
SP1258	C	L-10	31	7		
SP1259	C	L-10	30	24		
SP1260	C	L-9	29	43		
SP1261	C	L-9	31	45		SK1008を切る
SP1262	C	L-9	28	52		
SP1263	C	J-12	28	11		
SP1264	C	J-12	(30)	4		SP1265に切られる
SP1265	C	J-12	35	12		SP1264を切る
SP1266	C	J-12	30	11		
SP1267	C	M-14	30	17		
SP1268	C	M-14	21	17		
SP1269	C	L-14	16	6		
SP1270	C	L-14	31	19		
SP1271	C	M-14	33	24		
SP1272	C	L-13	17	27		
SP1273	C	L-13	22	7		
SP1274	C	L-13	16	9		
SP1275	C	L-13	34	26		
SP1276	C	L-13	20	29		
SP1277	C	L-13	61	26		
SP1278	C	L-13	32	10		SA1002
SP1279	C	L-13	22	7		SA1002
SP1280	C	M-13	23	18		
SP1281	C	L-13	32	20		
SP1282	C	L-13	29	33		
SP1283	C	L-13	37	18		
SP1284	C	M-13	30	24		SA1002
SP1285	C	L-12	20	(16)		SP1286に切られる
SP1286	C	L-12	25	40		SP1285を切る
SP1287	C	L-12	30	29		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1288	C	L-12	30	42		
SP1289	C	L-12	28	13		
SP1290	C	L-12	21	34		
SP1291	C	M-11	21	11		
SP1292	C	M-12	27	6		
SP1293	C	M-12	23	10		
SP1294	C	M-12	30	22		
SP1295	C	M-12	34	17		
SP1296	C	M-12	16	8		
SP1297	C	M-12	27	18		
SP1298	C	M-13	36	21		SA1002
SP1299	C	M-13	23	(13)		SP1303に切られる
SP1300	C	M-13	31	15		SA1002
SP1301	C	M-13	44	12		
SP1302	C	M-13	39	16		
SP1303	C	M-13	32	28		SP1299を切る
SP1304	C	K-15	20	12		
SP1305	C	K-15	25	12		
SP1306	D	P-11	22	27	土師器小皿1	
SP1307	D	O・P-11	21	32		SD1002を切る
SP1308	D	O・P-11	22	20		
SP1309	D	O-11	20	7		
SP1310	D	O-11	(19)	26		SD1002・SP1311を切る
SP1311	D	O-11	(30)	(9)		SP1310に切られる
SP1312	D	O-11	27	46		
SP1313	D	O-11	21	15		
SP1314	D	O-11	27	46		
SP1315	D	O-10・11	16	19		
SP1316	D	O-10	28	34		SP1317に切られる
SP1317	D	O-10	22	34		SP1316を切る
SP1318	D	O-10	26	38		
SP1319	D	O-10	30	19		
SP1320	D	O・P-10	20	11		SK1011を切る
SP1321	D	P-10	32	30		
SP1322	D	O-10	26	44		
SP1323	D	O-10	31	23		
SP1324	D	O-10	32	20		
SP1325	D	O-10	21	18	土師器小皿1、土師器鉢1	
SP1326	D	O-10	24	34	須恵器碗?1	
SP1327	D	O-11	23	18		
SP1328	D	O-11	24	19		
SP1329	D	O-10	32	41	磁器杯1	
SP1330	D	O-10	17	23		
SP1331	D	O-10	21	32		
SP1332	D	O-10	33	14		SP1333を切る
SP1333	D	O-10	24	(9)		SP1332に切られる
SP1334	D	O-10	38	31		
SP1335	D	O-10	28	16		
SP1336	D	O-10	20	14		
SP1337	D	O-10	36	52		
SP1338	D	O-10	26	23		
SP1339	D	O-10	18	28		
SP1340	D	O-10	29	12		
SP1341	D	O-11	25	44		
SP1342	D	O-10・11	28	42		
SP1343	D	N-10	22	7		
SP1344	D	N-10	30	46		

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1345	D	N-10	33	42		
SP1346	D	O-10	21	5		
SP1347	D	O-10	(24)	7		SP1783に切られる
SP1348	D	O-10	40	6		
SP1349	D	O-10	21	5		
SP1350	D	O-10	16	10		
SP1351	D	O-10	44	50		SA1003
SP1352	D	O-9・10	33	47		
SP1353	D	O-10	36	46		
SP1354	D	O-10	21	28		
SP1355	D	O-10	22	27		
SP1356	D	O-10	28	40		
SP1357	D	O-10	33	46		
SP1358	D	O-10	28	50		
SP1359	D	O-10	23	44		
SP1360	D	O-10	28	47		
SP1361	D	O-10	32	34		
SP1362	D	O-10	27	13		
SP1363	D	P-10	14	13		
SP1364	D	P-10	27	32		
SP1365	D	P-10	36	22		
SP1366	D	O-9	36	42		SK1012を切る
SP1367	D	O-9	40	27		SP1368に切られる
SP1368	D	O-9	23	22		SP1367を切る
SP1369	D	O-10	21	18		SP1370に切られる
SP1370	D	O-9・10	20	21		SP1369・1371を切る
SP1371	D	O-9・10	(16)	(8)		SP1370に切られる
SP1372	D	O-9	17	8		
SP1373	D	O-9	26	28		
SP1374	D	O-9	32	24	須恵器甕1	SA1003
SP1375	D	O-9	20	16		
SP1376	D	O-9	24	8		
SP1377	D	O-9	28	46		SP1378を切る
SP1378	D	O-9	22	31		SP1377に切られる
SP1379	D	O-9	27	43		SA1003
SP1380	D	N-9	31	34		
SP1381	D	N-9	36	39		SA1003
SP1382	D	N-9	25	18		
SP1383	D	N-10	28	23	土師器脚1	SA1003
SP1384	D	N-9	28	38	土師器羽釜1	SA1003
SP1385	D	N-9	26	12		
SP1386	D	N-9	25	9		
SP1387	D	N-9	32	22		
SP1388	D	N-9	29	34		
SP1389	D	N-9	26	19		
SP1390	D	N-9	24	21		
SP1391	D	N-9	22	10		
SP1392	D	O-9	26	10		
SP1393	D	O-9	27	43	土師器羽釜1	SA1003
SP1394	D	O-9	32	34		
SP1395	D	O-9	24	3		
SP1396	D	O-9	27	12		
SP1397	D	O-9	26	23		
SP1398	D	O-9	29	16		
SP1399	D	O-9	32	45		
SP1400	D	O-9	18	27		
SP1401	D	O-9	18	15		
SP1402	D	O-9	30	32		

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1403	D	O-9	24	26		
SP1404	D	O-9	36	28		
SP1405	D	O-9	25	17		
SP1406	D	O-9	43	15	土師器杯1、土師器脚1	SP1407を切る
SP1407	D	O-9	16	22		SP1406に切られる
SP1408	D	O-9	31	31	土師器杯1	
SP1409	D	O-9	35	20		
SP1410	D	O-9	22	11		
SP1411	D	O-9	30	20		
SP1412	D	O-9	31	10		
SP1413	D	O-9	17	12		
SP1414	D	O-8・9	22	17		
SP1415	D	O-8	38	39		SP1416を切る
SP1416	D	O-8	32	18		SP1415に切られる
SP1417	D	O-8	27	29		
SP1418	D	O-8・9	21	12		
SP1419	D	O-9	(29)	13		SK1015を切る
SP1420	D	O-8・9	27	32		SK1015を切る
SP1421	D	N-9	32	30		
SP1422	D	N-9	31	46		
SP1423	D	N-9	32	39		
SP1424	D	N-9	28	12		
SP1425	D	N-9	28	12		SP1426を切る
SP1426	D	N-9	(24)	26		SP1425に切られる
SP1427	D	N-8	26	26		
SP1428	D	N-8	29	18		SP1429を切る
SP1429	D	N-8	22	(13)		SP1428に切られる
SP1430	D	N-8	34	26		
SP1431	D	N-8	30	40		
SP1432	D	N-8	26	8		
SP1433	D	N-8	22	32		
SP1434	D	N-8	22	8		
SP1435	D	N-8	18	34		
SP1436	D	N-8	44	59		
SP1437	D	N-8	26	26		
SP1438	D	N-8	47	40		
SP1439	D	N-8	-	-		
SP1440	D	N-8	-	-		
SP1441	D	N・O-8	16	26		
SP1442	D	N・O-8	32	32		
SP1443	D	O-8	30	40		
SP1444	D	O-8	20	10		
SP1445	D	O-8	28	17		
SP1446	D	O-8	22	12		
SP1447	D	N・O-8	34	38		
SP1448	D	N-8	19	9		
SP1449	D	O-8	29	7		
SP1450	D	O-8	29	17		
SP1451	D	O-8	38	59		
SP1452	D	O-8	24	28		
SP1453	D	O-8	19	20		
SP1454	D	P-11	32	32		
SP1455	D	P-11	32	23	土師器甕1	SP1456を切る
SP1456	D	P-11	32	41		SP1455に切られる
SP1457	D	P-11	38	13		
SP1458	D	P-11	28	25		
SP1459	D	P-11	38	38		
SP1460	D	Q-11	30	27		

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1461	D	Q-11	28	15		
SP1462	D	Q-11	22	29		
SP1463	D	Q-11	28	28		
SP1464	D	P・Q-11	34	26		
SP1465	D	P-11	38	28		SK1022・SP1760を切る
SP1466	D	Q-11 (20)	10			SP1467に切られる
SP1467	D	Q-11	20	15		SP1466を切る
SP1468	D	P-11	26	18		
SP1469	D	P-11	32	11		
SP1470	D	P-11	25	17		
SP1471	D	P-11	18	15		
SP1472	D	P-10・11	37	24		
SP1473	D	P-10	38	26		
SP1474	D	P-10	24	35		SK1023を切る
SP1475	D	P-10	30	41		
SP1476	D	P-10	32	28		
SP1477	D	P-10	46	35		
SP1478	D	P-10	25	21		SP1479に切られる
SP1479	D	P・Q-10	24	18		SP1478を切る
SP1480	D	P・Q-10	29	19	磁器皿1	
SP1481	D	P-10	34	31		
SP1482	D	Q-10	29	23		
SP1483	D	Q-10	29	17		
SP1484	D	P-10	25	29	鉄?1	
SP1485	D	P-10	22	11		
SP1486	D	P-10	33	15		
SP1487	D	Q-10	32	43		
SP1488	D	Q-10	33	12		
SP1489	D	Q-9	30	13		
SP1490	D	P-10	28	37		
SP1491	D	P-10	34	16		
SP1492	D	P-10	44	12		
SP1493	D	P-10	27	30		
SP1494	D	P-9・10	26	22		
SP1495	D	P-9	35	31		
SP1496	D	P-9	22	19		SK1044を切る
SP1497	D	P-9	30	25		
SP1498	D	P-9	24	18		
SP1499	D	P-9	31	20	敲石1	
SP1500	D	P-9	26	22		SP1501を切る
SP1501	D	P-9 (24)	39			SP1500に切られる
SP1502	D	P-9	31	24		
SP1503	D	P-9	-	14		
SP1504	D	P-9	24	12		
SP1505	D	P-9	29	25		
SP1506	D	P-9	28	31		
SP1507	D	P-9	30	22		
SP1508	D	P-9	35	28		
SP1509	D	P-9	34	30		
SP1510	D	P-9	26	36		
SP1511	D	P-9	30	27		
SP1512	D	P-9	27	15		
SP1513	D	P-9	30	38		
SP1514	D	Q-9	29	16		
SP1515	D	O・P-9	20	14		
SP1516	D	P-9	30	24		
SP1517	D	P-8・9	30	16		
SP1518	D	P-9	20	13		

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1519	D	P-9	24	8		
SP1520	D	P-8	22	22		
SP1521	D	P-8	19	12		
SP1522	D	P-8	-	17		
SP1523	D	P-8	22	22		
SP1524	D	P-8	20	20		SA1004
SP1525	D	P-8	32	5		SP1526を切る
SP1526	D	P-8 (36)	17			SP1525に切られる
SP1527	D	P-8	17	11		
SP1528	D	P-8	14	14		
SP1529	D	P-8	10	13		
SP1530	D	P-8	20	8		
SP1531	D	P-8	22	22		SP1532を切る
SP1532	D	P-8	20	8		SP1531に切られる
SP1533	D	P-8	19	26		
SP1534	D	P-8	20	-		
SP1535	D	P-8	22	15		SA1004
SP1536	D	P-8	23	18		
SP1537	D	P-8	18	16		
SP1538	D	P-8	20	16		SA1004
SP1539	D	P-8	21	13		
SP1540	D	Q-8	19	36		
SP1541	D	Q-8	26	24		
SP1542	D	Q-8	24	21		
SP1543	D	Q-8	28	33		
SP1544	D	P・Q-7・8	23	22		SA1004
SP1545	D	P・Q-7	17	12		
SP1546	D	Q-7	-	12		
SP1547	D	P・Q-7	29	16		SP1548に切られる
SP1548	D	P-7	20	36		SP1547を切る
SP1549	D	P-7	18	20		
SP1550	D	P-7	24	25		SA1004
SP1551	D	P-7	21	14		SP1552に切られる
SP1552	D	P・Q-7	30	18	土師器腕1	SP1551・1553を切る
SP1553	D	P-7 (34)	18			SP1552に切られる
SP1554	D	P-7	27	32	土師器小皿1	
SP1555	D	P-7	22	28		
SP1556	D	P-7 (23)	10			
SP1557	D	P-7	18	12		
SP1558	D	P-7	19	7		
SP1559	D	P-8	23	33		
SP1560	D	P-7・8	36	29		SA1004
SP1561	D	P-8	20	22		
SP1562	D	P-7・8	20	18		
SP1563	D	P-7	31	30		
SP1564	D	P-7	22	25		
SP1565	D	P-7	26	29	土師器小皿1、須恵器腕1	
SP1566	D	P-7	20	20		
SP1567	D	P-7	30	50	磁器碗1	
SP1568	D	P-7	24	18		
SP1569	D	P-7	21	41		
SP1570	D	P-7	46	36		
SP1571	D	P-8	18	20		
SP1572	D	P-7	28	29	土師器杯1	
SP1573	D	P-7	28	-		
SP1574	D	P-7	24	15		
SP1575	D	P-7	12	6		
SP1576	D	P-7	30	16		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1577	D	O-8	27	38		
SP1578	D	O-8	20	11		SK1030に切られる
SP1579	D	O-8	11	13		
SP1580	D	O-7	20	6		
SP1581	D	O-7	24	25		
SP1582	D	O-7	23	13		
SP1583	D	O-7	-	34		
SP1584	D	O-7	-	29		
SP1585	D	P-7	24	25		
SP1586	D	P-7	21	30		SA1004
SP1587	D	P-7	32	14	磁器杯1	
SP1588	D	P-7	30	7		
SP1589	D	P-7	31	30		
SP1590	D	P-7	31	14		
SP1591	D	P-7	22	14		
SP1592	D	P-7	32	14		
SP1593	D	P-7	22	31		SA1004
SP1594	D	P-7	28	8		
SP1595	D	P-7	26	13		
SP1596	D	P-7	26	15		
SP1597	D	P-7	31	31	瓦器碗1、碗1	SA1004、瓦器碗和泉系
SP1598	D	P-6・7	19	25		
SP1599	D	P-7	28	18		
SP1600	D	P-6	23	8		
SP1601	D	P-7	12	19		
SP1602	D	P-7	22	14		
SP1603	D	P-7	19	11		
SP1604	D	P-7	34	34		
SP1605	D	P-7	10	13		
SP1606	D	P-7	15	23		
SP1607	D	P-7	28	41		SP1608を切る
SP1608	D	P-7	34	37		SP1607に切られる
SP1609	D	P-7	38	36	須恵器壺1	SA1004
SP1610	D	P-7	26	18		
SP1611	D	P-7	24	40	須恵器壺1	
SP1612	D	P-7	17	8		
SP1613	D	P-7	28	17	須恵器壺1	
SP1614	D	P-7	18	9		
SP1615	D	P-7	24	14		
SP1616	D	P-7	22	34		
SP1617	D	P-7	28	26		
SP1618	D	P-7	22	19		
SP1619	D	P-7	30	32	白磁碗1	
SP1620	D	O・P-7	20	9		
SP1621	D	P-7	24	27		
SP1622	D	O-7	17	9		
SP1623	D	O-7	28	-		SP1624に切られる
SP1624	D	O-7	28	-		SP1623を切る
SP1625	D	O-7	18	13		
SP1626	D	O-7	(18)	(32)		SP1662に切られる
SP1627	D	O-7	30	32		
SP1628	D	O-7	26	5		
SP1629	D	O-7	20	6		
SP1630	D	O-7	18	10		
SP1631	D	O-7	(14)	13		SP1632に切られる
SP1632	D	O-7	29	20		SP1631を切る
SP1633	D	O-7	27	30		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1634	D	O-7	30	29		
SP1635	D	O-7	18	5		
SP1636	D	O-7	12	23		
SP1637	D	O-7	12	36		
SP1638	D	O-6・7	36	19		
SP1639	D	O・P-7	42	29		
SP1640	D	O-6	23	36		SA1005
SP1641	D	P-6	23	28		
SP1642	D	P-6	24	13		SK1043に切られる
SP1643	D	P-6	28	38		
SP1644	D	P-6	24	32	須恵器碗1	
SP1645	D	P-6	36	37		SX1002を切る
SP1646	D	O-6	35	44		SA1005
SP1647	D	O-6	24	22		SX1002を切る
SP1648	D	O-6	31	22		
SP1649	D	O-6	16	8		
SP1650	D	O-6	18	4		
SP1651	D	O-6	16	9		
SP1652	D	O-6・7	28	30		
SP1653	D	O-6・7	20	10		
SP1654	D	O-7	40	16		SP1655を切る
SP1655	D	O-7	25	(8)		SP1654に切られる
SP1656	D	O-6	33	23		
SP1657	D	O-6	28	9		
SP1658	D	O-6	24	9		
SP1659	D	O-6	25	14		
SP1660	D	O-6	22	10		SK1041に切られる
SP1661	D	P-5	18	18		
SP1662	D	O-7	24	29		SP1626を切る
SP1663	E	U-16	30	20		
SP1664	E	U-16	18	17		
SP1665	E	U-16	14	10		
SP1666	E	U-16	25	19		
SP1667	E	T-16	17	16		
SP1668	E	T-16	19	23		
SP1669	E	T-16	18	22		
SP1670	E	T-15	18	14		
SP1671	E	U-14	21	15		SA1006
SP1672	E	U-14	21	9		SA1006
SP1673	E	T-14	24	12		SA1006
SP1674	E	T-14	28	16		SA1006
SP1675	E	T-14	18	10		SA1006
SP1676	E	T-14	29	13		
SP1677	E	T-14	30	14		
SP1678	E	S-14	17	14		
SP1679	E	T-14	32	12		
SP1680	E	U-14	30	9		
SP1681	E	U-14	27	6		
SP1682	E	U-13・14	18	8		
SP1683	E	U-13	25	18		
SP1684	E	T-14	28	10		SA1006
SP1685	E	S-15	22	26		
SP1686	E	S-15	22	11		
SP1687	E	R・S-15	27	18		
SP1688	E	R・S-15	26	20		SP1690を切る
SP1689	E	R・S-15	(26)	22		SP1690に切られる
SP1690	E	R-15	(36)	24		SA1008 SP1689を切り、 SP1688に切られる

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1691	E	R-15	22	19		SA1008
SP1692	E	S-15	30	13		
SP1693	E	R-15	29	22		
SP1694	E	R-15	18	10		
SP1695	E	R・S-15	32	26		SA1008
SP1696	E	R-15	23	4		
SP1697	E	R-15	19	10		
SP1698	E	S-14	34	38	土師器鍋1	SA1008
SP1699	E	R-14	28	29		SA1008
SP1700	E	R-14	30	18		
SP1701	E	R-14	30	41		
SP1702	E	R-14	25	32		
SP1703	E	R-14	24	60		
SP1704	E	R-13	30	6		
SP1705	E	R-13	41	26		
SP1706	E	R-13	26	42		
SP1707	E	S-13	44	38		
SP1708	E	R-13	30	30		
SP1709	E	R-13	27	12		
SP1710	E	S-13	27	22		SA1007
SP1711	E	R-12・13	30	14		SA1007
SP1712	E	S-12	26	23		SA1007
SP1713	E	S-12	20	30		SA1007
SP1714	E	R-12	36	14		SA1007
SP1715	E	R-12	31	18		SA1007
SP1716	E	R-12・13	30	28		SA1007
SP1717	E	R-15	21	12		
SP1718	E	O-17	46	16		
SP1719	E	O-16	28	26		
SP1720	E	N-16	28	16		
SP1721	E	N-16	16	10		
SP1722	E	N-16	26	6		
SP1723	E	O-15	37	45		
SP1724	F	V-16	24	8		
SP1725	F	V-16	36	20		
SP1726	F	W-15	37	21		
SP1727	F	W-16	30	8		
SP1728	F	W-16	32	18		
SP1729	F	W-16	43	6		
SP1730	F	W-16	16	21		
SP1731	F	W-16	14	9		
SP1732	F	W-16・17	26	21		
SP1733	F	Y-20	21	9		
SP1734	F	Y-20	22	9		
SP1735	F	Y・Z-20	30	14		
SP1736	F	Z-20	30	18		
SP1737	F	Z-20	20	7		
SP1738	F	Z-19	18	12		
SP1739	F	Z-19	13	8		
SP1740	F	Z-19	24	9		
SP1741	F	Z-19	22	10		
SP1742	F	Z-19	25	10		
SP1743	F	Z-19	17	15		
SP1744	F	Z-19	22	14		
SP1745	F	Z-19	31	17		
SP1746	D	O-9	44	43		SK1014・1015を切る

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1747	D	O-9	30	18		SK1015を切る
SP1748	D	P-11	22	21		SK1011を切る
SP1749	D	P-10・11	36	31		SK1011に切られる
SP1750	D	P-10	24	46		SK1011に切られる
SP1751	D	O-9	18	30		SK1012に切られる
SP1752	D	P-11	21	14		
SP1753	D	O-9	21	44		SK1012を切る
SP1754	D	N-8	26	10		
SP1755	D	O-8	36	16		
SP1756	D	O-7	18	22		SK1021を切る
SP1757	D	O-7	28	33		SP1758に切られる
SP1758	D	O-7	18	12		SP1757を切る
SP1759	D	O-7	33	9		
SP1760	D	P-11	(28)	10		SP1761・SK1022・SP1465に切られる
SP1761	D	P-11	(27)	14		SP1760を切り、SK1022に切られる
SP1762	D	P-11	21	16		
SP1763	D	P-8	38	8		
SP1764	D	P-8	16	7		
SP1765	D	P-8	35	24		
SP1766	D	P-8	22	10		
SP1767	D	P-7	20	20		
SP1768	D	O-8	24	16		SK1030に切られる
SP1769	D	P-11	28	26		SK1022を切る
SP1770	D	P-6	28	34		SD1004を切る
SP1771	D	P-10	20	33		SP1772に切られる
SP1772	D	P-10	31	36		SP1771を切る
SP1773	D	P-6	34	40		
SP1774	D	P-6	(20)	30		SP1775に切られる
SP1775	D	P-6	32	(30)		SP1774を切る
SP1776	D	P-6	30	31	土師器杯1	
SP1777	D	P-6	32	28	土師器杯1	SA1005
SP1778	D	P-6	43	22		
SP1779	D	P-6	24	30		
SP1780	D	O-6	34	16		
SP1781	D	O-6	28	28		SA1005
SP1782	D	O・P-6	16	19		
SP1783	D	O-10	38	53		SP1347を切る
SP1784	D	N-10	30	24		
SP1785	D	N-10	20	(8)		SP1786に切られる
SP1786	D	N-10	36	26		SP1785を切る

第9表 お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
1	D区 SK1012	須恵器 甕	45%	49.4	-	-	-	(9.0)	-	外)口縁頸部:指オサエ後回転ナデ、体部:格子目タタキ 内)口縁頸部:回転ナデ、体部:青海波文	外)灰白 内)灰	長、赤	
2	D区 SP1393	土師器 羽釜	10%	39.6	39.6	-	-	(6.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:ナデ? 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)浅黄橙 内)淡黄	石、赤	
3	D区 SP1384	土師器 羽釜	8%	20.4	-	-	鏝径 (22.8)	(5.2)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ後ヨコナデ・ナデ、体部: 板ナデ後ナデ 内)口縁部:板ナデ	外)明赤褐 内)橙	石、赤、結、 雲	
4	D区 SP1383	土師器 脚	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ:指オサエ	外)にぶい黄橙		
5	D区 SP1374	須恵器 甕	-	-	-	-	-	(4.6)	-	外)体部:格子目タタキ 内)体部:青海波文	外)灰 内)灰白	石	
6	D区 SP1597	瓦器 椀	40%	-	-	5.3	-	(2.9)	高台高 0.4	外)体部:指オサエ・ナデ、底部:ナデ 内)体底部:ヘラマガキ・ナデ(貼付高台)	外)灰白 内)灰白	雲	和泉系
7	D区 SP1777	土師器 杯	17%	14.2	-	-	-	(3.1)	-	外)口縁部:回転ナデ 内)口縁部:回転ナデ	外)橙 内)橙	雲、長、赤	
8	E区 SP1698	土師器 鍋	18%	35.8	-	-	-	(7.2)	-	外)口縁部:ヨコナデ・指オサエ後板ナデ後ナデ 内)口縁部:ヨコ方向のナデ	外)灰黄褐 内)にぶい黄褐	石、結	
9	D区 SK1011	土師器 脚	-	-	-	-	-	(20.8)	-	外)その他:指オサエ後ナデ 内)その他:ナデ	外)灰白 内)黒	石、雲、結、 赤	
11	D区 SK1015	土師器 杯	70%	12.6	-	7.6	-	3.1	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:回転ヘラギリ後ナデ 内)口縁部:回転ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	雲、赤	
12	D区 SK1021	土師器 杯	98%	12.6	-	7.6	-	3.4	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ヘラ 圧痕 内)口縁部:回転ナデ	外)橙 内)橙	石、雲、結、 赤	
13	D区 SK1021	土師器 杯	25%	-	-	(6.8)	-	(3.3)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ナデ 内)体底部:回転ナデ	外)橙 内)橙	石、赤、結、 雲	
14	D区 SK1021	土師器 羽釜	10%	25.0	28.1	-	鏝径 (28.1)	(7.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、工具の当たった跡、体部:指 オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ後ナデ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	石、結	
15	D区 SK1021	土師器 釜	45%	29.0	-	-	鏝径 (32.2)	(15.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	結、石、赤、 長	
16	D区 SK1021	土師器 鍋	12%	(39.6)	-	-	-	(10.2)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板 ナデ	外)浅黄橙 内)橙	長、石、赤	
17	D区 SK1022	土師器 插鉢	25%	28.0	-	-	-	(10.5)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ、体部:板 ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:ナデ、一部スリ目あり(6本)	外)橙 内)橙	長、石、結、 雲	
18	D区 SK1022	土師器 插鉢		40.4	-	-	-	(8.2)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板 ナデ	外)橙 内)橙	長、石、頁	
19	D区 SK1044	土師器 甕?	20%	20.4	-	-	-	(7.8)	-	外)口縁部:ナデ・指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ナデ・ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサ エ後ヨコ方向の板ナデ	外)にぶい橙 内)にぶい黄橙	石、結、赤	
20	D区 SU1006	土師器 羽釜	12%	26.0	-	-	鏝径 (29.4)	(8.8)	-	外)口縁部:ヨコナデ・板ナデ後指オサエ 内)口縁部:板ナデ後指オサエ後ハケ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	石、雲、赤	
21	D区 SU1006	土師器 羽釜	12%	24.6	-	-	鏝径 (28.4)	(8.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後板ナデ後指 オサエ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後板ナデ	外)浅黄橙 内)にぶい黄橙	石、赤、結	
22	E区 ST1001	土師器 小皿	40%	6.2	-	4.8	-	0.9	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁部:回転ナデ	外)橙 内)にぶい橙	赤	
23	E区 ST1001	土師器 小皿	35%	8.4	-	6.2	-	1.2	-	外)口縁部:回転ナデ 内)口縁部:回転ナデ	外)橙 内)橙	雲、赤	
24	E区 ST1001	土師器 小皿	30%	8.6	-	5.8	-	1.2	-	外)口縁部:ヨコナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁部:ヨコナデ	外)橙 内)橙	赤	
25	E区 ST1001	土師器 小皿	30%	8.4	-	5.4	-	1.9	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:静止糸切り・ヘラ痕? 内)口縁部:回転ナデ、底部:ナデ	外)にぶい橙 内)にぶい橙	雲、長、赤	
26	E区 ST1001	土師器 小皿	80%	8.2	-	6.8	-	1.45	-	外)口縁部:ヨコナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁部:回転ナデ	外)橙 内)橙	雲、赤	
27	E区 ST1001	土師器 小皿	35%	8.2	-	6.8	-	1.2	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:静止糸切り 内)口縁部:回転ナデ 内)底面に一方向2~3条のナデ	内)外)にぶい黄橙	結、赤	
28	E区 ST1001	土師器 灯明皿	40%	8.0	-	5.4	-	0.9	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:回転糸切り 内)口縁部:回転ナデ	外)橙 内)橙	長、赤	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
29	E区 ST1001	土師器 杯	12%	24.8	-	16.0	-	3.7	-	外)口縁底部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、底部:板ナデ	外)にぶい黄橙 内)にぶい橙	石、長、雲、 赤	
30	E区 ST1001	土師器 茶釜?	-	15.5	-	-	-	(4.4)	-	外)口縁部:ヨコナデ、頸部:板ナデ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、頸部:板ナデ後指オサエ 体部上方に穿孔	内・外)にぶい黄橙	石、長、 結	
31	E区 ST1001	土師器 茶釜?	18%	18.0	-	-	18.3	(6.7)	-	外)口縁頸部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の 板ナデ後ナデ	内・外)にぶい黄橙	石、結	
32	E区 ST1001	土師器 羽釜	12%	19.4	-	-	鏝径 (21.4)	(6.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ後指オサエ、体部:指オサエ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ後指オサエ	内・外)にぶい赤褐	長、石、結	
33	E区 ST1001	土師器 釜	20%	26.4	-	-	鏝径 (29.4)	(4.4)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後板ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ	外)橙 内)橙	赤頁、長、 石	
34	E区 ST1001	土師器 羽釜	50%	24.4	28.4	-	鏝径 (28.4)	(6.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ・指オサエ、体部:指オサエ・ナ デ 内)口縁部:指オサエ・ハケ	外)橙 内)明黄褐	雲、石、赤	
35	E区 ST1001	土師器 釜	8%	32.0	-	-	-	(4.8)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナ デ	外)橙 内)橙	赤頁、長、 雲、結	
36	E区 ST1001	土師器 釜	20%	25.4	-	-	鏝径 (28.8)	(4.6)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ・ヨコナデ、体部: 指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ	外)明黄褐 内)にぶい黄橙	長、赤、石	
37	E区 ST1001	土師器 羽釜	18%	30.4	-	-	鏝径 (33.8)	(4.4)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の ナデ	外)にぶい橙 内)にぶい黄橙	石、雲、結	
38	E区 ST1001	土師器 鍋		40.2	-	-	-	(5.1)	-	外)口縁部:ナデ、体部:板ナデ・指オサエ 内)口縁部:指オサエ後ヨコナデ 外面全体的に煤付着	外)黒褐 内)褐	雲、石、赤	
39	E区 ST1001	土師器 鍋	10%	40.7	-	-	-	(7.7)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)灰黄褐 内)黄褐	長、結	
40	E区 ST1001	土師器 鍋	10%	37.1	-	-	-	(5.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、口縁部:指オサエ後板ナデ 後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ 外面に煤付着	外)暗灰黄 内)にぶい黄褐	石、雲、結	
41	E区 ST1001	土師器 鍋	20%	26.2	-	-	-	(4.0)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ	外)橙 内)明赤褐	長、赤、石	
42	E区 ST1001	土師器 鍋(口部)	8%	39.4	-	-	-	(4.3)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ・ナデ 内)口縁部:回転ナデ、体部:ナデ	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄	石、結	
43	E区 ST1001	土師器 鍋	12%	34.4	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部:ヨコナデ・ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)明赤褐 内)赤褐	結	
44	E区 ST1001	土師器 鍋?	12%	38.4	-	-	-	(3.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)明黄褐 内)にぶい褐	長、結、赤	
45	E区 ST1001	須恵器 壺	11%	20.6	-	-	17.8	(6.1)	-	外)口縁頸部:回転ナデ、体部:タタキ 内)口縁頸部:回転ナデ後ナデ、体部:ヘラケズリ	外)黄灰 内)黄灰	赤頁、長、 頁	
46	E区 ST1001	須恵器 壺か甕	10%	-	-	(18.4)	-	(3.9)	-	外)体部:ヨコ方向の板ナデ、底部:粗いケズリ・ナデ 内)体部:ヨコ方向の板ナデ、底部:板ナデ	外)黄灰 内)灰	結、長	
47	E区 ST1001	須恵器 甕	10%	-	-	32.0	-	(3.7)	-	外)体部:ヨコ方向の板ナデ、底部:板ナデ 内)体部:ヨコ方向の板ナデ、底部:板ナデ	外)黄灰 内)黄灰	長	
48	E区 ST1001	陶器 碗	90%	4.4	-	4.7	-	(3.4)	高台高 0.7	外)体底部:ロクロ・施釉 内)体底部:ロクロ・施釉	外)うすい黄 内)グレイみの黄		
49	E区 ST1001	陶器 碗	60%	-	-	高台径 (9.1)	-	(4.6)	高台高 1.1	外)体底部:回転ヘラケズリ、ケズリ出し高台 内)体部:ロクロ・施釉 底部内面に置砂	外)くらいグレイミ のブラウン 内)にぶい赤褐	長、雲	
50	E区 ST1001	陶器 皿	100%	8.0	-	3.5	-	1.45	-	外)口縁部:ロクロ、体部:回転ヘラケズリ、底部:回転 糸切り 内)口縁部:ロクロ、体部:施釉	外)赤褐 内)赤褐	長、石	
51	E区 ST1001	陶器 甕	25%	38.2	-	-	34.0	(17.2)	-	外)口縁頸部:回転ナデ 内)口縁頸部:回転ナデ、体部:タタキ後ナデ	内・外)くらいグレイ みのブラウン		
52	E区 ST1001	陶器 播鉢	7%	34.0	-	-	-	(4.2)	-	外)口縁部:ロクロ 内)口縁部:ロクロ、体部:ロクロ後スリ目	外)赤褐 内)赤褐	長、雲	
53	E区 ST1001	陶器 播鉢	26%	-	-	(14.0)	-	(6.9)	-	外)体部:回転ナデ後ナデ、底部:ナデ 内)体底部:ナデ後スリ目(4条/cm)	外)灰褐 内)にぶい赤褐	石、長、砂	
54	E区 ST1001	陶器 播鉢	25%	-	-	(18.4)	-	(9.4)	-	外)体部:(上)回転ナデ(下)回転ナデ後指オサエ、 底部:回転ヘラ切り後ナデ 内)体底部:回転ナデ後スリ目(4条/cm)	外)暗赤褐 内)暗赤褐	石、赤、結	
55	E区 ST1001	青磁 碗	12%	18.2	-	-	-	(4.0)	-	外)口縁部:施釉・回転ナデ 内)口縁部:施釉・回転ナデ	内・外)グレイみの 黄緑		

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
56	E区 ST1001	青磁 碗	10%	16.6	-	-	-	(4.2)	-	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ 釉あり 貫入あり	内・外)グレイみの オリブグリーン		
57	E区 ST1001	磁器 皿	70%	10.2	-	-	-	3.0	-	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ 内外面に釉あり、外面:体部~底部は無釉	外)うすい黄 内)黄みのブラウン		
58	E区 ST1001	瓦質 内取?焙烙	10%	28.4	-	-	-	3.8	-	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ	外)暗灰 内)灰	長	
61	F区 ST1002	土師器 小皿	30%	6.0	-	高台径 5.8	-	0.8	-	外)体部:ヨコナデ、底部:回転ヘラ切り 内)体部:ヨコナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	雲	
62	F区 ST1002	土師器 小皿	25%	6.1	-	6.0	-	0.8	-	外)体部:ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)体部:ナデ	外)にぶい赤褐 内)明赤褐	雲	
63	F区 ST1002	磁器 碗	50%	10.0	-	4.3	-	5.0	高台高 0.8	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ・施釉 量付無釉	外)黄みの白 内)黄みの白		
64	F区 ST1002	青磁? 磁器碗	20%	8.0	-	3.6	-	5.9	-	外)口縁体部:ロクロナデ後施釉 内)口縁体部:ロクロナデ後施釉 量付無釉	外)うすい黄緑 内)黄みの白		
65	F区 ST1002	土師器 瓦	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:ヨコナデ 内)その他:ヨコナデ	外)にぶい橙 内)にぶい黄橙	雲、石、赤	
66	D区 SX1002	土師器 杯	30%	-	-	(8.4)	-	(1.9)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ナデ? 内)体部:回転ナデ	外)にぶい橙 内)にぶい橙	赤、砂	
67	D区 SX1002	土師器 杯	25%	-	-	(8.5)	-	(1.8)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)体部:回転ナデ	外)にぶい橙 内)にぶい橙	雲、赤	
68	D区 SX1002	土師器 杯	17%	-	-	(7.0)	-	(1.3)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)体部:回転ナデ	外)にぶい橙 内)橙	石、長、砂、 雲	
69	D区 SX1002	土師器 椀	30%	-	-	高台径 (5.8)	-	1.4	高台高 0.4	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)体部:回転ナデ、貼付高台	外)にぶい橙 内)にぶい橙	石、長、雲、 砂、片	
70	D区 SX1002	須恵器 椀	18%	12.9	-	-	-	(3.9)	-	外)口縁部:回転ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:板ナデ	外)橙 内)淡赤澄	雲、長、真	
71	D区 SX1002	須恵器 椀	75%	-	-	4.2	-	(2.4)	-	外)体部:指オサエ後回転ナデ、底部:貼付高台 内)体部:回転ナデ、底部:ナデ	外)淡澄 内)褐灰	石、赤	
72	D区 SX1002	土師器 土錘	100%	長さ 4.2	1.6	-	-	重さ 9.70g	-	外)その他:ナデ	外)橙	雲、石	
74	D区 SP1306	土師器 小皿	85%	7.6	-	5.9	-	1.3	-	外)口縁体部:ナデ、底部:回転糸切り 内)口縁体部:ナデ	外)明赤褐 内)橙	雲、石、赤	
75	D区 SP1325	土師器 小皿	98%	6.6	-	5.3	-	1.6	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後 ナデ 内)口縁体部:回転ナデ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	石、雲、結	
76	D区 SP1325	土師器 鉢	45%	-	-	8.9	-	(11.3)	-	外)体部:ナデ、底部:(回転ヘラ切り?)ナデ 内)体部:ナデ	外)灰白 内)灰白	雲、長、赤	
77	D区 SP1326	須恵器 椀?	40%	-	-	4.5	-	(2.8)	-	外)体部:ロクロナデ後指オサエ、その他:静止糸切 り後押さえている 内)体部:ロクロナデ	外)灰白 内)黄灰	長、石	
78	D区 SP1329	青白磁? 杯	40%	9.8	-	5.2	-	(2.0)	-	外)口縁体部:施釉 内)口縁体部:施釉 高台剥離	外)うすい黄緑 内)うすい黄緑		
79	D区 SP1406	土師器 杯	20%	-	-	(7.2)	-	(2.4)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ナデ 内)体部:指オサエ後ナデ	外)橙 内)にぶい黄橙	雲、長、赤	
80	D区 SP1406	土師器 脚	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ、指オサエ 内)その他:指オサエ・ナデ	外)にぶい黄橙		
81	D区 SP1408	土師器 杯	30%	-	-	(7.8)	-	(2.4)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ナデ 内)体部:回転ナデ	外)にぶい橙 内)橙	雲、結、赤	
82	D区 SP1455	須恵器 甕	-	-	-	-	-	(3.5)	-	外)体部:タキ 内)体部:青海波紋	外)黄灰 内)黄灰	長、石	
84	D区 SP1552	土師器 椀	12%	17.0	-	-	-	(3.1)	-	外)口縁体部:回転ナデ後指オサエ・板ナデ 内)口縁部:指オサエ、体部:板ナデ	内・外)にぶい黄橙	雲、赤	
85	D区 SP1554	土師器 小皿	20%	8.6	-	6.0	-	1.3	-	外)口縁体部:ヨコナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁体部:ヨコナデ	外)橙 内)橙	雲、石、赤	
86	D区 SP1565	土師器 小皿	25%	7.4	-	5.7	-	1.3	-	外)口縁体部:ヨコナデ、底部:回転ナデ?後ナデ 内)口縁体部:ヨコナデ	外)淡黄 内)淡黄	石、赤、結、 雲	
87	D区 SP1565	須恵器 椀	7%	15.8	-	-	-	(3.0)	-	外)口縁体部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ハケ	外)灰 内)灰白	石、赤	
88	D区 SP1567	青磁 碗	-	17.4	-	-	-	(2.7)	-	外)口縁体部:施釉・ロクロナデ 内)口縁体部:施釉・ロクロナデ	外)オリブ 内)オリブ		
89	D区 SP1572	土師器 杯	10%	12.7	-	8.0	-	2.9	-	外)口縁体部:ナデ 内)口縁体部:ナデ	外)橙 内)橙	石、赤、結、 雲	
90	D区 SP1587	磁器 杯	-	15.4	-	-	-	(2.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:蓮弁文・施釉 内)口縁体部:回転ヨコナデ、施釉	内・外)グレイみの オリブグリーン		

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
91	D区 SP1619	白磁 碗	12%	14.5	-	-	-	(3.8)	-	外)口縁体部:ロクロ・施釉 内)口縁体部:ロクロ・施釉	外)うすい黄緑 内)うすい黄緑		
92	D区 SP1644	須恵器 碗	5%	12.0	-	-	-	(2.9)	-	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ	外)灰 内)灰	雲	
93	D区 SP1776	土師器 杯	20%	12.6	-	-	-	(2.5)	-	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ	外)橙 内)橙	結、赤	
94	D区 P-8 包含層	土師器 杯	5%	14.4	-	-	-	(4.5)	-	内・外面とも磨減著しい為、調整不明	外)淡黄 内)淡黄	結	
95	D区 Q-9 包含層	土師器 杯	40%	11.8	-	8.0	-	3.4	-	外)口縁体部:指オサエ後ナデ、底部:回転ヘラ切り 後ナデ 内)口縁体部:指オサエ後回転ナデ	外)橙 内)橙	雲、赤	
96	D区 P-9 包含層	土師器 杯	30%	10.8	-	7.6	-	2.95	-	外)口縁体部:ナデ 内)口縁体部:ナデ	外)橙 内)橙	雲、赤	
97	D区 N-9 包含層	土師器 杯	40%	14.2	-	7.0	-	4.0	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁体部:回転ナデ	外)橙 内)橙	長、赤、石、 片	
98	D区 N-12 包含層	土師器 杯	30%	12.1	-	9.2	-	3.4	-	外)口縁体部:ナデ、底部:回転ヘラ切り?後ナデ 内)口縁体部:指オサエ後ナデ	外)橙 内)橙	雲	
99	D区 N-12 包含層	土師器 杯	40%	11.6	-	6.8	-	3.3	-	外)口縁体部:回転ナデ 内)口縁体部:回転ナデ	外)にぶい橙 内)橙	雲、赤	
100	D区 N-12 包含層	土師器 杯	35%	12.0	-	6.0	-	4.1	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:ヘラ切り後ナデ 内)口縁体部:回転ナデ、内面に黒斑?あり	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙	雲	
101	D区 N-9・ 10 包含層	土師器 杯	25%	12.6	-	9.8	-	3.6	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁体部:回転ナデ	外)橙 内)橙	雲	
102	D区 P-9 包含層	土師器 杯	75%	-	-	8.0	-	(2.7)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ヘラ痕 内)体部:回転ナデ	外)橙 内)橙	雲、赤、片	
103	D区 OP-9 包含層	土師器 小皿	40%	7.6	-	5.6	-	1.5	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁体部:回転ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	赤、頁	
104	D区 P-8 包含層	土師器 小皿	80%	8.8	-	6.9	-	1.4	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転糸切り 内)口縁体部:回転ナデ	外)橙 内)橙	雲、長、赤	
105	D区 P-8 包含層	瓦器 小皿	25%	8.6	-	-	-	1.7	-	外)口縁体部:指オサエ後ナデ、底部:不明 内)口縁体部:ナデ	外)灰 内)灰	長、赤頁	
106	D区 N・O -12 包含層	土師器 壺	85%	-	-	4.4	-	(1.7)	-	外)体部:回転ナデ、底部:静止糸切り 内)体部:回転ナデ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	雲、赤	
107	D区 N・O -9・10 包含層	土師器 杯	30%	12.8	-	7.5	-	2.1	-	外)口縁体部:ヨコナデ、底部:ナデ 内)口縁体部:ヨコナデ	外)橙 内)橙	雲、石、赤	
108	包含層	土師器 小皿	85%	9.4	-	4.2	-	1.3	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転糸切り後ナデ 内)口縁体部:回転ナデ 内面、口縁端部施釉、外面施釉	外)赤褐 内)赤	長	
109	包含層	土師器 小皿	95%	7.3	-	2.8	-	1.5	-	外)口縁体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁体部:回転ナデ、底部:ナデ・施釉 内面口縁端部数ヶ所煤付着	外)赤 内)赤褐	長、雲	
110	B区 包含層	土師器 壺か甕	20%	-	-	高台径 22.3	-	(8.0)	高台高 1.9	外)体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、底部:高台 との継ぎ目、タテ方向の板ナデ、その他:高台 ヨコ 方向のナデ 内)体部:ヨコ方向の板ナデ、底部:高台内ヨコ方向 のナデ、底部:板ナデ	外)にぶい赤褐 内)にぶい橙	結、雲、赤	
111	D区 N-9 包含層	土師器 播鉢	12%	18.8	20.5	-	-	(10.2)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後 ヨコナデ後スリ目	外)浅黄橙 内)浅黄橙	石、赤	
112	D区 N・O -12・13 包含層	土師器 播鉢	10%	32.0	32.05	-	-	(4.1)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ後ヨ コ方向のナデ 内)口縁部:ヨコナデ・スリ目あり	外)浅黄 内)浅黄橙	雲、石、赤	
113	B区 包含層	土師器 播鉢	80%	-	-	11.4	-	(5.2)	-	外)体部:回転ナデ後指オサエ、底部:回転糸切り 内)体部:回転ナデ後スリ目	外)橙 内)橙	石、赤、結	
114	D区 O-10・11 包含層	土師器 播鉢	-	37.2	39.1	-	-	(6.5)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ・ヨコ方向のナデ後ハケ(8条/cm)、 体部:ナデ・スリ目あり そそぎ口あり?	外)橙 内)橙	石、赤、結、 雲	
115	D区 N-9・ 10 包含層	土師器 羽釜	12%	28.0	31.0	-	鏝径 (30.8)	(3.8)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)にぶい黄橙 内)浅黄橙	雲、長、赤	
116	D区 N-10	土師器 釜	12%	30.4	31.6	-	鏝径 (31.6)	(9.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:タテ方向の板ナデ、底部: ヨコ方向の板ナデ	外)浅黄橙 内)黄橙	長、赤、石	
117	D区 N-9 包含層	土師器 羽釜	10%	26.8	-	-	鏝径 (30.0)	(4.7)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ナデ 外面鑄より下側に煤付着	外)にぶい橙 内)浅黄橙	石、赤、結、 長	
118	B区 包含層	土師器 羽釜	55%	25.4	27.5	-	-	9.5	-	外)口縁:指オサエ後ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、口縁体部:ヨコ方向の板ナデ、 指オサエ後ナデ	外)浅黄橙 内)にぶい黄橙	石、結	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
119	包含層	土師器 鍋	80%	29.6	-	-	-	(4.9)	-	外)口縁部:ナデ、体部:板ナデ後ナデ・ナデ 内)口縁部:ナデ、内面に黒斑あり	外)橙 内)橙	石、雲、結	
120	D区N-11 包含層	土師器 鍋	10%	(32.5)	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ナデ、指オサエ後板ナデ	外)にぶい赤褐 内)にぶい黄橙	長、赤頁、 石	
121	D区O-7 包含層	土師器 鍋	10%	38.2	-	-	-	(4.6)	-	外)口縁部:ナデ、指オサエ 内)口縁部:ヨコナデ	外)黒褐 内)にぶい黄橙	雲、石、赤	
122	D区N-9・ 10 包含層	土師器 鍋	10%	34.5	-	-	-	(6.2)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後板 ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ 外面に煤付着有	外)黒褐 内)褐	石、雲、結	
123	D区N-12 包含層	土師器 鍋	-	35.4	-	-	-	(6.1)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、指オサエ後板ナ デ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)橙	石、雲、結	
124	D区N-10 包含層	土師器 鍋	10%	38.6	-	-	-	(5.1)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ、体部:指オサエ後板ナ デ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)にぶい橙 内)橙	長、赤、石	
125	D区P-10 包含層	土師器 鍋	10%	46.0	-	-	-	(5.1)	-	外)口縁部:ヨコナデ・ヨコ方向の板ナデ、体部:指オ サエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)灰褐 内)にぶい橙	長、石、結	
126	D区O-11 包含層	須恵器 壺	18%	48.2	-	-	43.2	(6.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、頸部:ヨコナデ・指オサエ、体部: 格子目タタキ 内)口縁部:ヨコナデ・指オサエ、体部:板ナデ・指 オサエ、青海波文	外)灰 内)灰	雲、石	
127	D区 包含層	須恵器 甕	-	-	-	-	-	(6.3)	-	外)その他:格子目タタキ 内)その他:青海波文	外)灰黄 内)灰黄	長、赤	
128	E区 包含層	白磁? 碗	5%	15.8	-	-	-	(2.9)	-	外)口縁部:ロクロナデ後施釉 内)口縁部:ロクロナデ後施釉	内)外)うすい黄緑		
129	D区 包含層	青磁 碗	-	18.7	-	-	-	(1.6)	-	外)口縁部:回転ナデ 内)口縁部:回転ナデ 釉有り 外面に蓮弁文(鏝は退化)	内)外)グレイみの 黄緑		
131	C区 SK1003	磁器 碗	10%	21.2	-	8.6	-	6.0	高台高 1.2	外)口縁部:ロクロナデ後施釉 内)口縁部:ロクロナデ後施釉 見込みにハケ目文様、内外面貫入	内)外)グレイみの 黄	黒	
132	C区 SK1003	土師器 焙烙	8%	38.5	-	-	-	(5.4)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ	外)黒褐 内)にぶい橙	結、長、赤	
133	C区 SK1003	土師器 焙烙	-	39.6	-	-	-	(4.0)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向のナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向のナデ	外)黒褐 内)にぶい褐	石、長、結、 赤	
134	C区 SK1004	陶器 皿	95%	7.2	7.2	2.4	-	1.8	-	外)体部:回転ヘラズリ、底部:糸切り 内)体部:ロクロ 内)外面とも施釉あり 底部のみ施釉なし	内)外)ぐらい グレイ ぎみのブラウ ン		
135	C区 SK1004	土師器 焙烙	-	43.4	-	-	-	(2.7)	-	外)口縁部:ヨコナデ・板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)灰黄褐 内)にぶい黄橙	雲、長、赤	
139	C区 SK1007	磁器 碗	60%	12.0	-	4.4	-	5.2	高台高 0.9	外)口縁部:回転ナデ 内)口縁部:回転ナデ	外)白 内)白		
140	C区 SK1007	磁器 碗	ほぼ完 存	12.0	-	高台径 4.6	-	5.4	高台高 0.85	外)口縁部:施釉・回転ナデ、底部:一部無釉 内)口縁部:施釉・回転ナデ、底部:一部無釉 釉をかき出す胎土目有り、量付に砂付着	外)あかるいグレイ 内)白		
141	C区 SK1007	白磁? 碗	10%	12.65	-	6.4	-	6.2	高台高 1.8	外)口縁部:ロクロナデ後施釉 内)口縁部:ロクロナデ後施釉 量付無釉 内面貫入	外)青みの白 内)青みの白	黒色粒	
142	C区 SK1007	磁器 碗	20%	-	-	4.45	-	(3.5)	高台高 0.6	外)体部:ロクロナデ後施釉、底部:回転ヘラ切り 内)体部:ロクロナデ、量付無釉	外)黄みの白 内)にぶい黄橙		
143	C区 SK1007	陶器 播鉢	95%	28.8	28.8	13.4	-	10.7	-	外)口縁部:凹線2条、体部:ロクロ回転ナデ、底部: ナデ 内)口縁部:凹線2条、体部:スリ目(16条/3.0cm)、 底部:スリ目(10条/1.2cm)	外)グレイみのブラウ ン 内)つよい赤みの オレンジ	石、結	
146	C区 SK1008	陶器 皿	50%	-	-	6.5	-	(1.7)	高台高 0.7	外)体部:ロクロナデ後施釉、底部:回転ヘラ切り 後施釉 内)底部:ロクロナデ後施釉 量付無釉 内面貫入あり 貼付高台	外)黄みの白 内)黄みの白		
147	C区 SK1008	白磁? 碗	50%	-	-	厚さ 1.5	-	-	-	外)その他:ナデ後施釉・ナデ後砂付着	外)あかるいグレイ	黒色粒	
154	D区 SK1030	磁器 天目茶 碗	12%	12.4	-	-	-	(4.9)	-	外)口縁部: (体部途中まで)ロクロナデ後釉(以 下)ロクロナデ 内)口縁部:ロクロナデ後施釉 内外面鉄釉	内)外)ぐらい グレイ みのブラウ ン		
155	D区 SK1030	陶器 壺	75%	-	6.7	4.0	-	(6.8)	-	外)頸部:ナデ、底部:ヘラ切り 内)頸部:ナデ	内)外)あさい赤み のブラウ ン	結	
156	B区 ST1003	陶器 碗	70%	-	-	高台径 4.6	-	(4.75)	高台高 5.55	外)体部:ロクロナデ後施釉、底部:高台ケズリ出し 内)体部:ロクロナデ後施釉 内外面の釉、白濁	内)浅黄 内)グレイみの黄緑	雲、石	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
157	A区 SR1001	土師器 杯	90%	13.1	-	8.0	-	3.8	-	外)口縁体部:回転ナデ 底部:回転ヘラ切り後 ナデ 内)口縁体底部:回転ナデ	外)橙 内)黄橙	雲、長 赤	
158	A区 SR1001	弥生 甕	12%	-	-	3.5	-	-	-	外)体底部:ナデ 内)体底部:指オサエ・ナデ?	外)橙 内)こい黄	石、雲、赤	
159	A区 SR1001	須恵器 こね鉢	12%	24.6	-	-	-	(9.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ 内面に煤付着	外)灰白 内)灰黄褐	石、結	
160	A区 SR1001	土師器 鍋	-	39.6	-	-	-	(5.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ・板ナデ? 内)口縁部:板ナデ?	外)浅黄橙 内)橙	石、赤	
161	A区 SR1001	土師器 焙烙	-	40.2	-	-	-	(3.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ 内)ヨコ方向の板ナデ	外)明黄褐 内)こい黄	長、石、結、 赤	
162	A区 SR1001	土師器 焙烙	-	48.8	-	-	-	(4.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、指オサエ後ヨコナデ、体部: ハケ目・指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ナデ	外)黒褐 内)こい黄橙	長、石、赤	
163	A区 SR1001	土師器 焙烙	-	49.0	-	-	-	(4.7)	-	外)口縁部:ナデ 体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ 体部:指オサエ後板ナデ	外)黒褐 内)明褐	長、石、赤、 頁	
168	C区 包含層	土師器 焙烙	-	38.9	-	-	-	(5.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ・指 オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ 外面全体煤付着	外)黒褐 内)橙	長、石、雲、 赤	
169	B区 包含層	土師器 焙烙	12%	47.6	-	-	-	(6.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ・ タテ方向ナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)黒褐 内)こい黄	長、雲、結	
170	D区 N-9 包含層	土師器 焙烙	20%	61.2	-	-	-	(9.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向 の板ナデ	外)黒褐 内)明赤褐	石、赤、結、 長	
171	包含層	陶器 小皿	75%	6.7	-	3.6	-	1.1	-	外)口縁部:ロクロ回転ナデ、底部:回転ヘラ 切り 内)口縁体底部:ロクロ回転ナデ 内面施釉	外)くらいグレイミ のブラウン 内)グレイミのブラ ウン	赤、砂	
172	D区 Q-11 包含層	陶器 皿	10%	9.5	-	-	-	(2.1)	-	外)口縁部:ロクロ・施釉 内)口縁部:ロクロ・施釉 外面一部無釉	内・外)うすい黄緑 赤	赤	
173	B区 包含層	陶器 天目茶 碗	90%	-	-	高台径 (5.4)	-	(2.8)	高台高 0.9	外)体部:一部施釉、回転ヘラケズリ・ナデ、底部: ケズリ出し高台 内)体底部:ロクロ・施釉	(素地)淡黄色 (釉)こい黄み のブラウン	砂、石	
174	B区 包含層	陶器 碗	90%	-	-	高台径 4.1	-	(1.8)	高台高 0.5	外)体底部:回転ヘラケズリ 内)体底部:ロクロ 見込み環状無釉 内外面一部施釉	(素地)灰白 (釉地色)緑みの白		
175	包含層	陶器 天目茶碗	-	-	-	4.0	-	(1.7)	高台高 0.65	外)体部:ロクロ、底部:高台ケズリ出し 内)体底部:ロクロ、施釉	外)黄 内)黄みの橙		
176	B区 包含層	陶器 碗	40%	-	-	高台径 (4.6)	-	(2.4)	高台高 0.75	外)体部:(上)ロクロナデ・施釉、(下)ロクロナデ、 底部:高台内ケズリ出し 内)体底部:ロクロナデ・施釉(一部)	(素地)浅黄橙 (釉)グレイミの 黄緑	雲、石	
177	E区 包含層	陶器 皿	80%	10.8	-	高台径 4.6	-	2.4	高台高 0.3	外)口縁部:回転ナデ、底部:ケズリ出し、口縁釉 有り体部釉無し 内)口縁体底部:回転ナデ、釉有り、内底面に3ヶ所 の置砂残存	内・外)グレイミの 黄	雲、頁	
178	B区 包含層	染付磁 器碗	40%	-	-	高台径 (4.9)	-	(3.7)	高台高 1.1	外)体部:ロクロ・施釉、底部:ケズリ出し高台 内)体底部:ロクロ・施釉 底部内面(見込み)に置砂痕、畳付無釉、置砂 付着	緑みの白 灰白		
179	包含層	陶器 鉢	-	10.4	-	4.1	-	3.1	高台高 0.7	外)口縁部:ロクロ・施釉 内)口縁体底部:ロクロ 体部 施釉部分と無釉部分あり	外)緑みの青 内)緑みの青		
180	包含層	陶器 播鉢	12%	24.0	-	-	-	(3.5)	-	外)口縁部:ヨコナデ、凹線3条 内)口縁部:ヨコナデ	内・外)グレイミの ブラウン	石、結、赤	
181	B区 包含層	陶器 甕	90%	34.6	40.5	20.1	-	43.6	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:貼付突帯・沈線文? タキ・ナデ 底部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後タキ、 底部:ナデ	内・外)くらいグレイ ミのブラウン		
182	A区 F-2 包含層	白磁 碗	10%	17.2	-	-	-	(1.6)	-	外)口縁部:ロクロナデ 内)口縁部:ロクロナデ	外)うすい黄緑		
183	D区 O・P-9 付近 包含層	磁器 碗	8%	14.8	-	-	-	(1.7)	-	外)口縁部:施釉 内)口縁部:施釉	内・外)うすい黄緑		
184	D区 M・N -9 包含層	磁器 鉢	13%	18.5	-	-	-	(4.5)	-	外)口縁部:ロクロ・施釉、下半分無釉・ヘラミガキ? 内)口縁部:ロクロ・施釉	内・外)グレイミの 黄		

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
185	E区 包含層	磁器 天目茶 碗	25%	11.0	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部:(体部下部まで)ロクロナデ後施釉(下部 より)ロクロナデ 内)口縁体部:ロクロナデ後施釉	(素地)うすい黄 (釉)黒		
186	B区 包含層	陶器 碗	75%	-	-	高台径 5.7	-	(1.85)	高台高 0.75	外)体部:ロクロナデ後施釉(一部) 内)体底部:ロクロナデ後一部施釉 底部:高台内ケズリ出し	(素地)灰白 (釉薬)にぶい緑	石、結	
187	D区 N-9・10 包含層	磁器 碗	30%	-	-	高台径 4.2	-	(1.8)	高台高 0.5	外)体部:回転ナデ、その他:疊付に砂付着 内)体部:回転ナデ、底部:回転ナデ、釉をかき出す 胎土目有、その他:高台内釉なし 見込み 1.6cm幅の円形で無釉部分あり	内・外)あかるいグ レイ		
188	D区 N-11 包含層	磁器 碗	10%	12.6	-	-	-	(3.4)	-	外)口縁体部:ナデ・文様有 内)口縁体部:回転ナデ 釉、内外面とも貫入	内・外)うすい黄緑		
189	A区 C-4・5 包含層	磁器 碗	70%	-	-	高台径 4.8	-	(1.5)	高台高 (0.5)	外)体部:板ナデ、底部:ケズリ 内)体底部:施釉(一部釉無し) その他:ケズリ出し高 台 疊付に胎土目の跡	外)底部ケズリ出し 部分:にぶい黄み のオレンジ 内)底部施釉無し 部分:グレイみの オーリーブ	雲	

第10表 お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 木製品

番号	遺構名・出土地点	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
148	C区 SK1008	付け木?	9.7	2.4	2.0	-	特に目立った加工痕はない(多少磨滅の影響あり) 図中上側の炭化範囲も不明瞭
164	A区 SR1001 5-D	?	5.2	3.05	2.6	-	溝状の加工裏面にもあり
165	A区 SR1001 3-C	付け木	9.6	2.7	1.5	-	特に目立った加工はない樹皮を剥いたそのまま
166	A区 SR1001 4-C	付け木	11.6	1.3	0.7	-	3面ともに削り痕がある
167	A区 SR1001 3-C	付け木	12.2	1.8	0.8	-	3面とも削って形を作っている

第11表 お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 石器

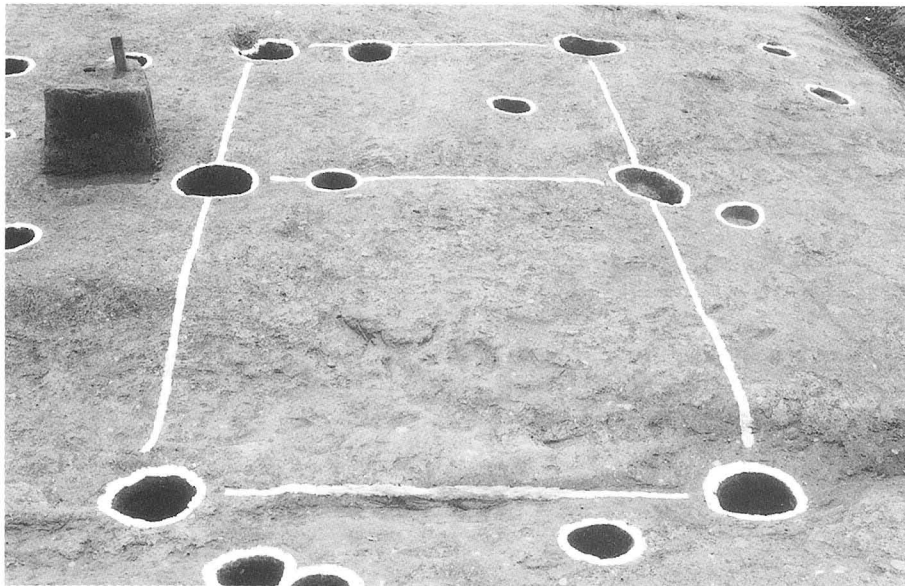
番号	遺構名・出土地点	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
59	E区 ST1001	石製品 皿	口径 34.0		器高 (3.7)	-	外)口縁部:ノミヤタガネ等々で粗く削られた仕上がりである 内)口縁部:とても滑らかに仕上げられている 砂岩製品と思われる
136	C区 SK1004	砂岩 石臼	17.2	27.4	8.8	5.3kg	
144	C区 SK1007	凝灰石 すずり	15.5	6.25	2.05	250.0	池の部分は図中右側の使用度が高く磨滅が著しい。丘は製品完成度タガネ状のもので右→左に打痕がありその後もすり面として(砥石の可能性も含めて)使用されている。また、左右側面には砥石として使用した切り込みが顕著である
145	C区 SK1007	砂岩 砥石	12.0	18.5	4.9	950.0	
149	C区 SK1008	石臼	34.6	34.5	11.5	15.65kg	上臼側面に挽き手を挿入するソケット状の穴が掘り込まれている。(L字の挽き木を打ち込むもの)横打ち込み式
150	C区 SK1008	石臼	35.0	34.0	9.2	13.2kg	
190	C区 包含層	石製品 皿	口径 32.0		器高 (5.1)	-	外)口縁部:ノミヤタガネを使い粗く削っている 内)口縁部:滑らかに仕上げられている 砂岩製品と思われる
191	C区 J-12 包含層	結晶片岩 敲石	10.5	3.35	3.3	181.0	

第12表 お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品

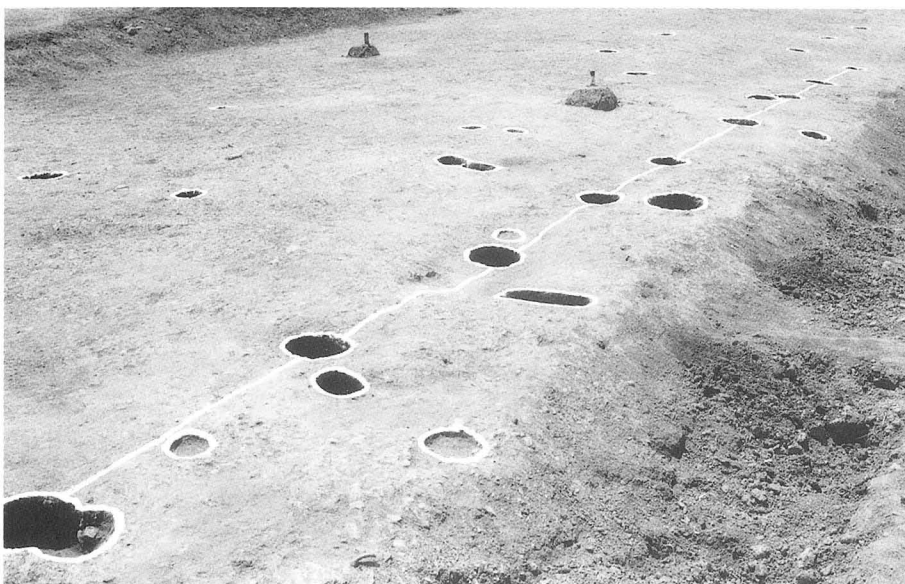
番号	遺構名・出土地点	器種	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
10	D区 SK1014	釘	鉄	3.85	1.5	1.2	7.2	
60	E区 ST1001	銭	銅	2.4	1.5	-	2.3	1号塚
73	B区 SP1041	釘	鉄	3.35	0.9	0.7	3.4	
83	D区 SP1484	?	鉄	3.7	1.9	1.2	10.0	
130	E区 包含層	銭	銅	2.3	0.1	-	2.5	
137	C区 SK1004	鋤先	鉄	11.6	5.7	1.7	139.9	
138	C区 SK1004	鏃	鉄	10.2	6.2	3.2	112.3	
151	C区 SK1008	釘	鉄	7.15	2.45	1.7	15.6	
152	C区 SK1008	釘	鉄	6.9	1.5	1.3	11.9	
153	C区 SK1008	かんざし	青銅	15.3	1.4	0.2	6.0	
192	D区 包含層	釘	鉄	6.8	2.0	1.0	13.7	
193	D区 包含層	釘	鉄	5.05	1.5	0.7	4.44	
194	D区 包含層	釘	鉄	4.3	0.55	0.6	2.71	
195	D区 N-O、12~13 包含層	釘	鉄	5.3	0.7	0.7	4.3	
196	D-1 F-G-2 包含層	鋏	鉄	8.3	11.6	-	118.58	



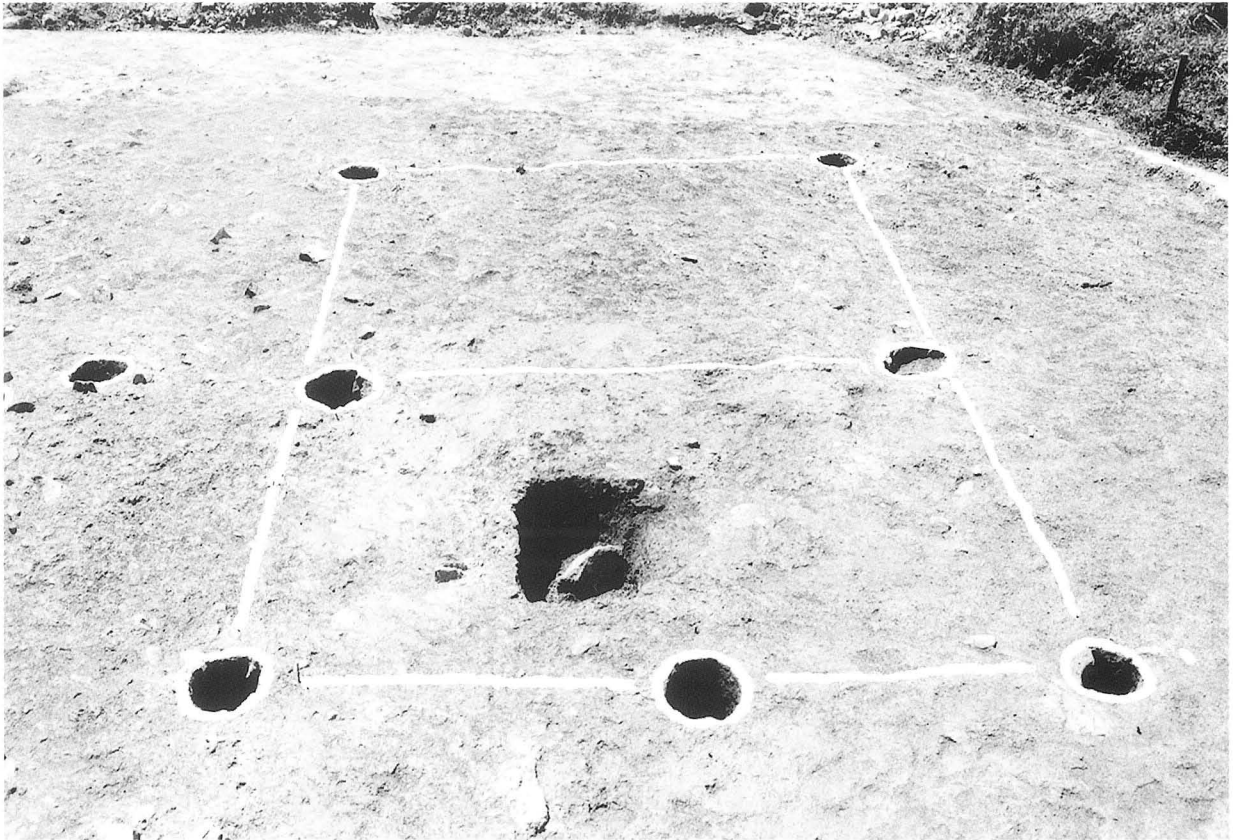
調査前風景（北から）



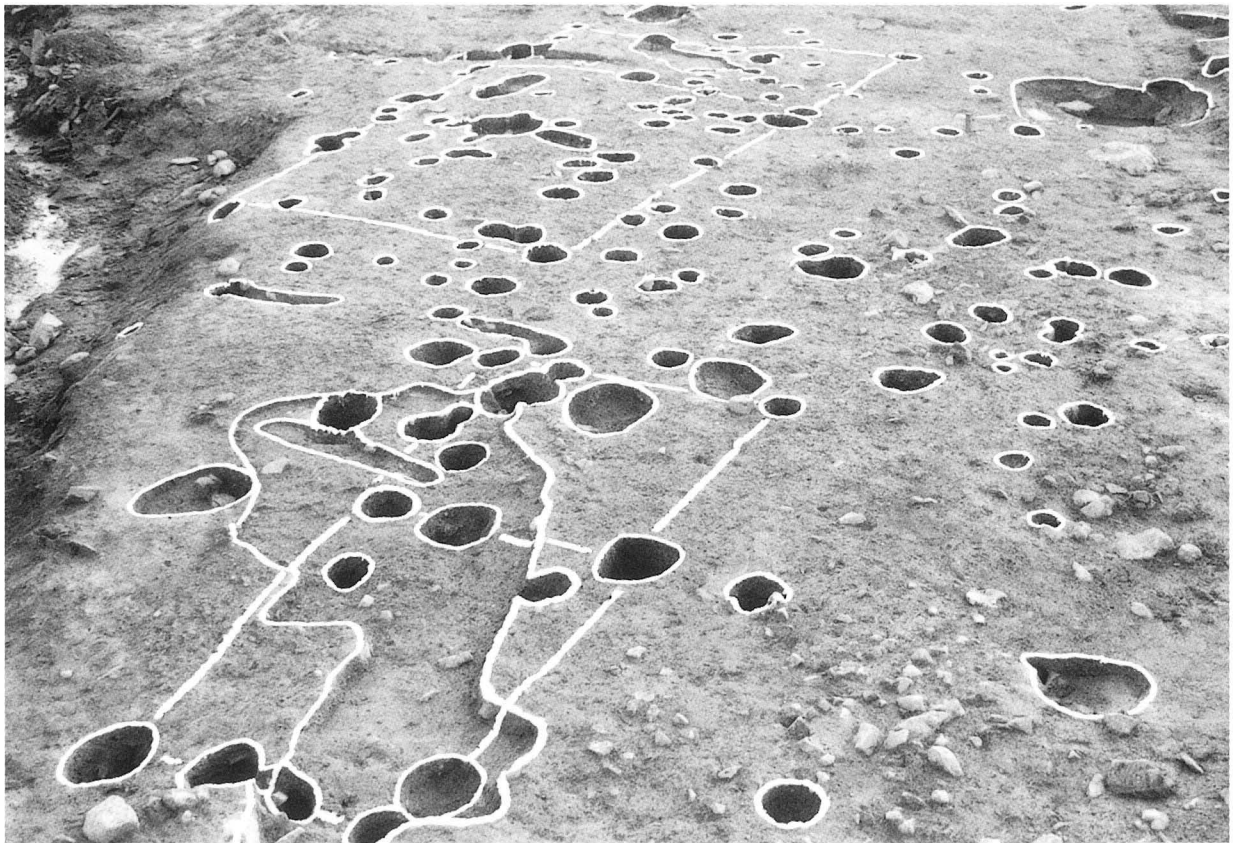
B区SA1001完掘状況
（北西から）



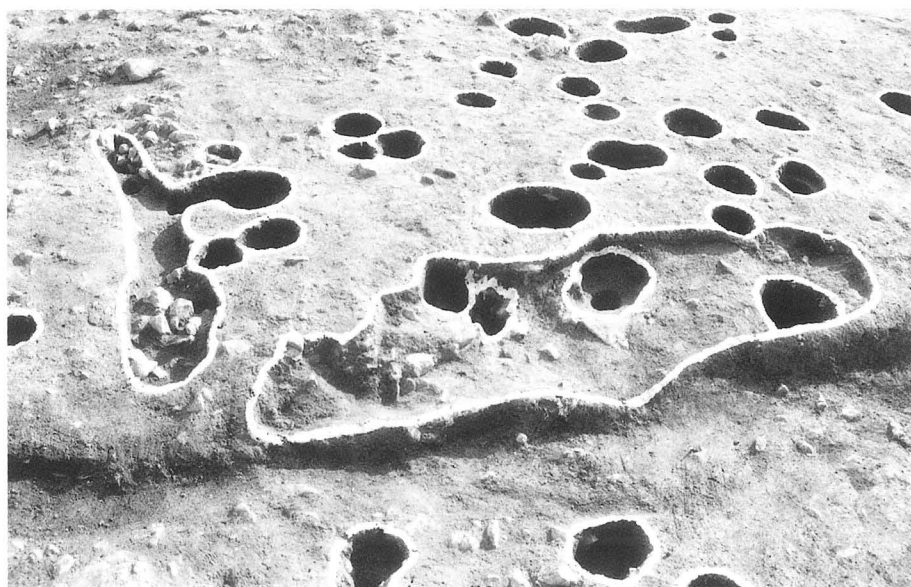
B区SG1001完掘状況
（北東から）



C区SA1002完掘状況（南西から）



D区SA1003完掘状況



C区SD1002 (左) ·
SK1011 (右) 完掘状况



D区SK1021完掘状况



D区SX1002完掘状况

図版 4



C区SK1003遺物出土状況



C区SK1004 (鉄) 出土状況



C区SK1004・1005ベルト除去



C区SK1007 (播鉢) 出土状況



C区SK1008ベルト除去



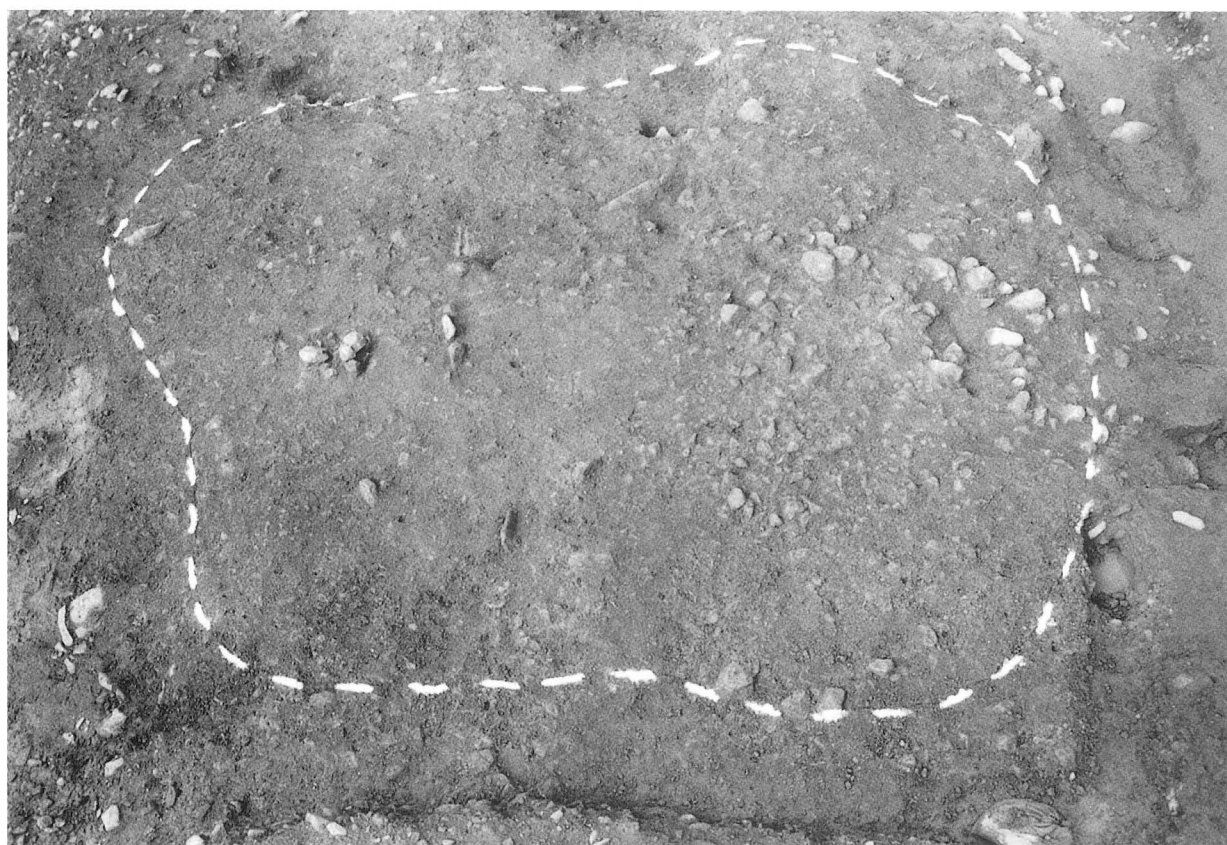
D区SK1021 (甕) 出土状況



D区SK1021集積検出状況



D区SK1021遺物出土状況



E区ST1001完掘状况



E区ST1002完掘状况



E区ST1001検出状況（北から）



E区ST1001検出状況



F区ST1002検出状況



F区ST1002検出状況（南から）

图版 8



D区SK1030完掘状况



A区SR1001 (木) 出土状况



F区ST1002 (骨) 出土状况



A区SR1001土层断面



D区SX1002遗物出土状况



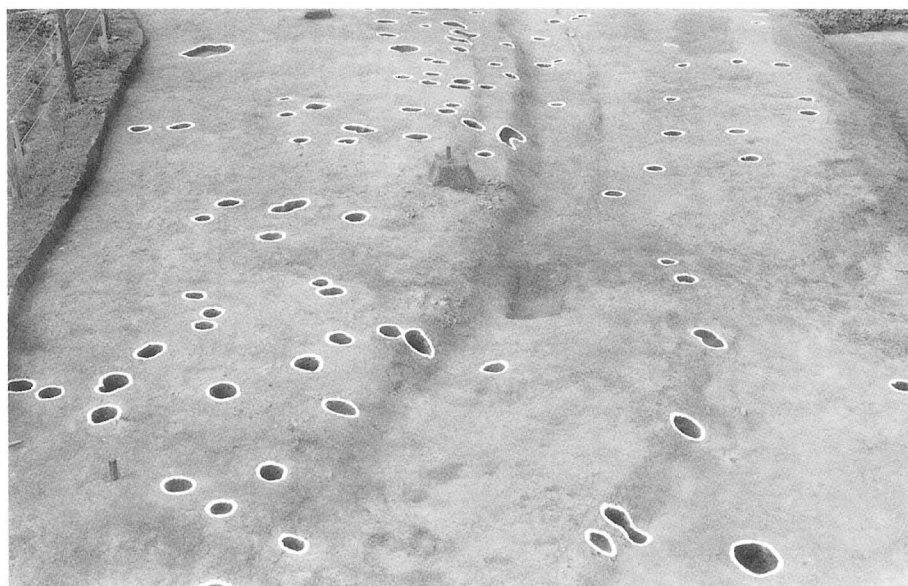
D区SU1006遗物出土状况



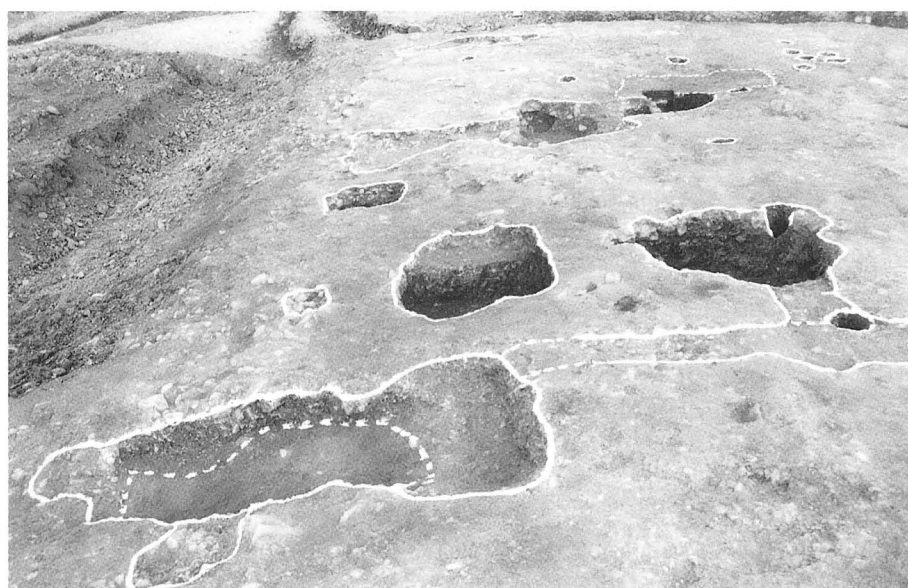
D区SP1325遗物出土状况



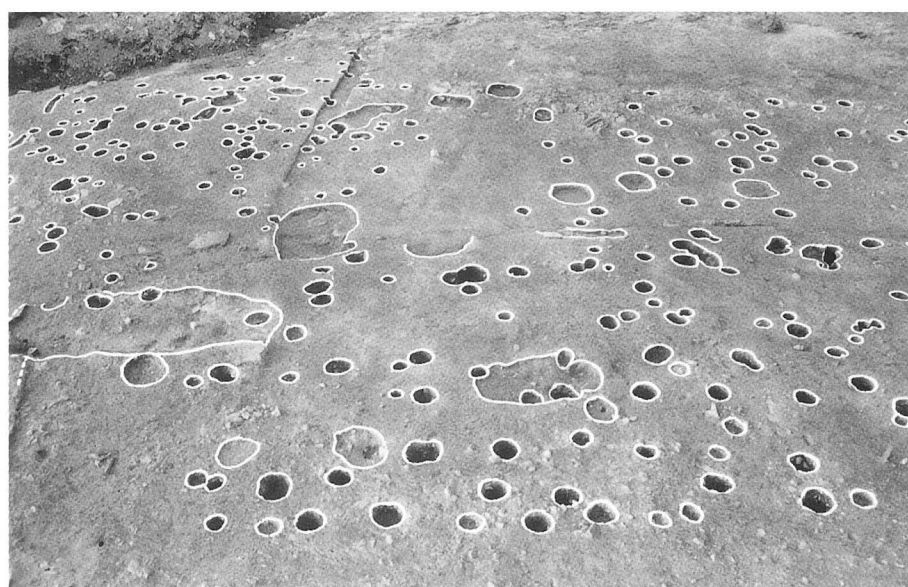
D区SP1329遗物出土状况



B区南半分完掘
(東から)

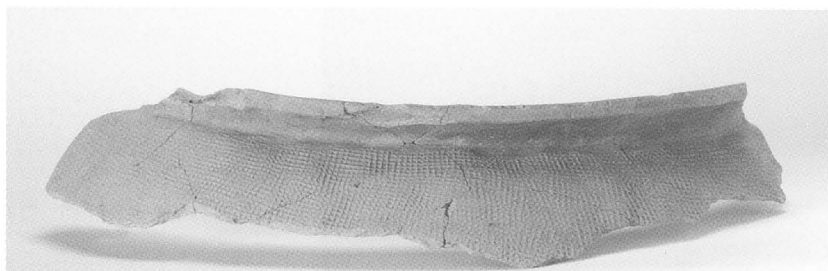


C区完掘 (西から)



D区完掘 (南から)

图版10



SK1012



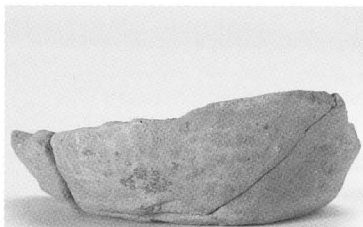
1 SK1015

11



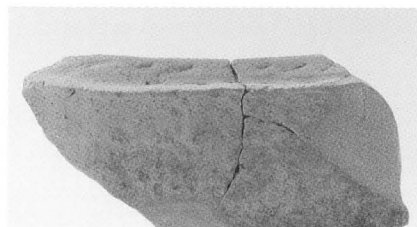
SK1021

12



SK1021

13



SK1021

14



SK1021

15



SK1021

16



SK1022

17



SU1008

20



ST1001

26



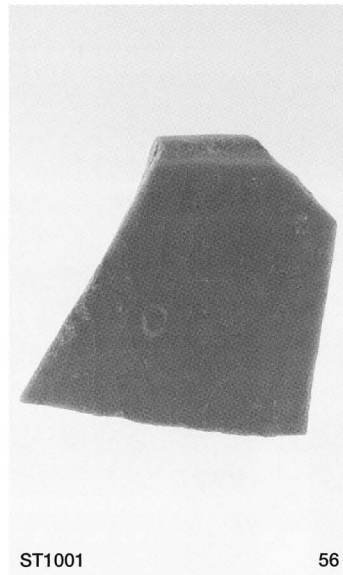
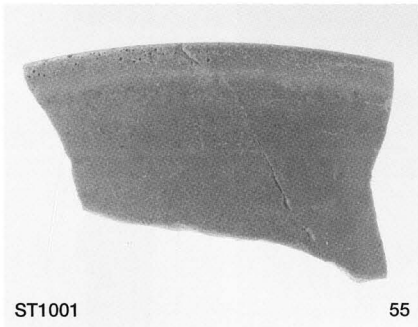
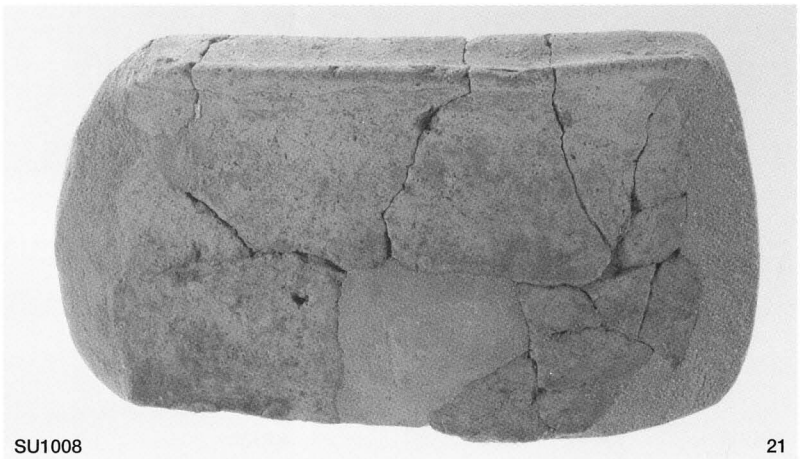
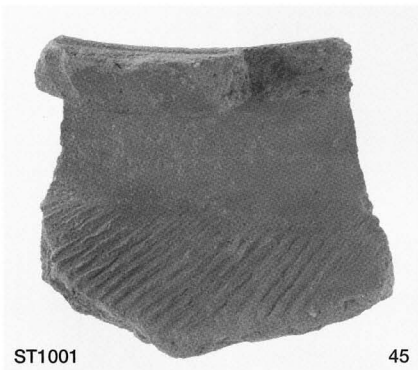
ST1001

27

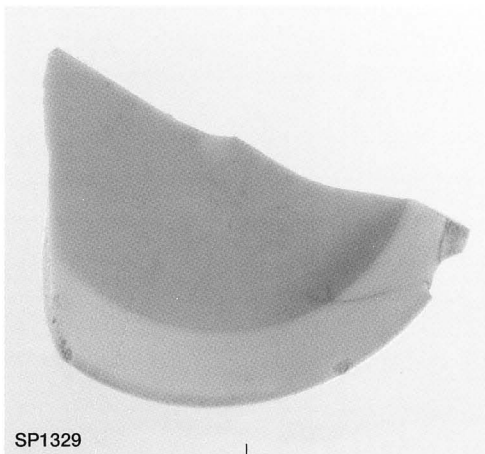


ST1001

25



图版12

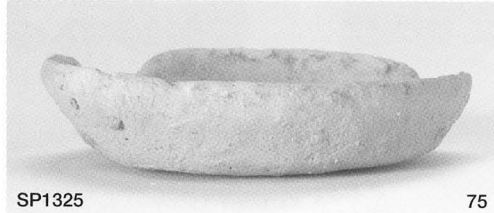


SP1329



SX1002

71



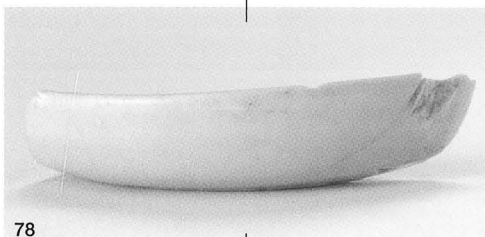
SP1325

75

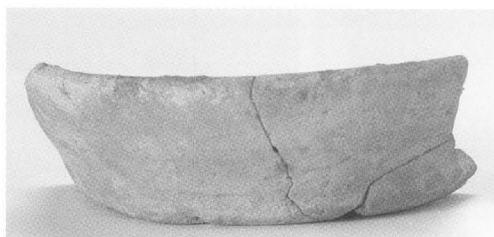


SX1002

72



78



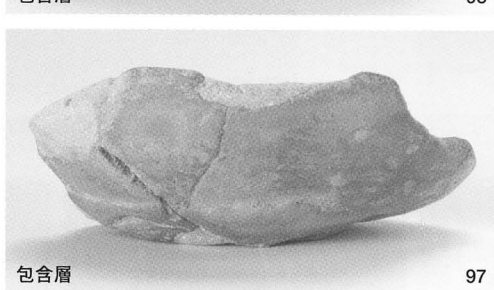
包含層

95



SP1041

73



包含層

97



包含層

99



包含層

101



包含層

100



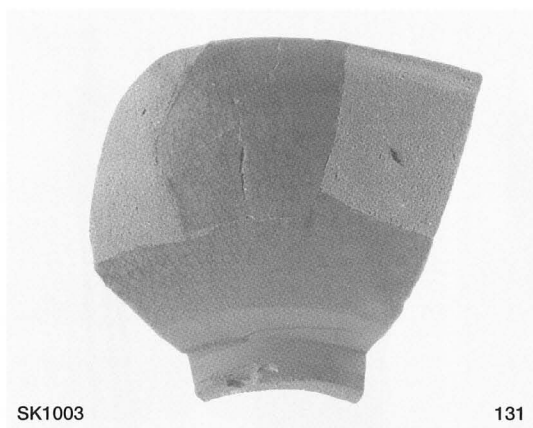
包含層

104



包含層

109



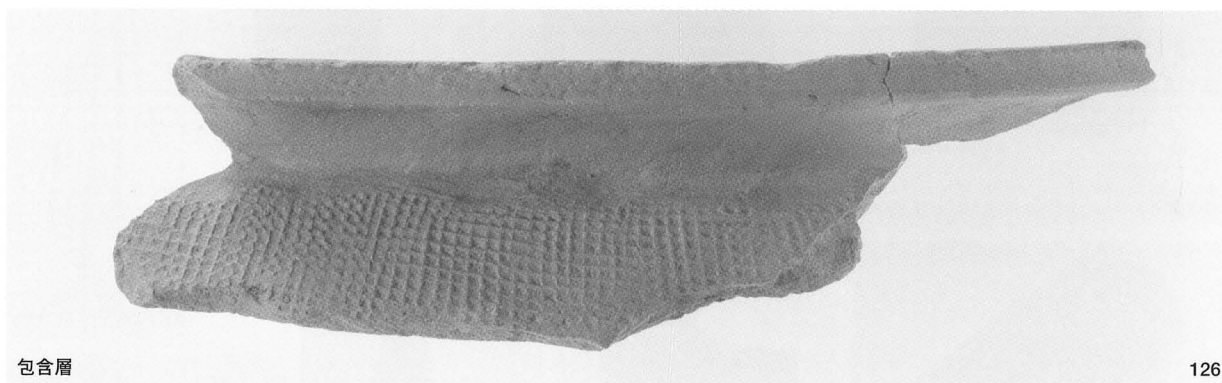
SK1003

131



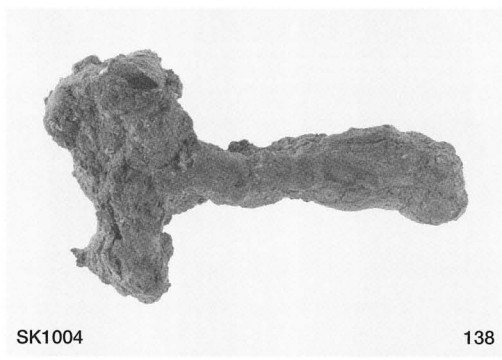
包含層

118



包含層

126



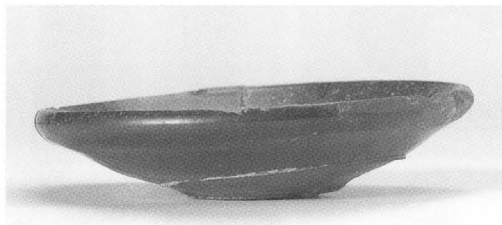
SK1004

138



SK1007

143



SK1004

134



SR1001

157



SK1030

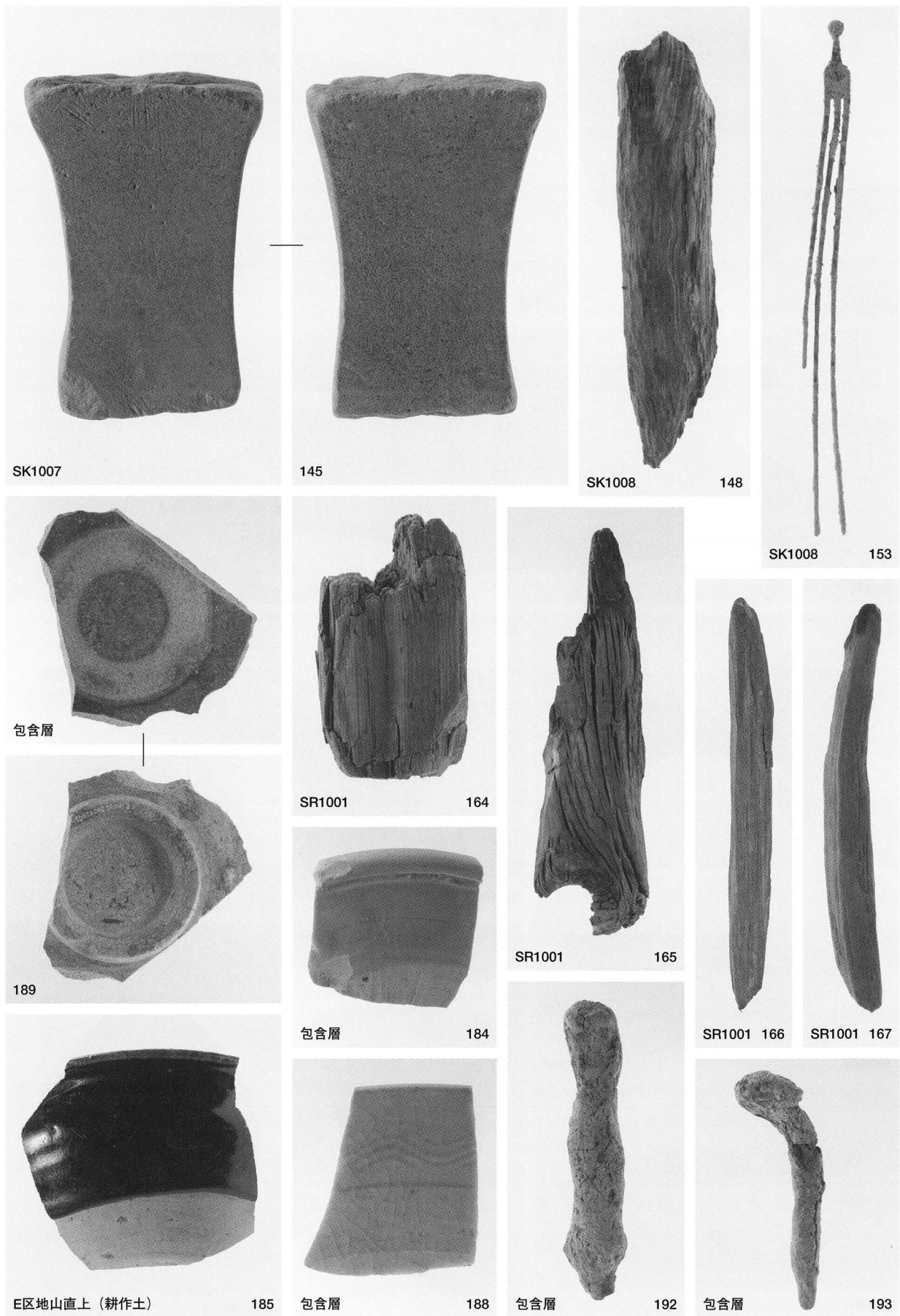
154



SK1030

155

图版14



VI 供養地遺跡

1. 本章は三好郡池田町字クヤウジ4151ほかに所在する供養地遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査期間および報告書作成の期間は、第Ⅰ章の本文および第2・3表にまとめてあるので、参照されたい。
3. 本章の遺物番号は通し番号とし、本文・挿図・表・図版と一致する。なお、縮尺は3分の1を原則としているが、一部4分の1のものがある。
4. 本遺跡の地理的・歴史的環境については、『四国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査報告18 大柿遺跡Ⅰ』徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第37集の第Ⅱ章を参照されたい。

1 調査の経過

(1) 調査の経過

供養地遺跡は、吉野川南岸の河岸段丘上に立地し、標高118～130m前後を測る。事前の分布調査の結果や対象地付近に西法寺跡が所在した可能性があることから、試掘調査は対象地を一部変更して行うことが考慮された。

推定された遺跡の範囲のうち、3,728m²が調査対象面積とされた。その範囲を平成6年12月5日から試掘調査を開始し、平成7年1月18日に終了した。試掘調査は重機によるトレンチ掘削を行い、111m²において実施した。その結果、名子谷よりも西側においては石組み遺構や土坑が確認された。よって、本調査を実施する必要性が生じたため調査面積を1,700m²と確定した。本調査は平成7年7月13日に開始し、平成8年3月31日に終了した。



第1図 調査地位置図

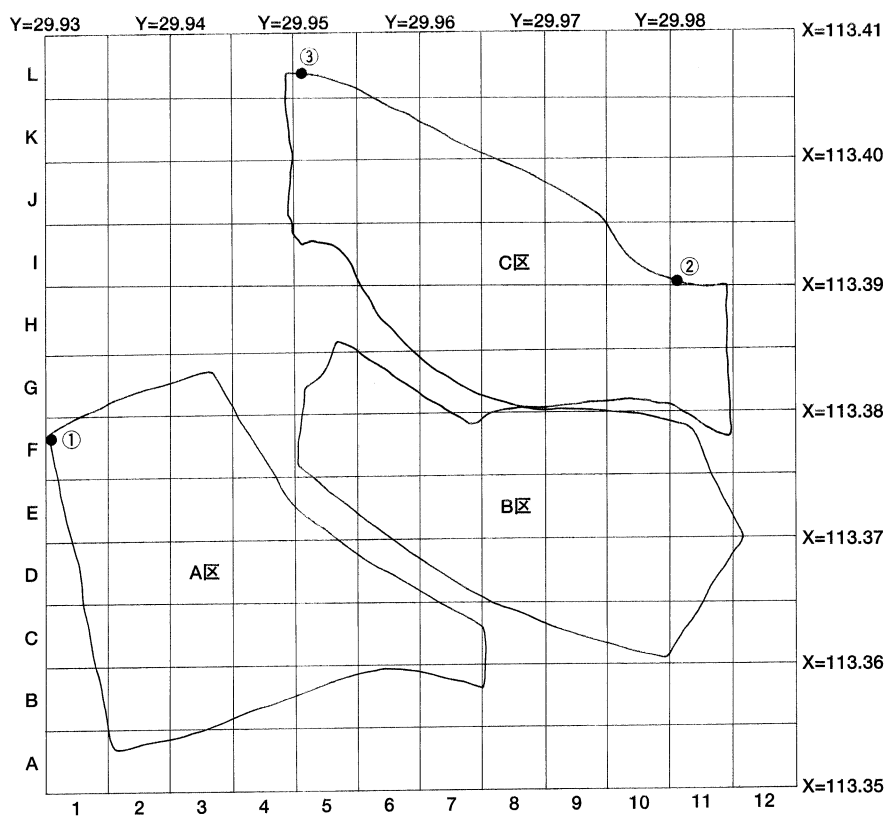
(2) 発掘調査の方法 (第2図)

発掘調査を始めるにあたりグリッドの配置は発掘調査統一基準にならい、第IV系国土座標を基準として、5mメッシュを1グリッドとして調査対象地を包み込むかたちで設定した。南西隅のX = 113.350、Y = 29.930の座標値を起点として北にA、B、C・・・K、L、東に1、2、3・・・11、12の順に番号を振り、その組み合わせで各グリッドを表すことにした。

なお、遺構記号・番号は検出時に決定し、掘削後確実性に乏しいと判断されるものについては欠番とした。また、整理作業の段階において、遺構の性格などを考慮した上で改めて遺構記号・番号の変更を行っている。

(3) 調査日誌抄

1995 (平成7) 年	1月11日	C・D区作図終了	
7月13日	発掘調査準備 (打ち合わせ・準備等)	1月16日	C区遺構配置図作成
10月19日	空撮A・B・C区	1月20日	D区ST1001基底部列石作図
10月25日	C区遺構検出	1月25日	C区ST1001礎除去後作図
10月30日	C区石列断面図作成	1月31日	B区ST1001完掘、空撮
12月19日	空撮A・B・C区	2月1～8日	B区SU1003見通し図作成



第2図 グリッド位置図

2月16日	A区ST1001検出	3月12日	B区SU1002主体部掘削
2月27日	A区ST1001完掘 A・B・C区空撮	3月23日	A・B・C区空撮
3月6日	B区SU1002基底部検出	3月24日	B区完掘
3月9日	B区SU1002主体部検出	3月29日	とりまとめ、撤収準備

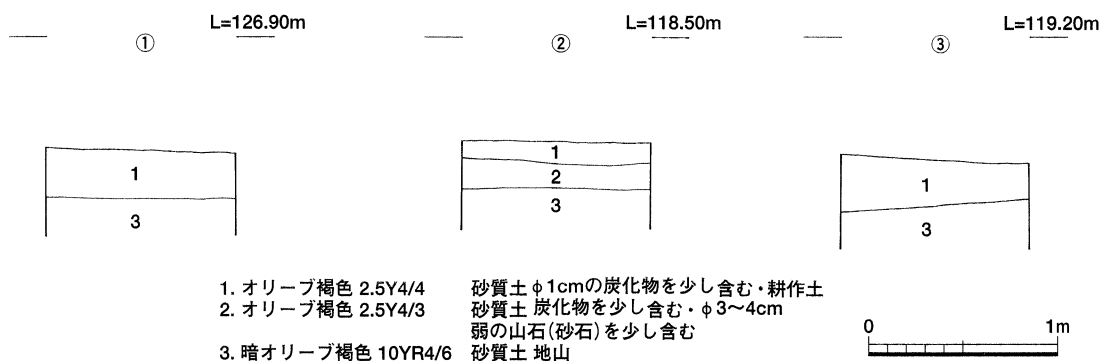
2 調査成果

(1) 基本層序 (第3図)

供養地遺跡は標高120m前後を測る吉野川南岸の河岸段丘上に立地している。調査区の標高は現地表面で最高部130m、最低部115mを測る。調査着手前の現況は、調査地一帯が田地として利用されており、その造成のための削平が著しかった。そのため、削平深度は遺構面までおよんでおり、標高が高い南側の調査区程ほとんどの地点で遺物包含層を検出することはできなかった。一方標高が低くなる北側の調査区では比較的包含層が残存していた。したがって、南側の調査区ほど耕作土直下に遺構面（地山）を検出することになる。

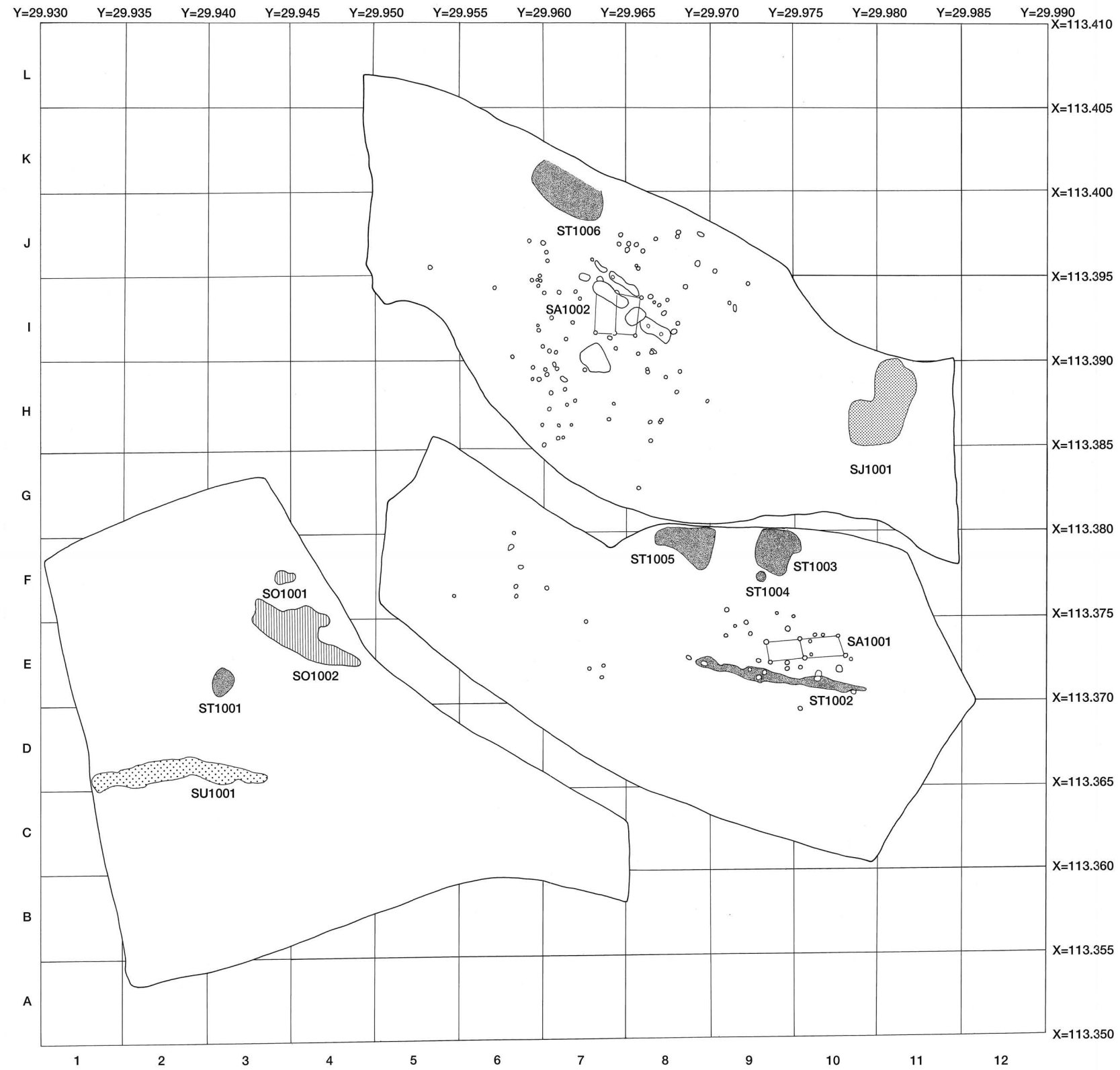
土層の堆積状況については、調査の債に調査区の四壁を観察して土層堆積図を作成している。ここではこの土層堆積図を元にして柱状図を作成し、土層の堆積状況について概略を述べることにする。

第1層は耕作土である。この耕作土は調査地全域に広がりを見せる。第2層はオリーブ褐色を呈する砂質土が堆積するが、部分的にしか残存していない。遺物包含層である。第3層は地山層である。色調は暗オリーブ褐色を呈し、土質は4cm前後の岩盤礫を含む砂質土である。調査地点の南側を中心とした多くが、耕作土直下にこの地山層を確認している。よってこの第3層上面が遺構検出面となる。

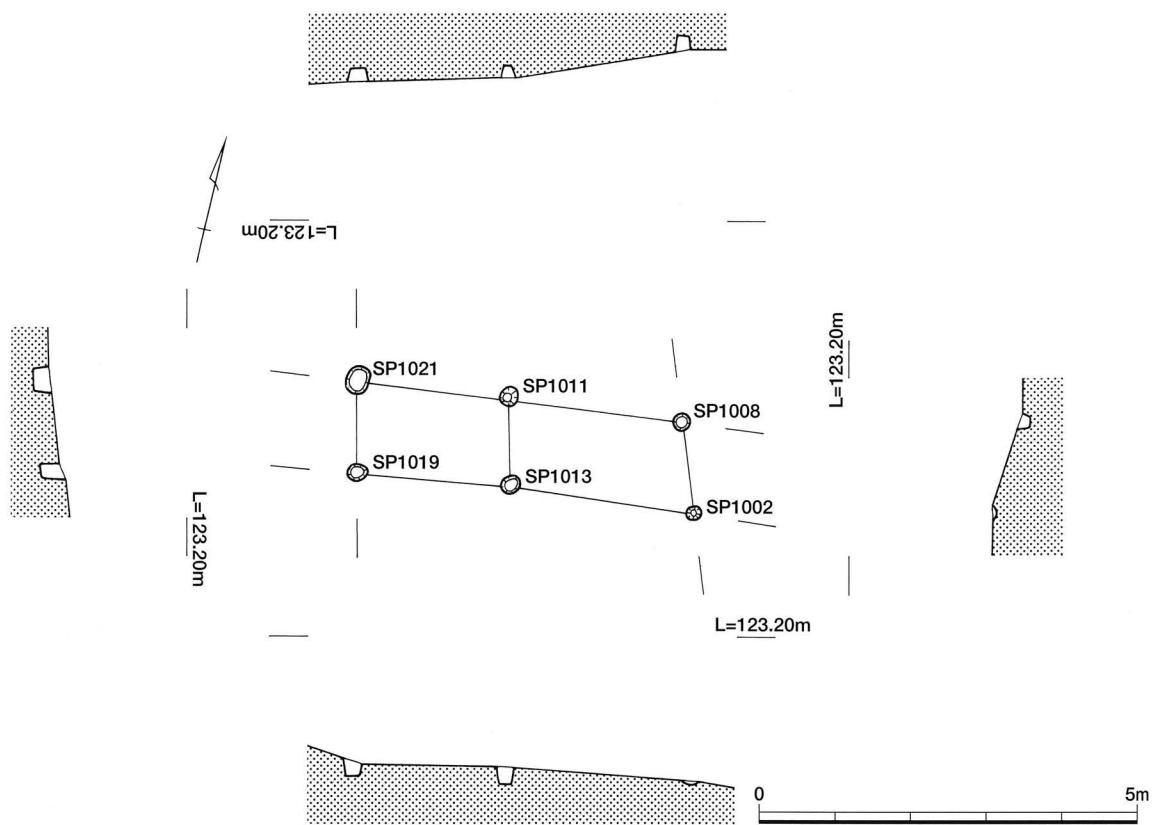


第3図 基本土層柱状図

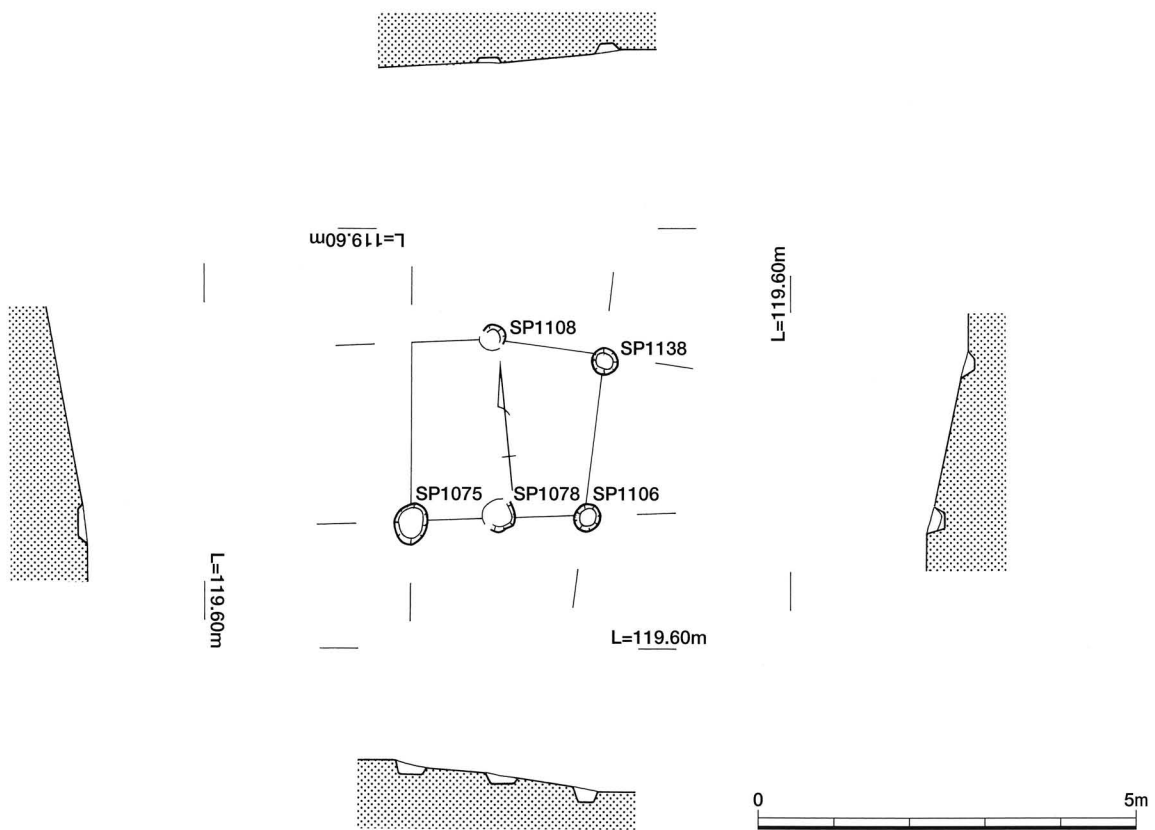




第4図 供養地遺跡遺構配置図



第5图 B区SA1001平·断面图



第6图 C区SA1002平·断面图

(2) 遺構と遺物

掘立柱建物跡 (SA)

1号掘立柱建物跡 (SA1001) (第5図)

B区の中央東寄りに位置する。検出グリッドはE-9・10グリッドである。南西から北東に向けての緩やかな下り傾斜地に立地する。建物の平面形状は、わずかに歪んだ長方形を遺構の規模は桁行2間(437cm)×梁間1間(125cm)を測る側柱式である。主軸はN-85°-Eを向く。柱間寸法は桁行側で218.5cm、梁間で125cmを測り、床面積は5.46m²を測る。各柱穴の平面形状は円形を呈しており、遺構断面形状はいずれも逆台形を呈する。遺構断面の観察では柱痕跡が確認できたものはなかった。

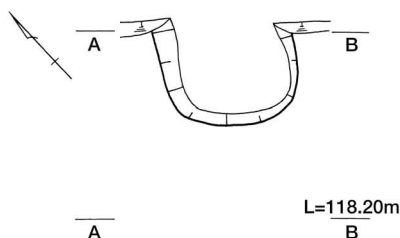
出土遺物は図化できるものはなかった。

2号掘立柱建物跡 (SA1002) (第6図)

C区の中央やや北寄りに位置する。検出グリッドはI-7・8グリッドである。南西から北東に向けての緩やかな下り傾斜地に立地する。建物の平面形状は、北東側の柱穴がやや南に寄っているためにわずかに歪んだ長方形を呈する。遺構の規模は桁行2間(245cm)×梁間1間(225cm)を測る側柱式である。主軸はN-82°-Wを向く。柱間寸法は桁行側で122.5cm、梁間で225cmを測り、床面積は5.51m²

を測る。各柱穴の平面形状は円形を呈しており、遺構断面形状はいずれも逆台形を呈する。遺構断面の観察では柱痕跡が確認できたものはなかった。

出土遺物は図化できるものはなかった。



土坑 (SK)

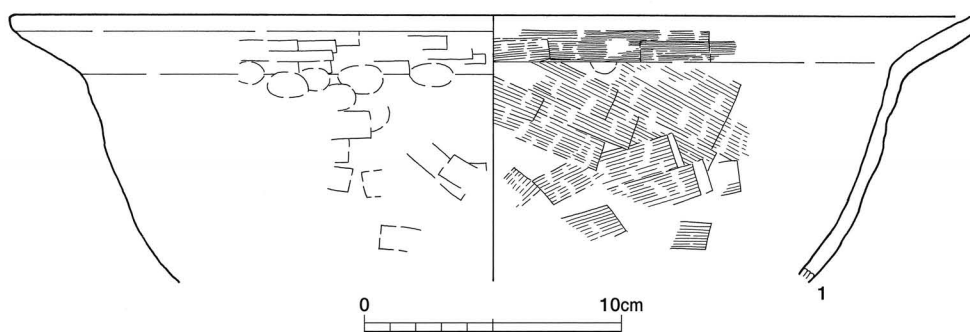
5号土坑 (SK1005) (第7・8図)

1. 灰黄褐色 10YR4/2 シルト質土 炭化物を極少量含む

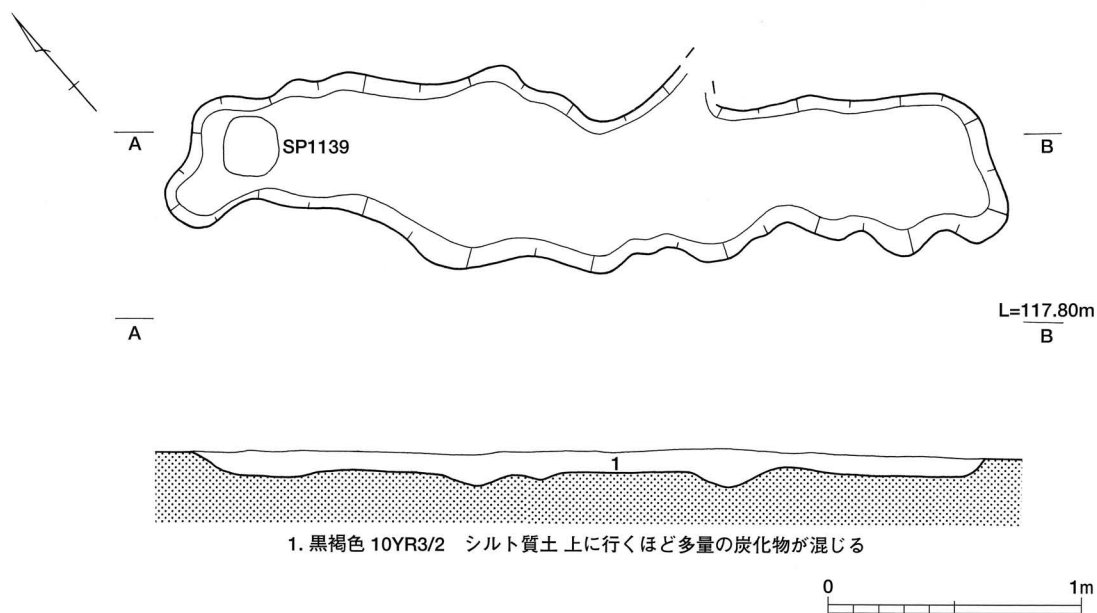


第7図 C区SK1005平・断面図

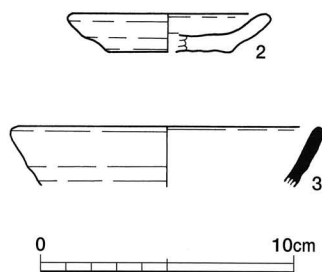
C区の中央に位置する。検出グリッドはI・J-7グリッドである。遺構の北東側は調査区外へと延びるため、遺構の全容は不明である。残存している部分での遺構平面形状



第8図 C区SK1005出土土器



第9図 C区SK1007平・断面図



第10図 C区SK1007出土土器

は方形を呈し、遺構断面形状は浅い船底形を呈する。遺構規模は幅0.56m、深さ0.09mを測り、遺構埋土は灰黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。この埋土中には炭化物がかすかに含まれていた。

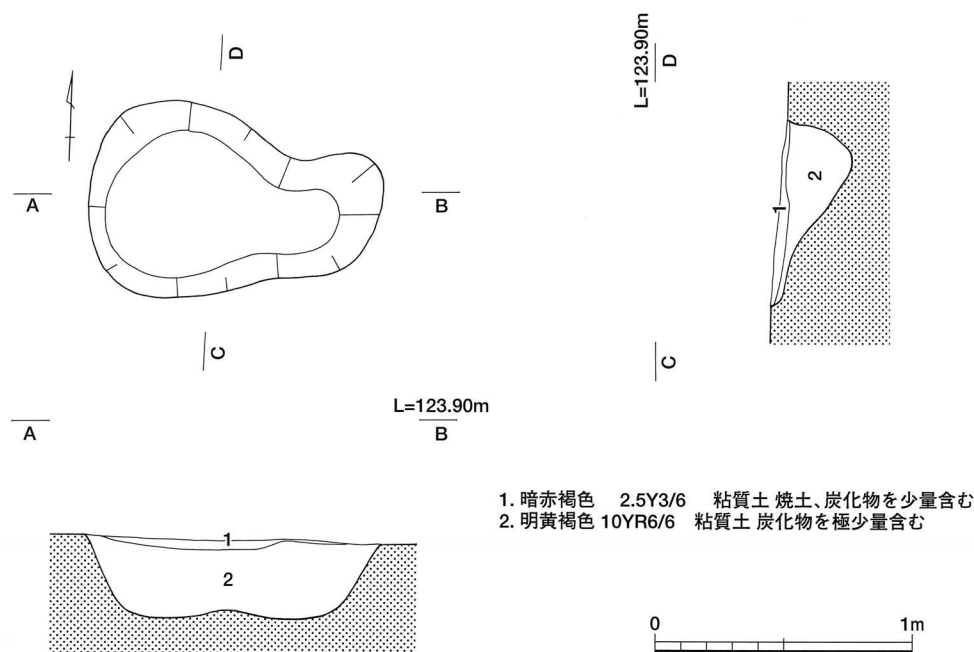
1は土師器の鍋である。

遺構の時期は、出土遺物からみて15世紀末～16世紀初頭にかけてであろうと考えられる。

7号土坑（SK1007）（第9・10図）

C区の中央やや北寄りに位置する。検出グリッドはI・J-7・8グリッドである。遺構の北西側でSP1139を切る。遺構平面形状は不整形な溝状を呈し、遺構断面形状は遺構の底に若干の起伏があるものの浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸3.35m、短軸0.48m、深さ0.17mを測り、遺構埋土は黒褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。この埋土の上層ほど多くの炭化物を含んでいた。

2は土師器の小皿である。3は須恵器の杯である。



第11図 A区SO1001平・断面図

窯跡 (SO)

1号窯跡 (SO1001) (第11図)

A区の中央やや北西寄りに位置する。検出グリッドはE・F-3・4グリッドである。遺構平面形状はいびつな楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.18m、短軸0.78m、深さ0.32mを測り、遺構埋土は2層に分層することができ、第1層が暗赤褐色を呈し、第2層が明黄褐色を呈する。いずれも粘質土が堆積する。第1層は焼土ブロックや炭化物をわずかに含み全体が焼けていることなどから、この上面で火の使用があったものと考えられる。しかし、窯としての構造はわかるほど遺構規模は大きくなく、また壁体などの遺物も出土していないために詳細を明らかにすることができなかつたが、隣接するSO1002との関連および出土遺物から近世の瓦焼成窯と思われる。

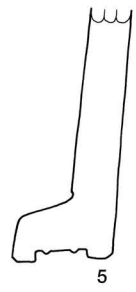
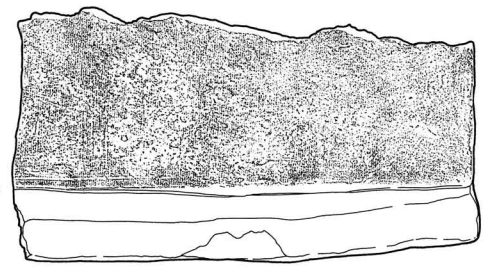
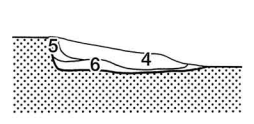
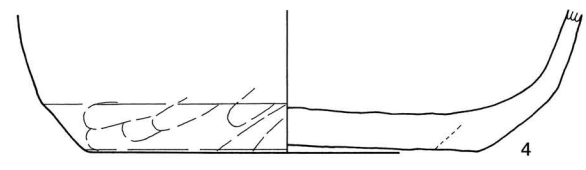
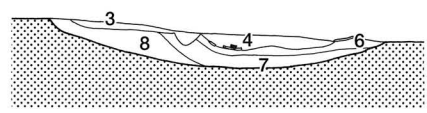
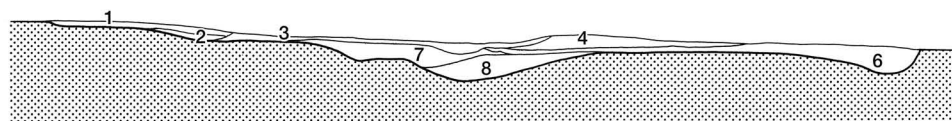
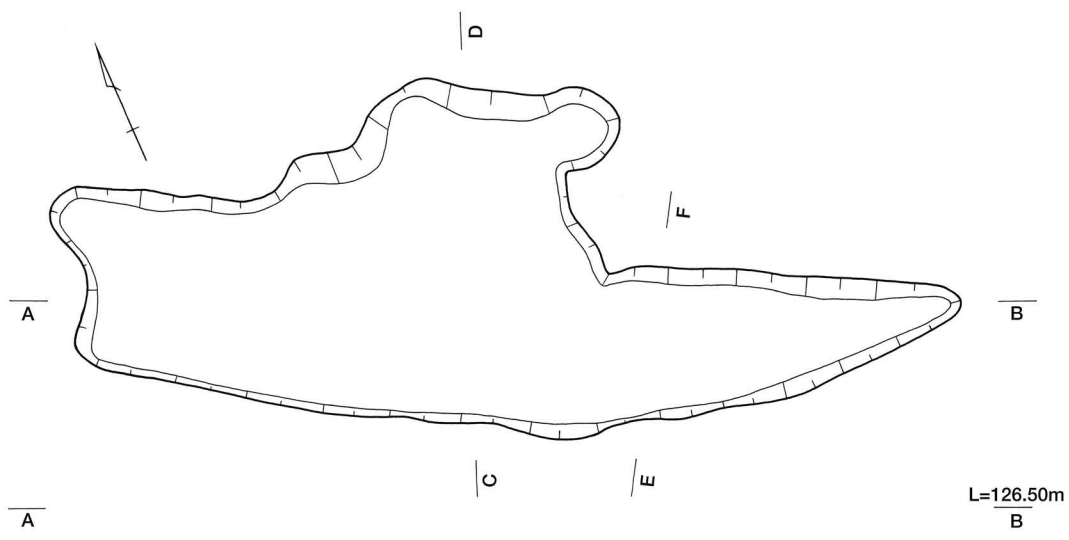
遺物は図化できるものはなかったが、近世に属すると思われる瓦片が出土している。

2号窯跡 (SO1002) (第12・13図)

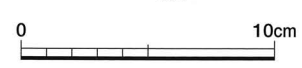
A区の中央やや北側に位置する。SO1001までは直線にして南西3mのところにある。検出グリッドはF-3・4グリッドである。遺構平面形状は不整形を呈し、遺構断面形状はいびつな船底形を呈する。遺構規模は長軸7.26m、短軸2.70m、深さ0.48mを測り、遺構埋土は8層に分層することができた。遺構埋土は、大きくは赤褐色系を呈する粘質土と褐色または黄褐色を呈する粘質土・シルト質土に分けられる。

この赤褐色系を呈する第1・2・4層中に焼土塊とともに瓦片が含まれていた。また、第6層は多量の炭化物を含んでいる様子が確認できた。一方下層にあたる褐色または黄褐色を呈する7・8層には焼土塊、炭化物をはじめ瓦片は含まれていなかった。つまり遺構の下層において窯の基礎をつくり出し、上面において火の使用があったものと考えられる。しかし、壁体などの遺物もSO1001と同様、出土していないために詳細は不明である。

4は土師器の甕の底部である。5は軒平瓦である。

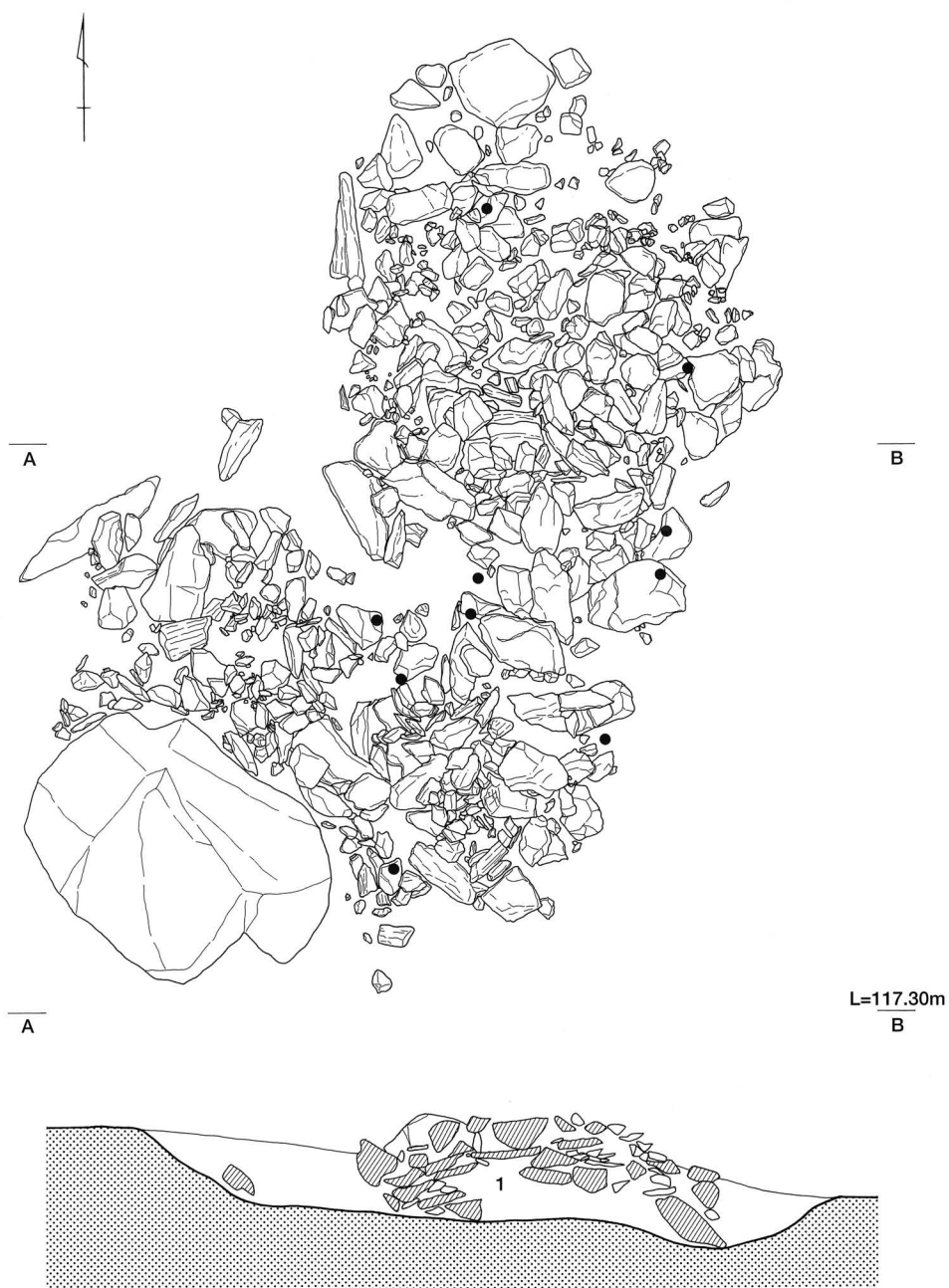


- 1. 黄褐色 10YR5/6 粘質土 炭化物と瓦片を少量含む
- 2. 暗赤褐色 5YR3/6 粘質土 φ1cm程度の瓦片を多く含む・焼土層
- 3. 黄褐色 10YR5/6 粘質土 φ1~1.5cmの礫を多く含む
- 4. 暗赤褐色 5YR3/6 粘質土
- 5. 褐色 7.5YR4/4 シルト質土 炭化物をやや多く含む
- 6. 黒褐色 7.5YR3/2 粘質土 多量の炭を含む
- 7. 黄褐色 10YR5/8 粘質土 炭化物を極少量含む
- 8. 褐色 7.5YR4/6 シルト質土

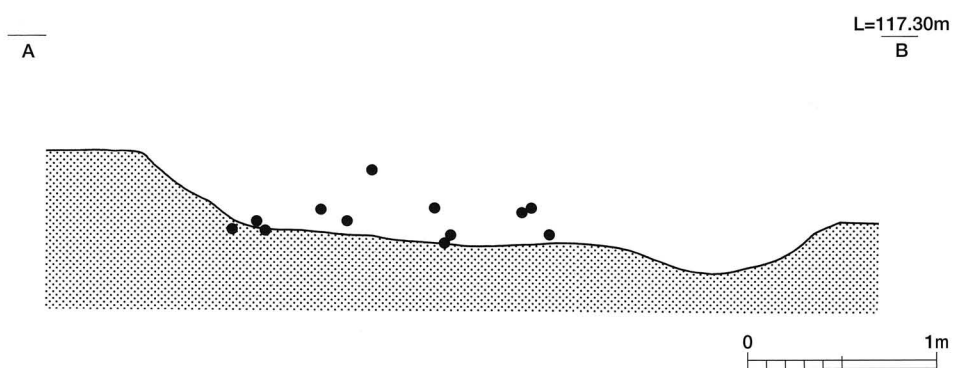


第12図 A区SO1002平・断面図

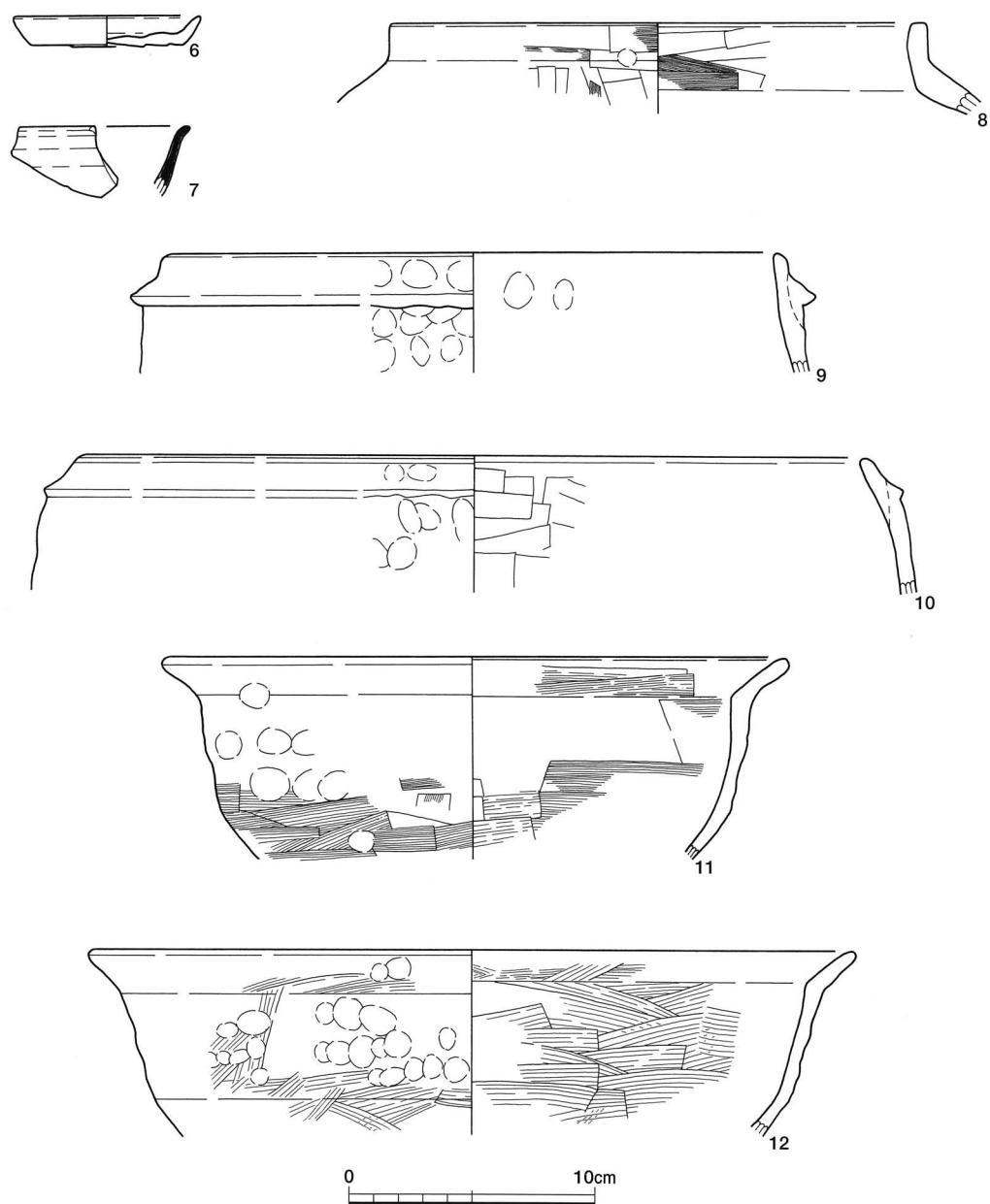
第13図 A区SO1002出土遺物



第14图 C区SJ1001平·断面遺物出土狀況図



第15图 C区SJ1001出土遺物垂直分布図

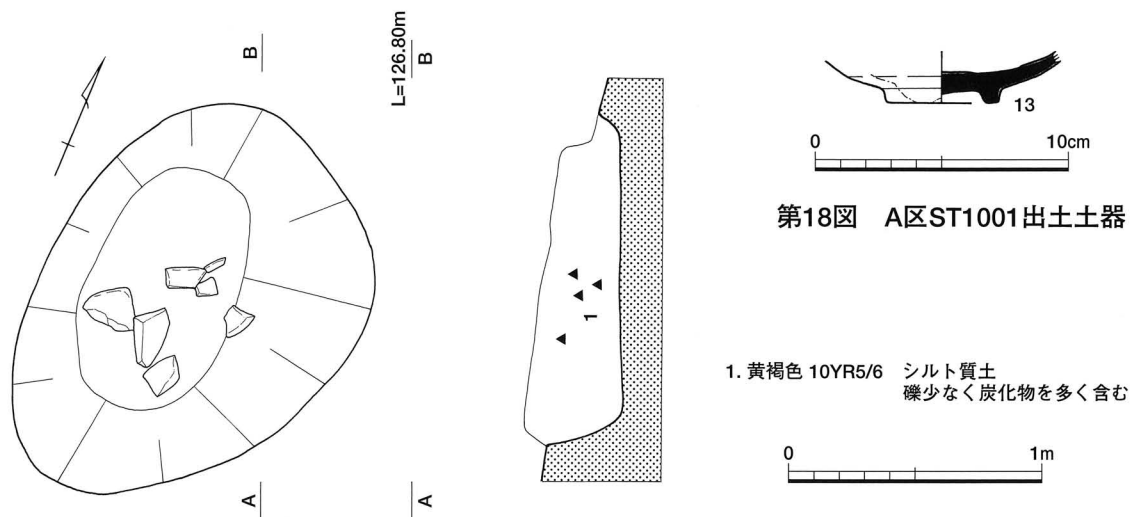


第16図 C区SJ1001出土土器

暗渠 (SJ)

1号暗渠 (SJ1001) (第14~16図)

C区の東側に位置する。検出グリッドはH-10・11グリッドである。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構平面形状は不整楕円形を呈する。集石の広がりには長軸5.35m、短軸1.82m、高さ0.56mを測る。岩盤礫の大きさは様々で、φ5~60cmを測り、南西端にのみ例外的に1.5×1.2mの巨石を配する。また、とくに集中する部分はなかったが、岩盤礫とほぼ同サイズの石英礫が所々混じっていた。この集石には板状を呈する礫はほとんど用いられることがなく、そのため列石や順序よく積み上げているといった様子は見られない。また、比較的大型の50~60cm前後の礫の下層には5cm未満の川原石が詰め込まれていた。この礫群は地山を30cmほど掘りく



第17図 A区ST1001平・断面遺物出土状況図

第18図 A区ST1001出土土器

1. 黄褐色 10YR5/6 シルト質土
礫少なく炭化物を多く含む

ほめたのちに集石されたものと思われる。

なお、発掘調査の時点においても標高116.2～116.3m付近の礫の最下部と地山面の間を水が絶え間なく流れていた。地山は、もともとは黄褐色を呈する砂質土であるが、恒常的な流水によりグライ化し色調は緑灰色7.5GY 5/1を呈する。流水方向は、地形が南から北へ下る緩傾斜であるのと同様に南から北方向である。

6は土師器の小皿である。7は青磁の碗である。8は土師器の茶釜である。9、10は土師器の羽釜である。11、12は土師器の鍋である。

遺構の時期は、青磁碗など若干古い要素がみられるものの、土師器の小皿や羽釜からみて15世紀末～16世紀初頭頃におさまるものと考えられる。

中世墓 (ST)

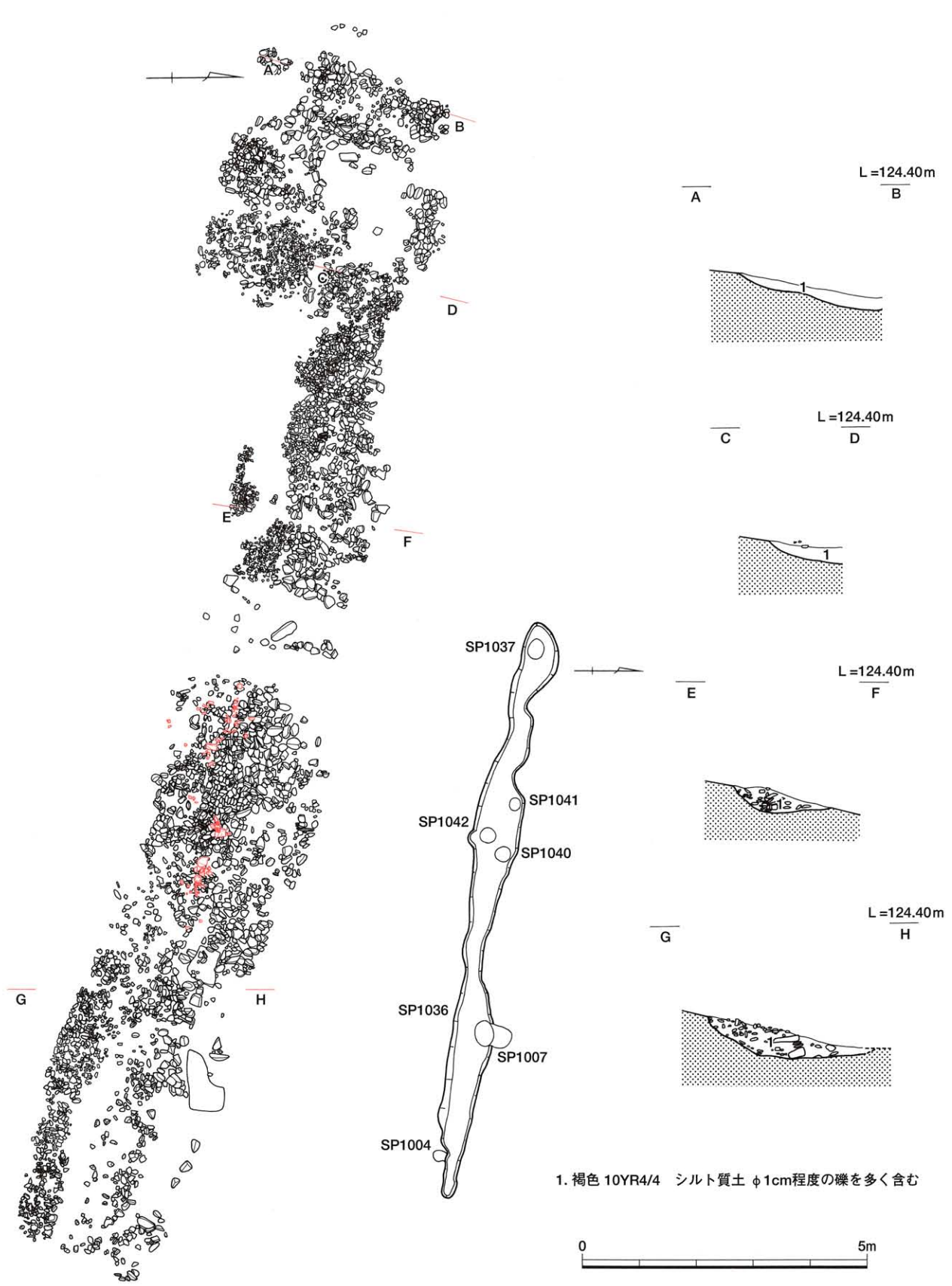
1号中世墓 (ST1001) (第17・18図)

A区の中央やや北寄りに位置する。検出グリッドはE-3グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.68m、短軸1.23m、深さ0.39mを測る。遺構埋土は黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物を多く含んでいる様子が確認できた。

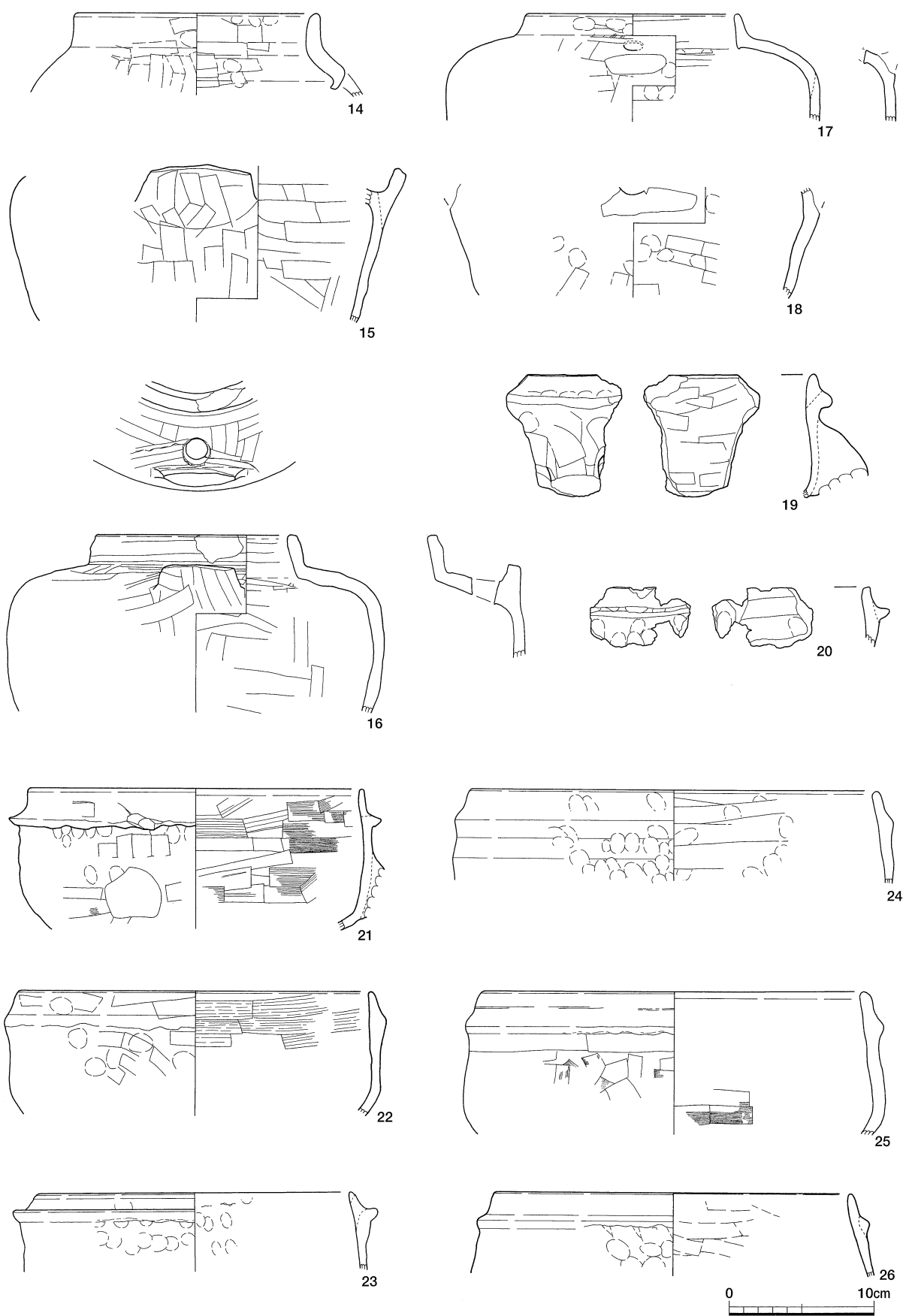
13は陶器の碗である。

2号中世墓 (ST1002) (第19～23図)

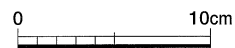
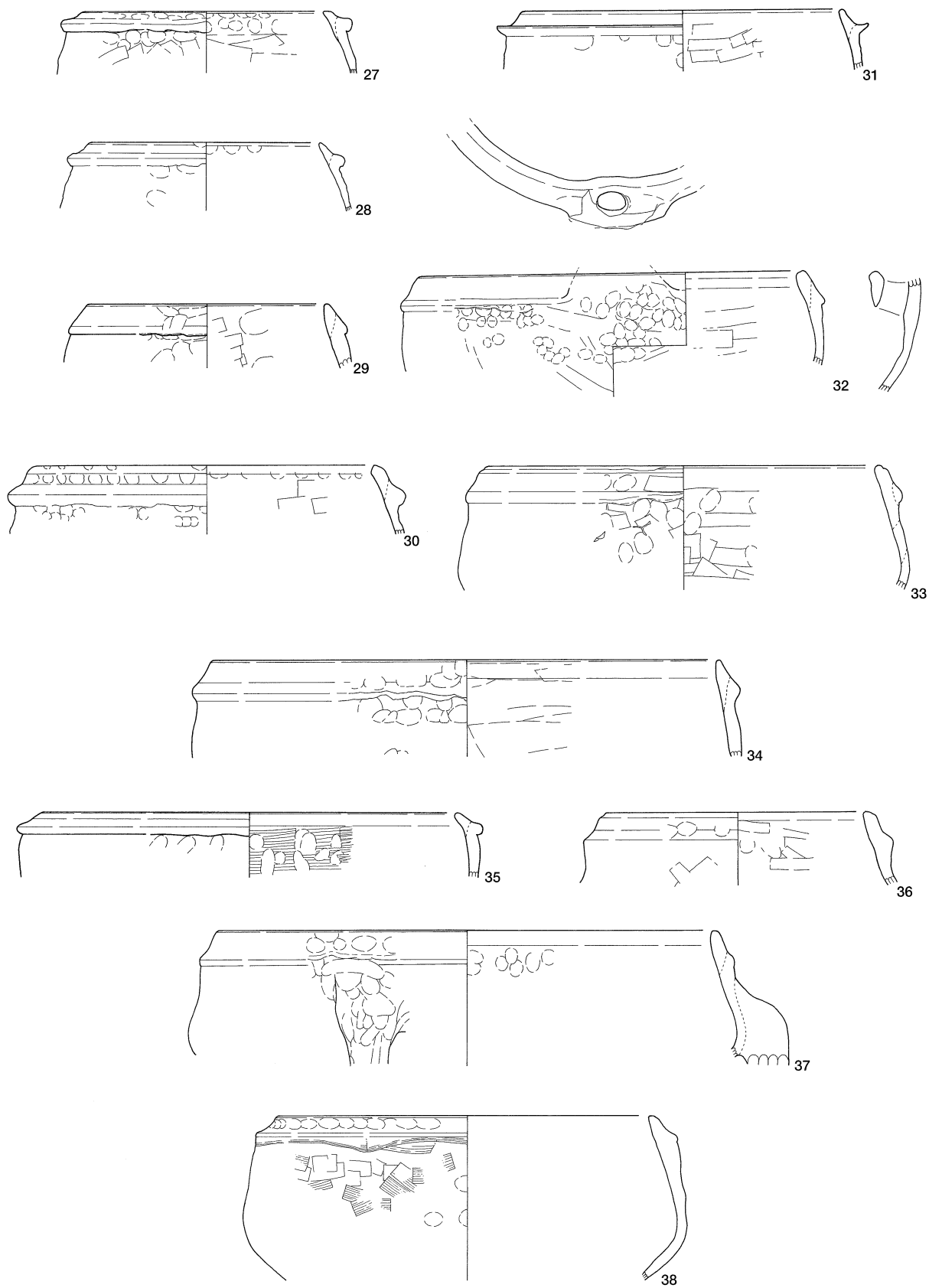
B区の東側に位置する。検出グリッドはE-8～10グリッドである。機械掘削後、機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構平面形状は東西に細長い形状を呈する。集石の広がりには長軸21.5m、短軸1.6m、高さ0.7mを測る。岩盤礫の大きさはφ10～20cmを測る比較的小型の礫が多く、東側にのみ例外的に0.6×1mの巨石を配する。また、とくに集中する部分はなかったが、岩盤礫とほぼ同サイズの石英礫が所々混じっていた。この集石には板状を呈す



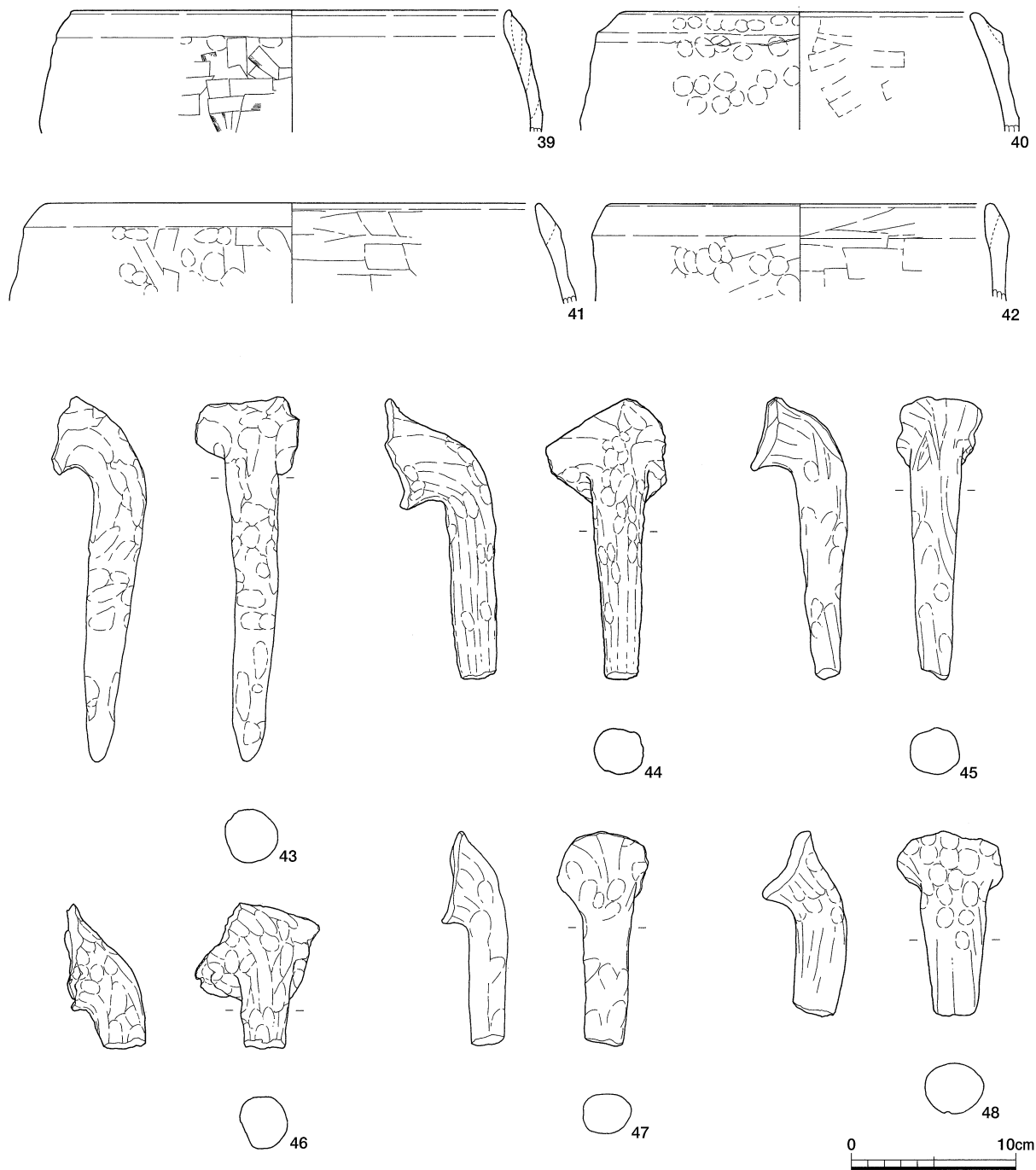
第19図 B区ST1002平・断面遺物出土状況図



第20图 B区ST1002出土土器 (1)



第21图 B区ST1002出土土器 (2)

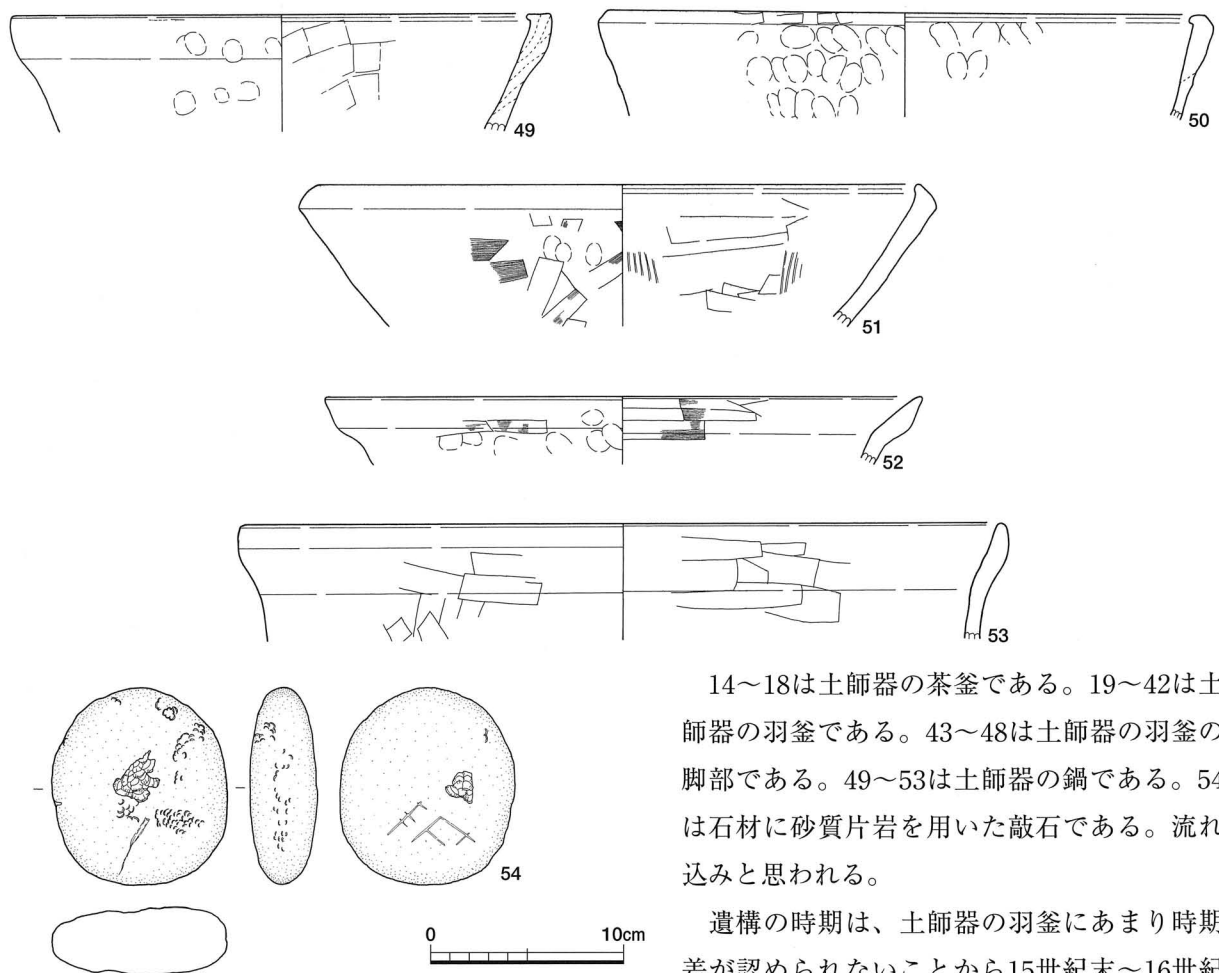


第22図 B区ST1002出土土器 (3)

る礫はほとんど用いられることがなく、礫を無造作に集積し被覆していた様子が確認できた。

この礫群を除去したところ、東側において東西に主軸をもつ溝状の遺構が確認された。この溝状の遺構は総延長10.3m、最大幅0.9m、深さ0.8mを測り、SP1007、1036に切られ、SP1004、1037、1040、1041、1042を切る。

遺物は礫群中から出土し、すべて破片であった。出土位置も比較的限られ、集石中央の礫が希薄な部分から東側の礫が密集して確認された範囲のなかに集中している。おそらくこの範囲において何らかの祭祀行為が行われたのであろうと考えられるが、その痕跡をとどめるものの検出は皆無であったため詳細は不明である。



第23図 B区ST1002出土遺物(4)

14～18は土師器の茶釜である。19～42は土師器の羽釜である。43～48は土師器の羽釜の脚部である。49～53は土師器の鍋である。54は石材に砂質片岩を用いた敲石である。流れ込みと思われる。

遺構の時期は、土師器の羽釜にあまり時期差が認められないことから15世紀末～16世紀初頭にかけて墓が構築されたのであろうと思われる。

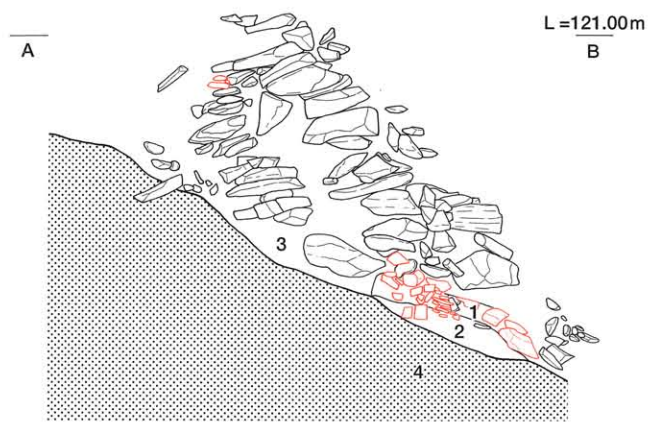
3号中世墓 (ST1003) (第24～26図)

B区の北側に位置する。検出グリッドはF・G-9・10グリッドである。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。東側に向かって傾斜する部分に占地しており、標高が低い側に大振りな礫を積み上げ、基壇としている。その上には板状の礫を用いて徐々に積み上げ最後には小礫を用いて全面を被覆している。遺構規模は長軸2.97m、短軸1.88m、高さ1.82mを測る。

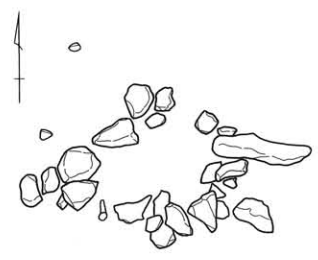
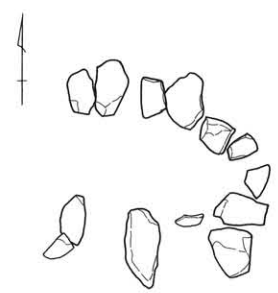
この被覆された小礫を除去すると、埋葬施設と思われる石列が2基確認された。北側を1号埋葬施設、南側を2号埋葬施設とする。1号埋葬施設は、長軸0.3m、短軸0.1～0.2mを測る板状の礫を用い、西側が途切れる「コ」の字状に礫を配する。遺構規模は一辺1.2mを測る方形を呈する。施設の内部は東西に主軸をもつ楕円形を呈する。2号埋葬施設は、直径0.2m前後を測る角礫を用い、東西方向に長軸をもつ楕円形に礫を配する。遺構規模は長軸1.36m、短軸0.9mを測る。

遺物は埋葬施設に伴うものは確認できなかったが、いずれも破片の状態で遺構の北側を中心に出土している。とくに集中する部分がみられないことから、破片を散布した可能性が考えられる。

55、56は土師器の杯である。57～68は土師器の羽釜である。69、70は土師器の羽釜の脚部である。71、72は土師器の鍋である。73は須恵器の捏ね鉢である。



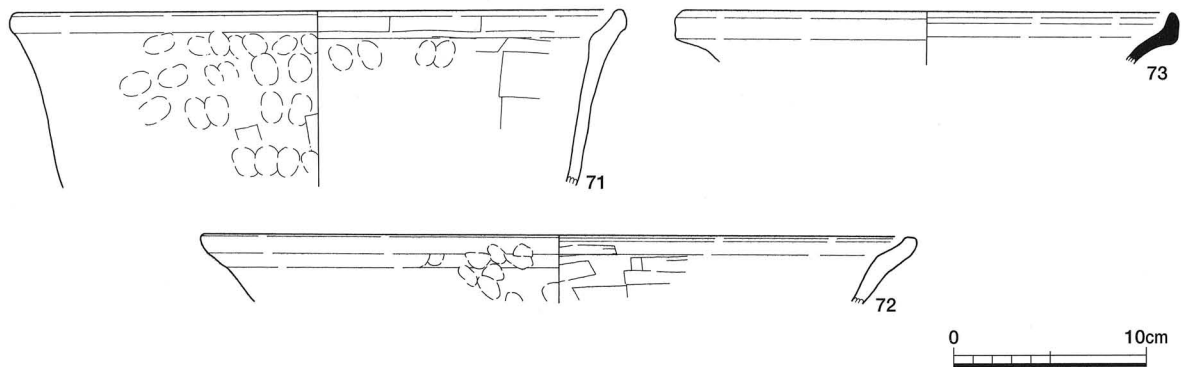
- 1. 褐色 10YR4/4 シルト質土 φ2~2.5cmの礫を少し含む
- 2. にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト質土
- 3. オリーブ褐色 10YR4/6 シルト質土
- 4. 地山



第24図 B区ST1003平・断面遺物出土状況図



第25图 B区ST1003出土土器 (1)



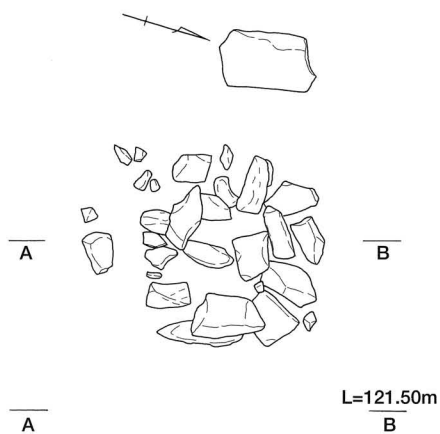
第26図 B区ST1003出土土器 (2)

遺構の時期は、土師器の羽釜にあまり時期差が認められないことから15世紀末～16世紀初頭にかけて構築されたのであろうと思われる。

4号中世墓 (ST1004) (第27・28図)

B区の北東側に位置する。検出グリッドはF-9グリッドである。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。礫群は10～20cm前後の角礫あるいは板石を用いて方形を意識して配置されていたが、とくに面を揃えるところまでは見受けられない。また、東側など一部石を積み上げている部分が検出できたが、それ以外で石積みの様子は確認できなかった。石積みの中央部分には小礫などの充填はなく、地山土が露出しているおり、この地山も遺構を構築するに伴って整地するなどの痕跡はなかった。遺構平面形状は東西にわずかに長い形状を呈する。集石の広がりには長軸0.64m、短軸0.54m、高さ0.22mを測る。

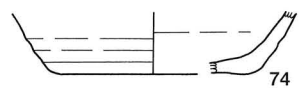
74は土師器の杯である。



第27図 B区ST1004平・断面遺物出土状況図

5号中世墓 (ST1005) (第29・30図)

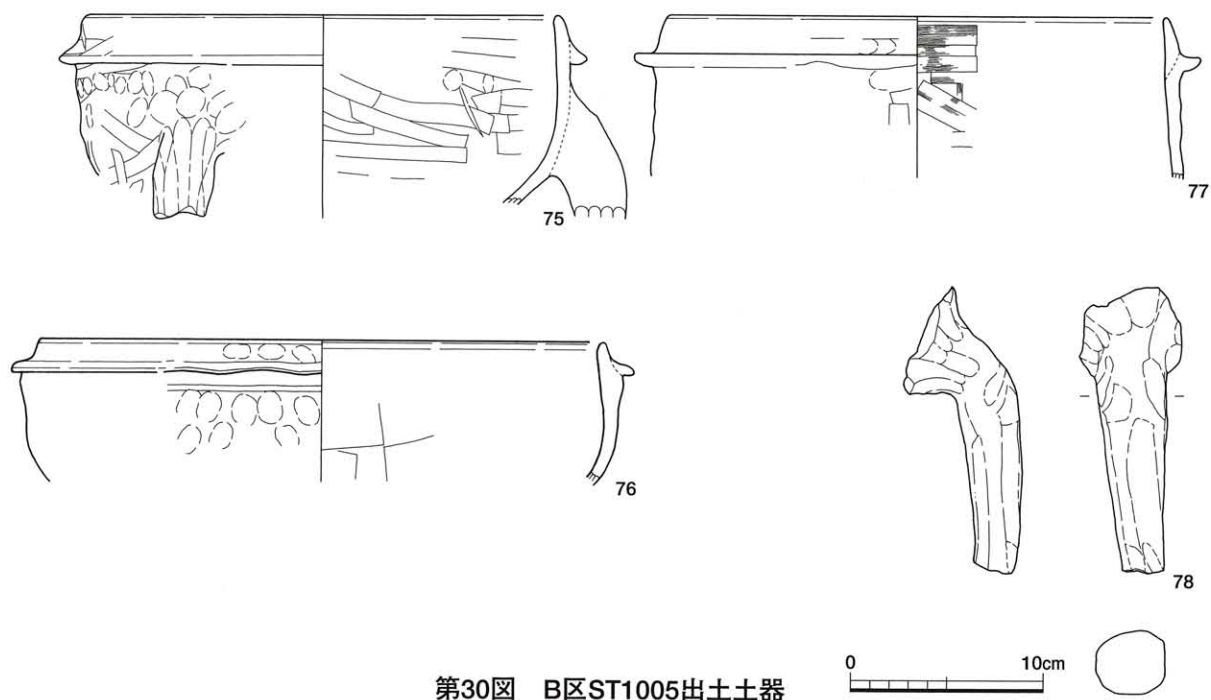
B区の北側に位置する。検出グリッドはF-8・9グリッドである。北側に向けて下る傾斜部分に占地する。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構の北西側には長軸0.5m、短軸0.3～0.4mを測る大振りな板状礫を配し、ある程度面を揃えるようにして積み上げている。それ以外には直径0.1～0.2m前後を測る角礫を用いて被覆しているのみで石列はみられない。しかし、傾斜の低い部分が調査区外にあたるため、石列は調査区外まで延びる可能性がある。遺構規模は長軸3.8m、短軸3.54m、高さ1.32mを測る。



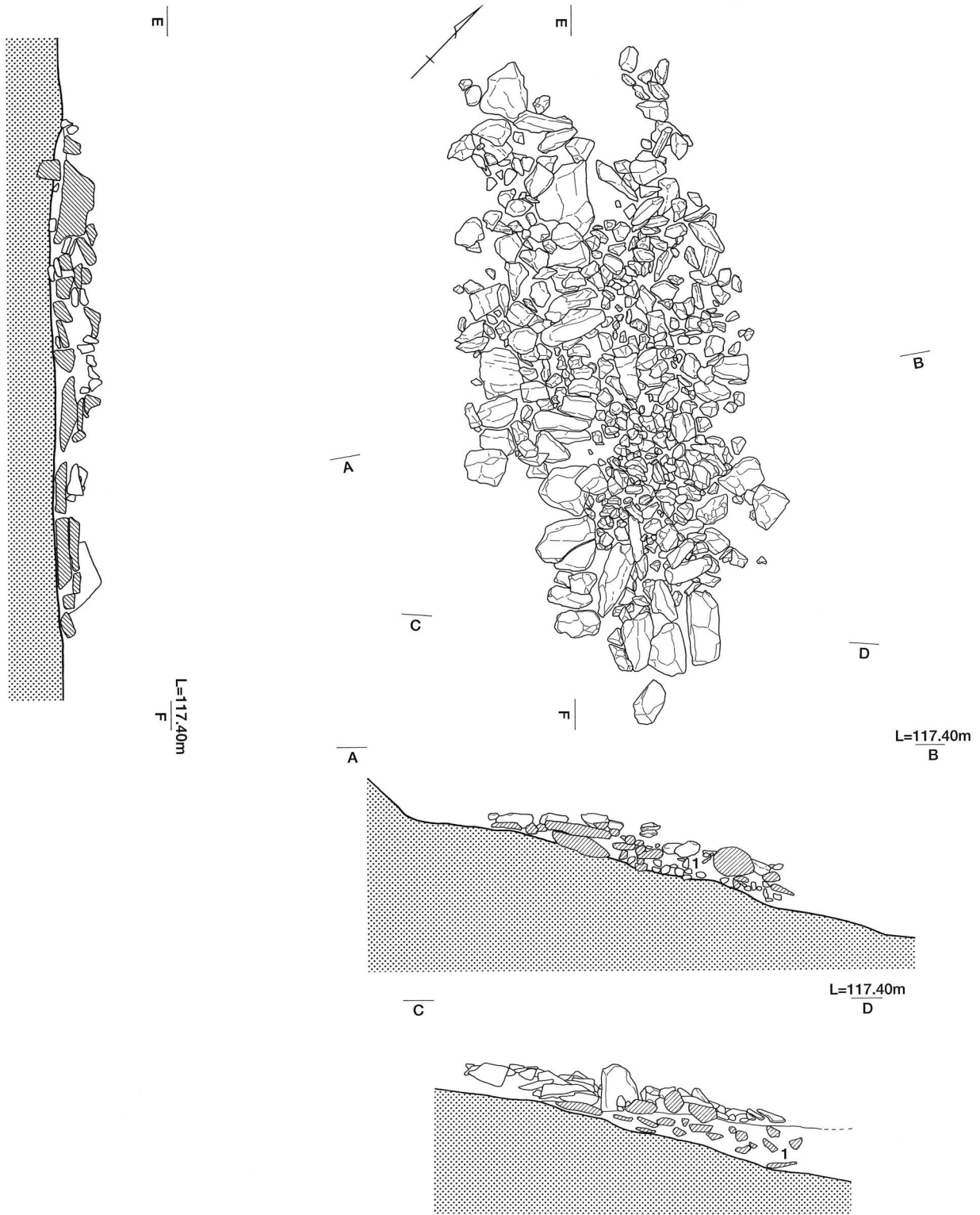
第28図 B区ST1004出土土器



第29图 B区ST1005検出状況図



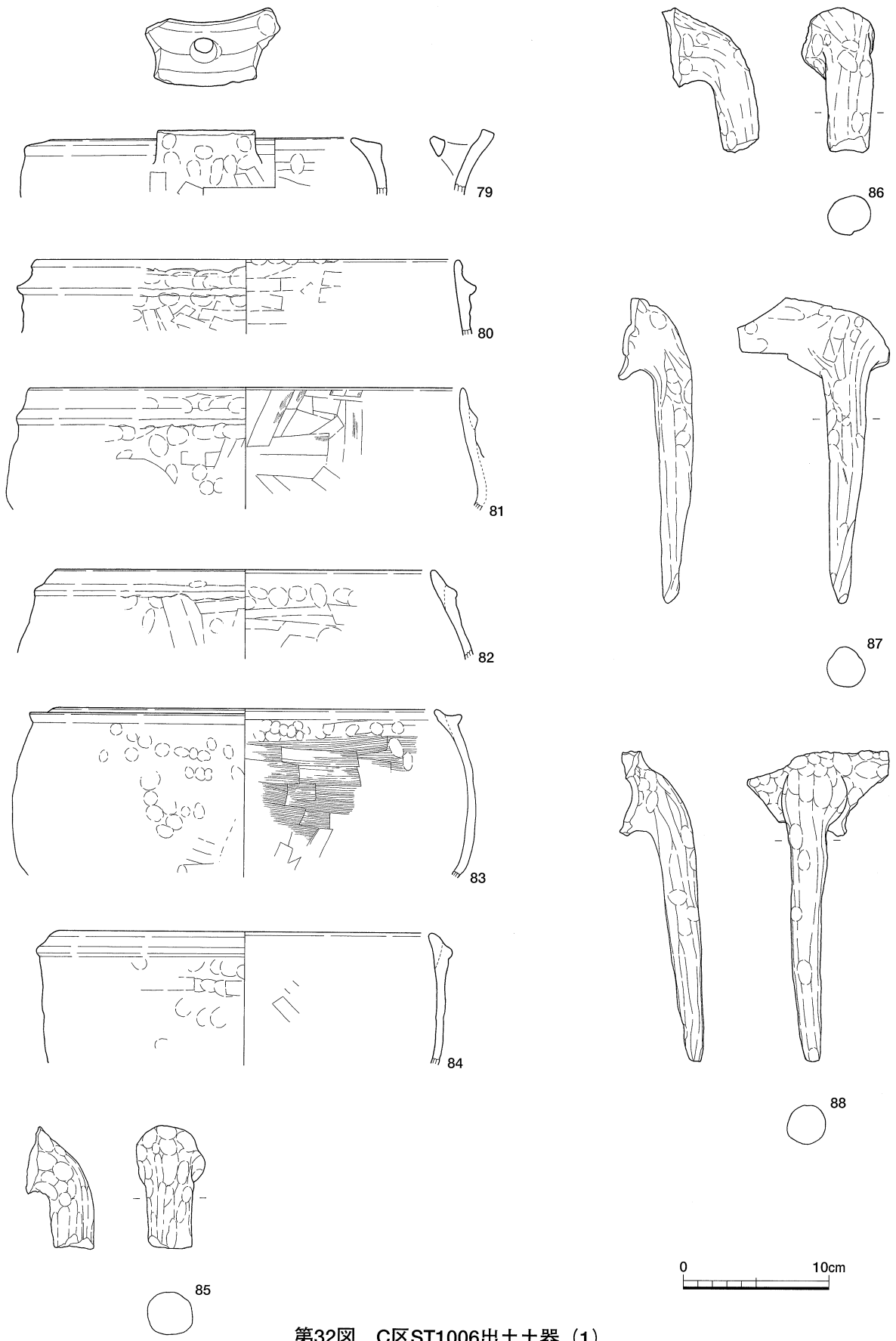
第30图 B区ST1005出土土器



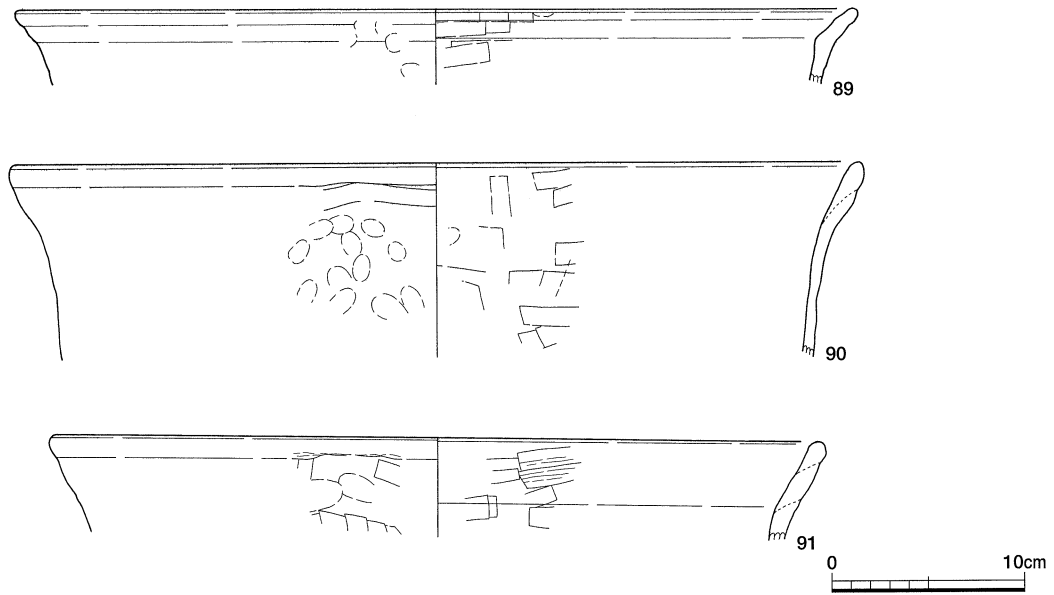
1. 黄褐色 2.5Y5/6 粘質土 φ1.5~2cm程度の礫を多く含む



第31図 C区ST1006平・断面遺物出土状況図



第32图 C区ST1006出土土器 (1)



第33図 C区ST1006出土土器 (2)

遺物はすべて破片の状態で、いずれも土師器の羽釜が出土している。とくに集中して出土する部分もみられず、被覆している礫の間からまばらに出土している。

75～78は土師器の羽釜である。

遺構の時期は、出土遺物に若干の時期差があり、15世紀初頭に構築されたものと考えられる。この出土遺物の時期差がそのまま遺構の構築時期から廃絶時期までを示すものとは考えられない。

6号中世墓 (ST1006) (第31～33図)

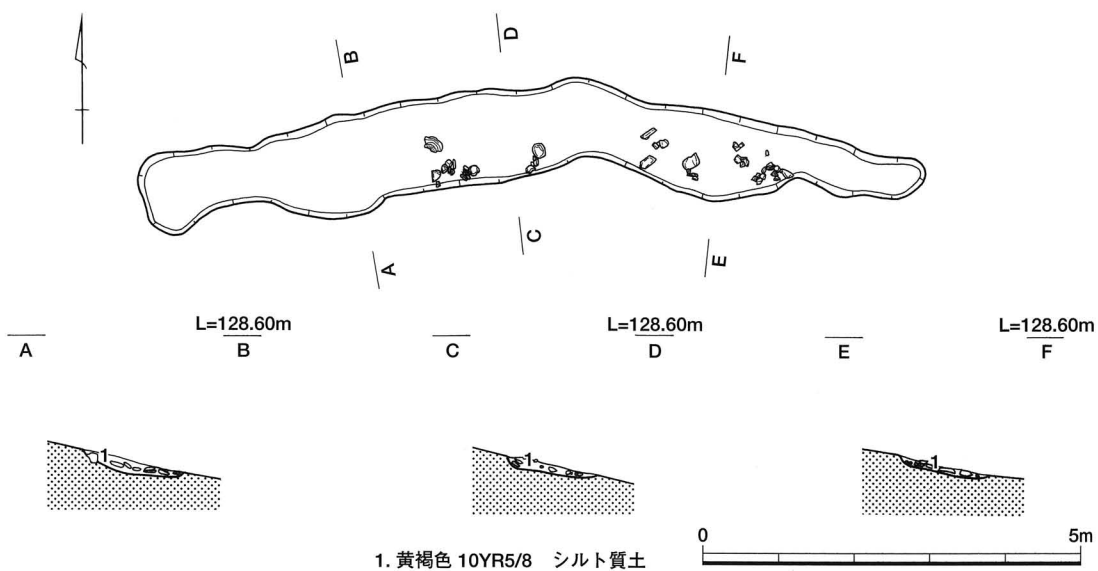
C区の北西側に位置する。検出グリッドはJ・K-6・7グリッドである。北側から北東側にかけて下る傾斜部分に占地している。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構の南東側と南西側の一部には長軸0.4～0.5m、短軸0.2m前後を測る板石の小口部分を揃え、石列をなしている。遺構の平面形状は北西-南東方向に主軸を持つ楕円形を呈しているが、石列の延長線を復元してみると長方形を意識していたことがうかがえる。また、前述の板石を方形に配し基壇としその上にもう一段板石を積み上げ、基底部を構築している。その後直径10cm未満の小礫を用いて遺構全体を被覆している。遺構規模は長軸4.54m、短軸1.96m、高さ0.64mを測る。

遺物はすべて破片の状態で、土師器の羽釜を中心として出土しており、そのほかに土師器の茶釜や鍋など煮沸具に限られる。とくに集中して出土する部分もみられず、被覆している礫の間からまばらに出土している。

被覆小礫の除去後埋葬施設などは確認できなかったが、石列をもち煮沸具に限定された土器片が遺構全体からまばらに出土していることなどをあわせて中世墓であると判断した。

79～84は土師器の羽釜である。85～88は土師器の羽釜の脚部である。89～91は土師器の鍋である。

遺構の時期は、土師器の羽釜にあまり時期差が認められないことから15世紀末～16世紀前半にかけて構築されたのであろうと考えられる。



第34図 A区SU1001平・断面遺物出土状況図

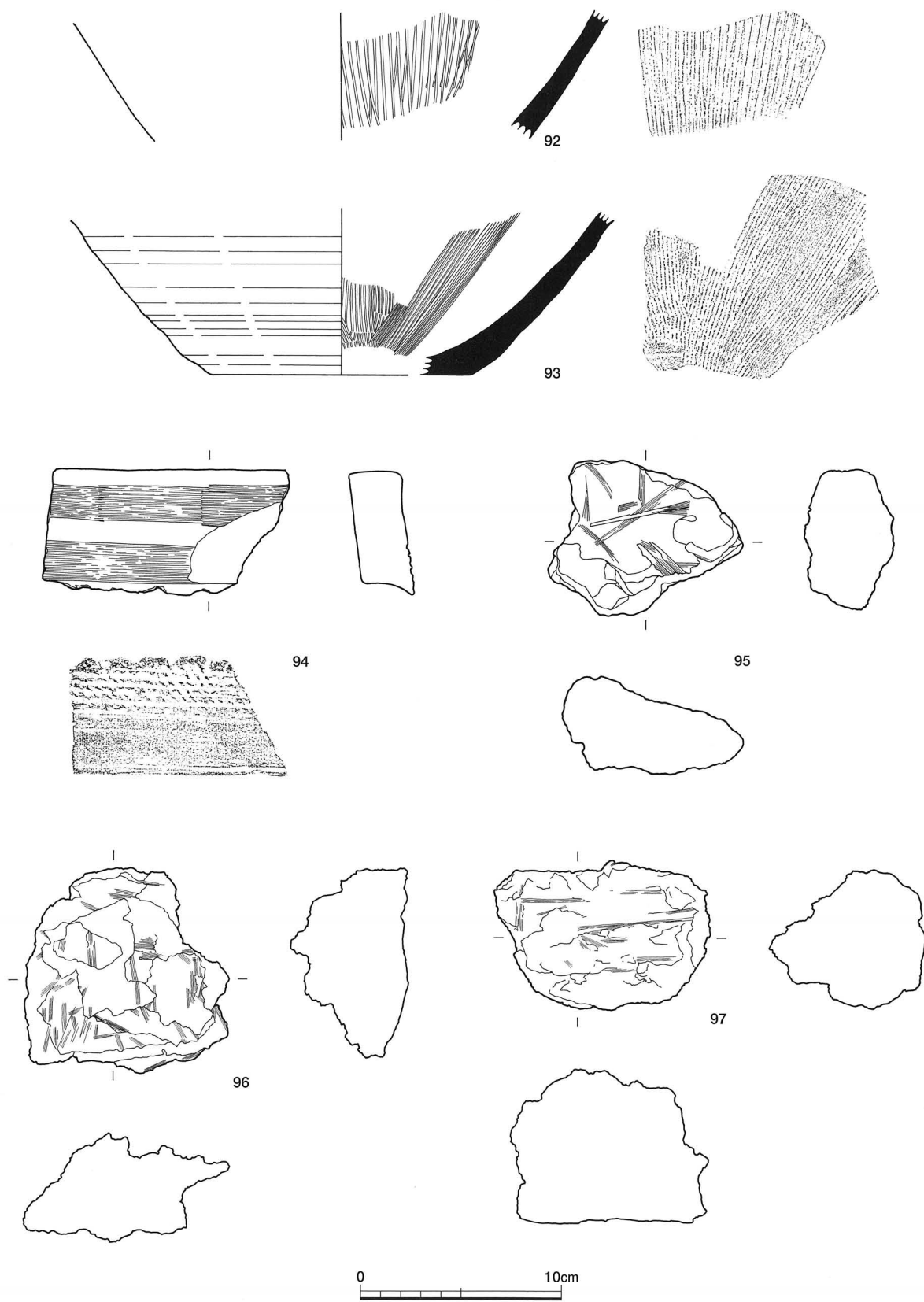
集石遺構 (SU)

1号集石遺構 (SU1001) (第34・35図)

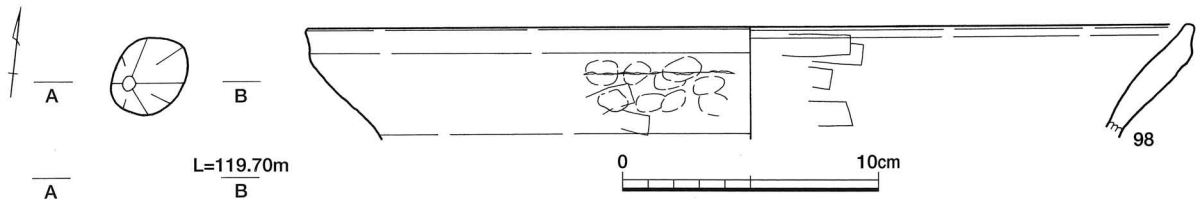
A区の西側に位置する。検出グリッドはD-1～3グリッドである。遺構平面形状は、東西方向に長軸をもつやや不整形な溝状を呈する。遺構断面形状は浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸10.45m、短軸0.65m、深さ0.35mを測る。遺構埋土は、黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。この遺構内のほぼ全面において直径0.1～0.4m大の礫を検出した。使用されている礫は岩盤の角礫が多く用いられているが、東側および西側の遺構端部付近には一部砂岩や石英を含む結晶片岩の円礫が敷き詰められていた。遺構形状が溝状を呈し、遺構のほぼ全面において礫が検出できていることから暗渠構造をもつ遺構とすることも考えられたが、遺構内にはシルト質土が堆積し、流水および滞水状況を示す埋土の堆積がみられないことから集石遺構と判断した。

遺物はすべて破片であり、礫群の隙間に混じるようにして、遺構中央およびやや東寄りの位置で出土している。

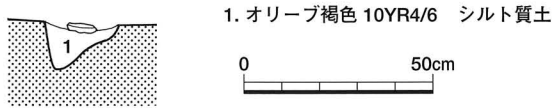
92・93は陶器の播り鉢である。94は瓦器である。火鉢であろうか。95～97は壁土の一部である。このほか図化していないが瓦片や石臼などが出土している。



第35图 A区SU1001出土遗物

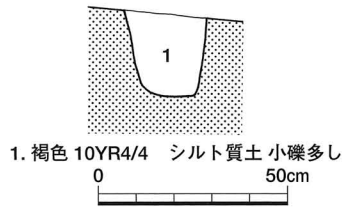
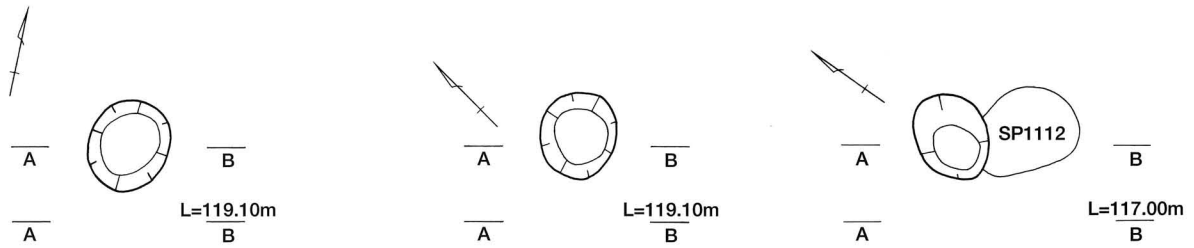


第37図 B区SP1023出土土器



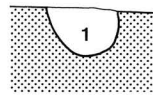
第36図 B区SP1023平・断面図

1. オリーブ褐色 10YR4/6 シルト質土



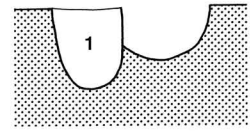
1. 褐色 10YR4/4 シルト質土 小礫多し

第38図 C区SP1047平・断面図



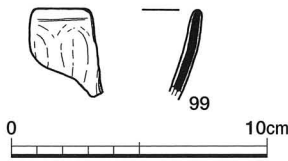
1. にぶい黄褐色 10YR5/4
上部に炭化物少量・土器片(青磁)含む

第40図 C区SP1059平・断面図

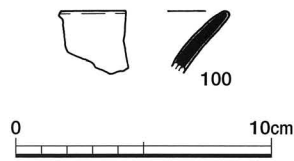


1. にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト質土

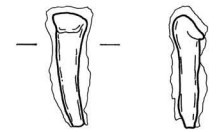
第42図 C区SP1113平・断面図



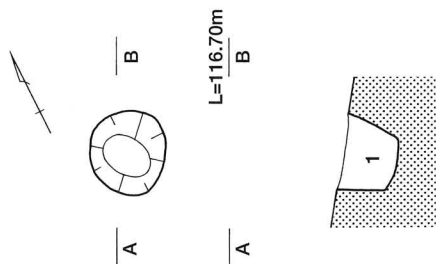
第39図 C区SP1047出土土器



第41図 C区SP1059出土土器

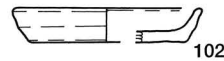


第43図 C区SP1113出土鉄器



1. 灰黄褐色 10YR4/2 シルト質土

第44図 C区SP1118平・断面図



第45図 C区SP1118出土土器

柱穴・小穴 (SP)

23号小穴 (SP1023) (第36・37図)

B区の中央やや東よりに位置する。検出グリッドはE-9グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな三角形を呈する。遺構規模は径0.23m、深さ0.13mを測り、遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

98は土師器の甕である。

47号小穴 (SP1047) (第38・39図)

C区の南西側に位置する。検出グリッドはH-7グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな逆台形を呈する。遺構規模は径0.25m、深さ0.23mを測り、遺構埋土は褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。遺構内には周辺にも多数みられる結晶片岩の岩盤礫がやや多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

99は青磁の碗である。

59号小穴 (SP1059) (第40・41図)

C区の南西側に位置する。検出グリッドはH-6グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな船底形を呈する。遺構規模は径0.23m、深さ0.13mを測り、遺構埋土はにぶい黄褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。遺構内の上部には青磁碗の破片とともに炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

100は青磁の碗である。

113号小穴 (SP1113) (第42・43図)

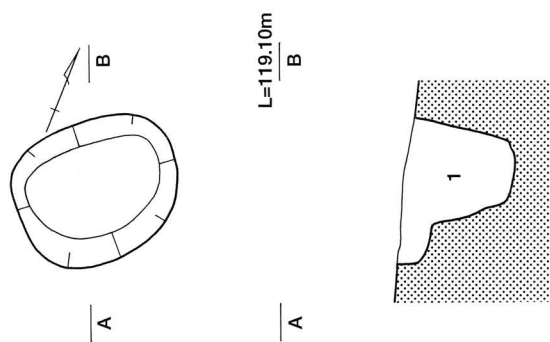
C区の北側に位置する。検出グリッドはJ-8グリッドである。遺構の南東側でSP1112を切る。遺構平面形状は南北に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.24m、深さ0.22mを測り、遺構埋土はにぶい黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

101は鉄製の釘である。

118号小穴 (SP1118) (第44・45図)

C区の北側に位置する。検出グリッドはJ-8グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.22m、深さ0.16mを測り、遺構埋土は灰黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

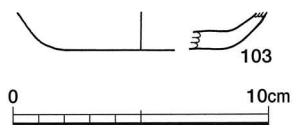
102は土師器の小皿である。



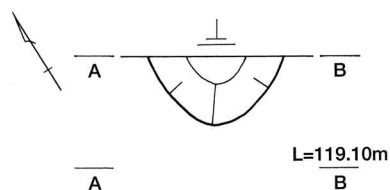
1. にぶい黄褐色 10YR4/3 炭化物極少量混じる



第46図 C区SP1126平・断面図



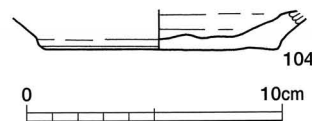
第47図 C区SP1126出土土器



1. にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト質土
2. 黄褐色 10YR5/6 粘質土 土器片有り



第48図 C区SP1141平・断面図



第49図 C区SP1141出土土器

126号小穴 (SP1126) (第46・47図)

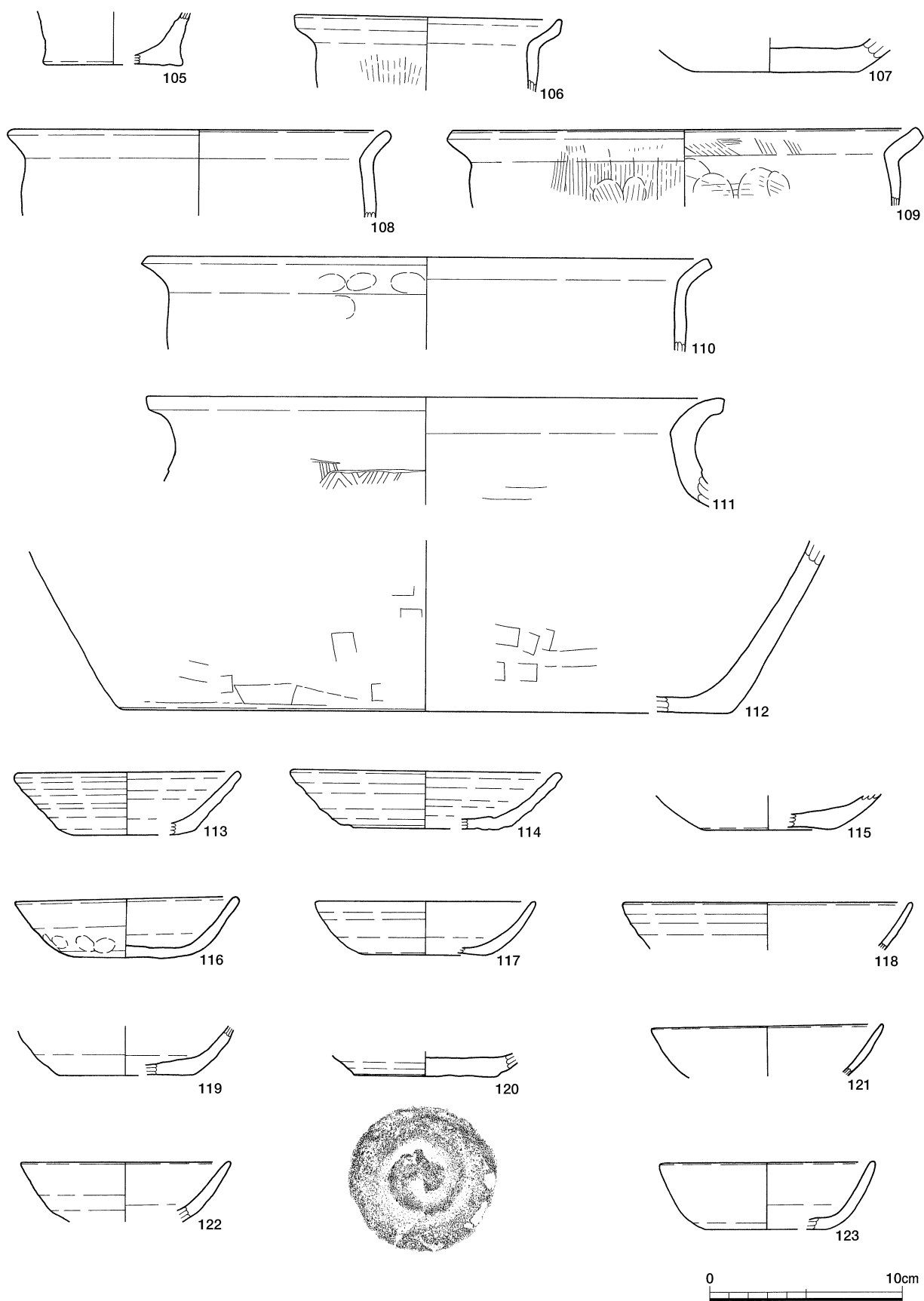
C区の西側に位置する。検出グリッドはI-6グリッドである。遺構平面形状は不整形円形を呈し、遺構断面形状はいびつな逆台形を呈する。遺構規模は径0.44m、深さ0.31mを測り、遺構埋土はにぶい黄褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。遺構内には炭化物がかすかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

103は土師器の杯である。

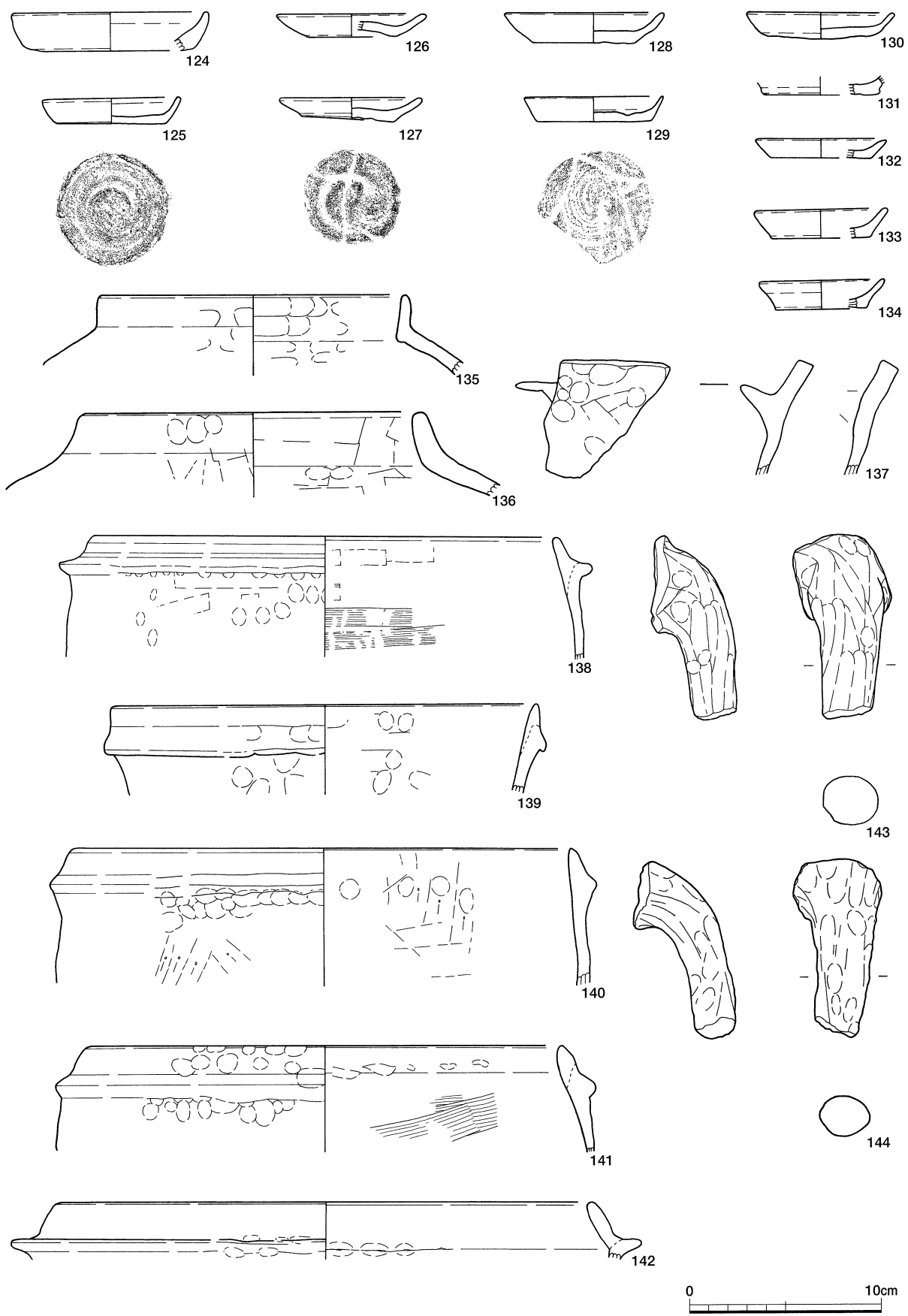
141号小穴 (SP1141) (第48・49図)

C区の西側に位置する。検出グリッドはJ-5グリッドである。遺構の北東側半分は調査区外へと延びる。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな三角形を呈する。遺構規模は径0.35m、深さ0.40mを測り、遺構埋土は2層に分層することができ、第1層にはにぶい黄褐色を呈するシルト質土が堆積し、第2層には黄褐色を呈する粘質土が堆積し、両者とも比較的安定して堆積している。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

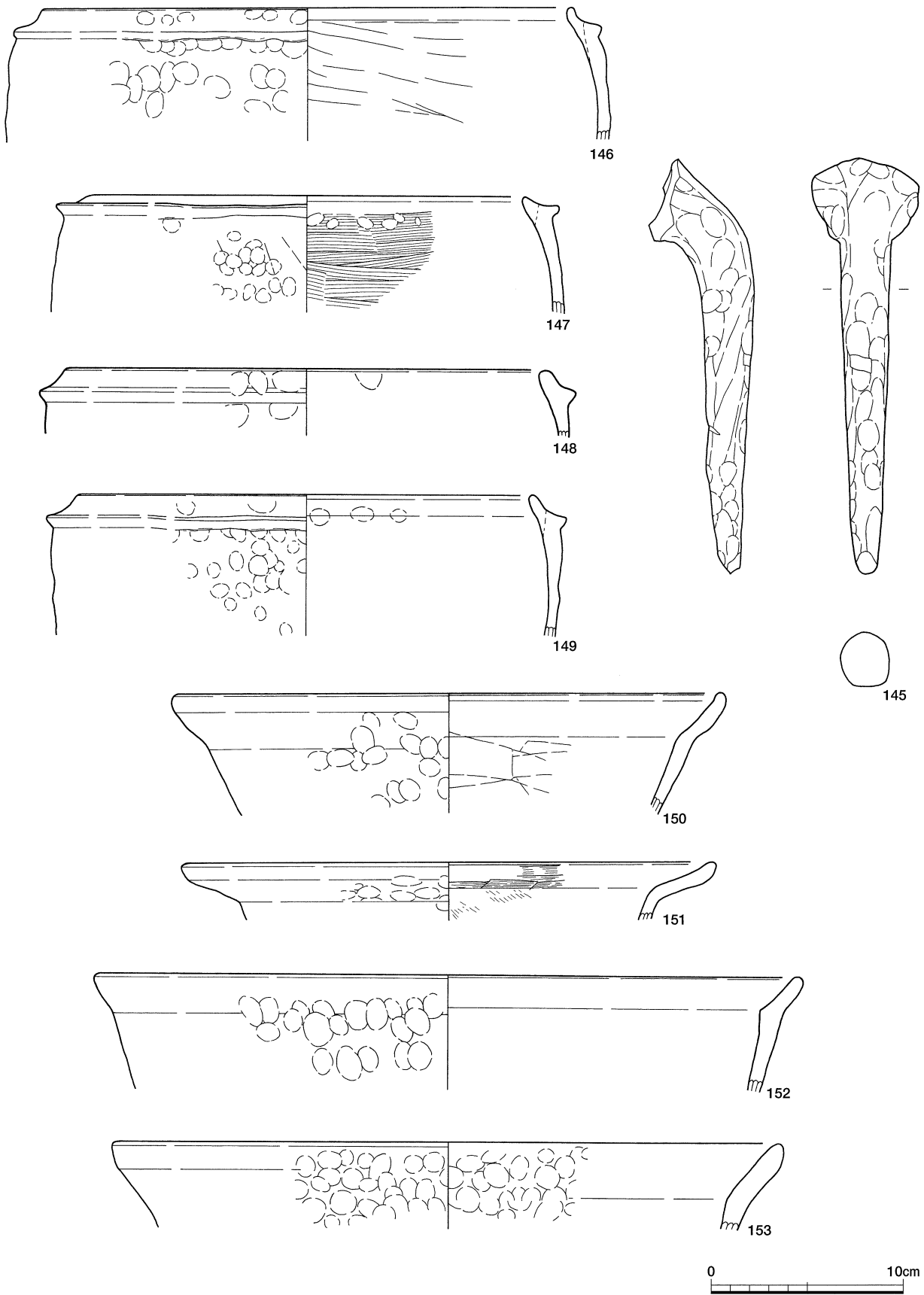
104は土師器の杯である。



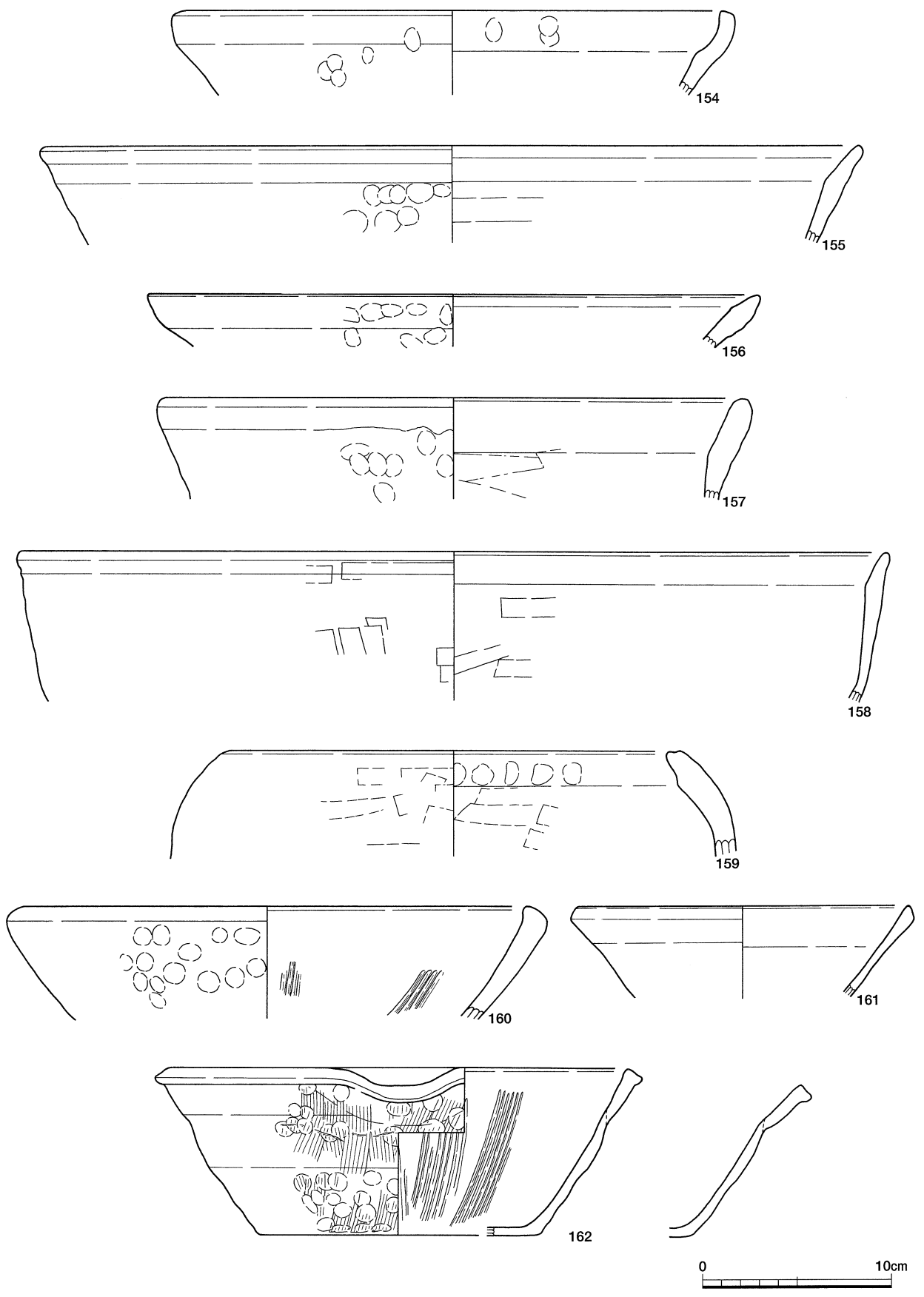
第50图 包含層出土土器 (1)



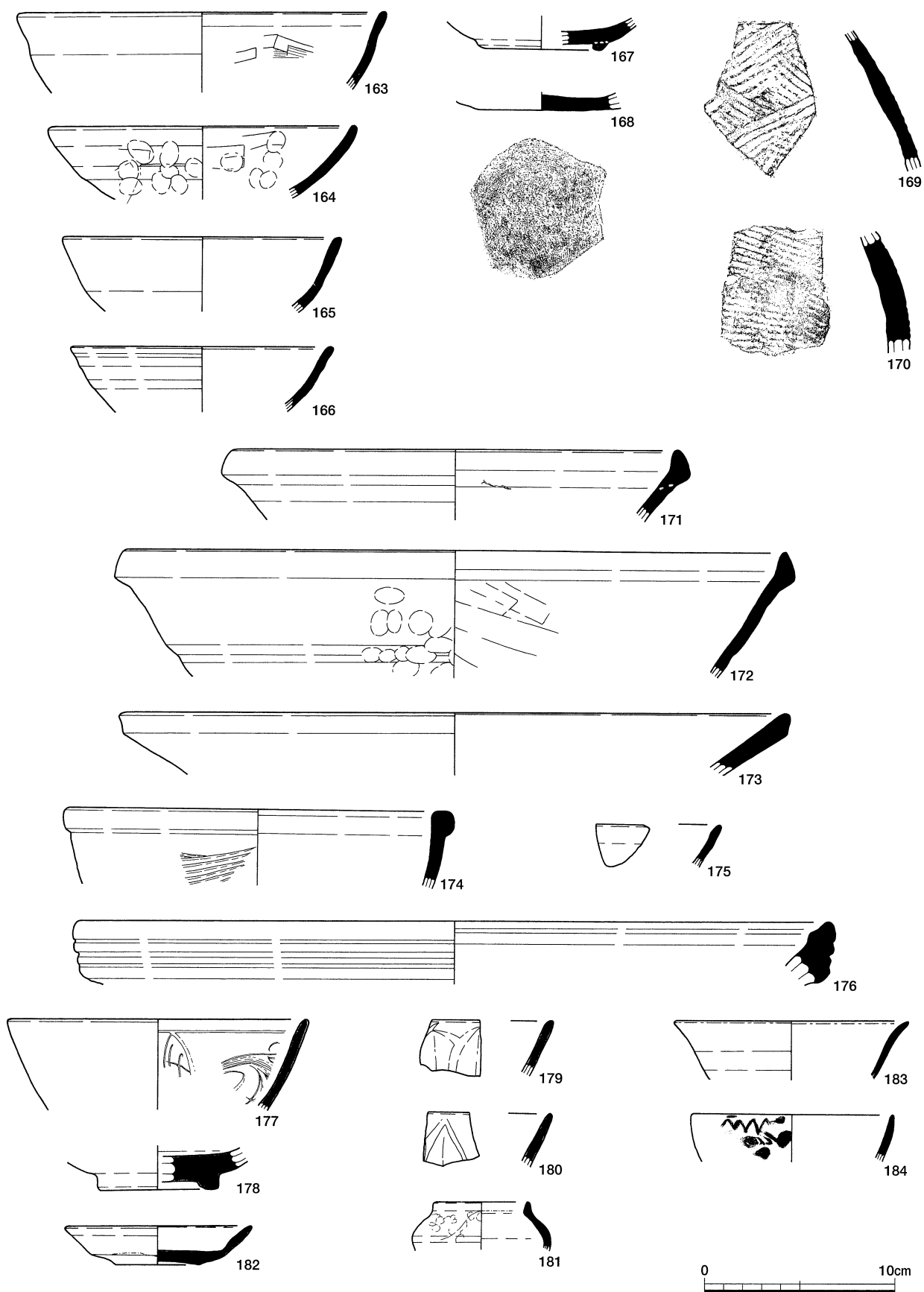
第51图 包含層出土土器 (2)



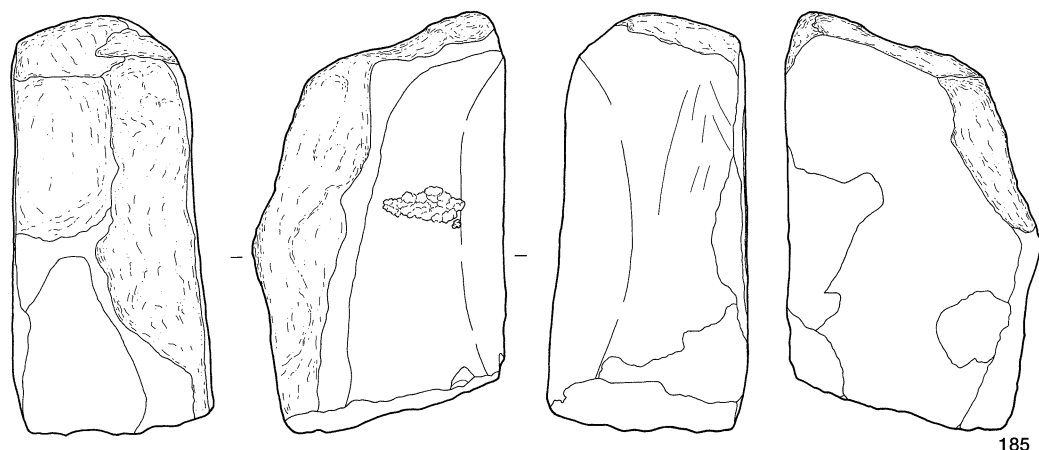
第52図 包含層出土土器 (3)



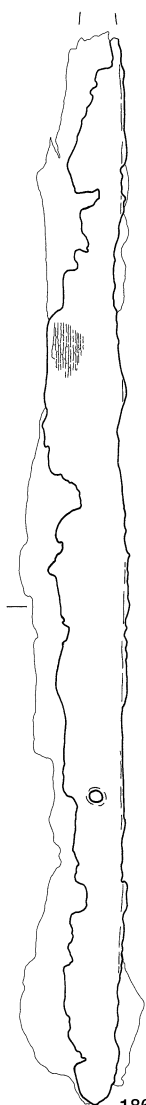
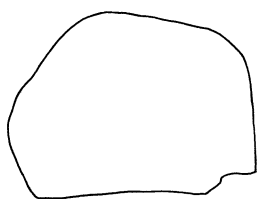
第53图 包含層出土土器 (4)



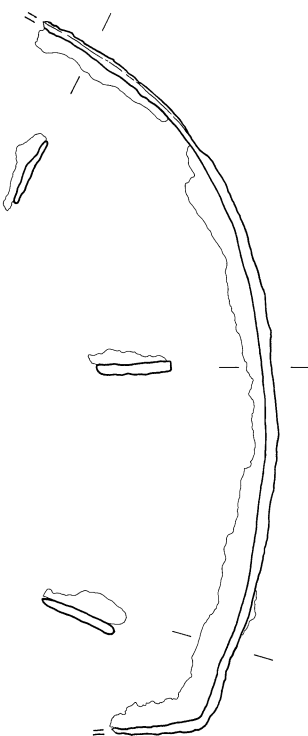
第54图 包含層出土土器 (5)



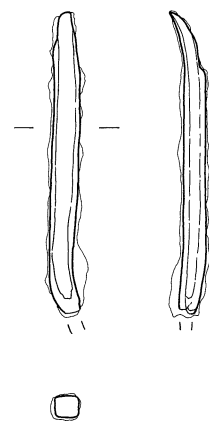
185



186



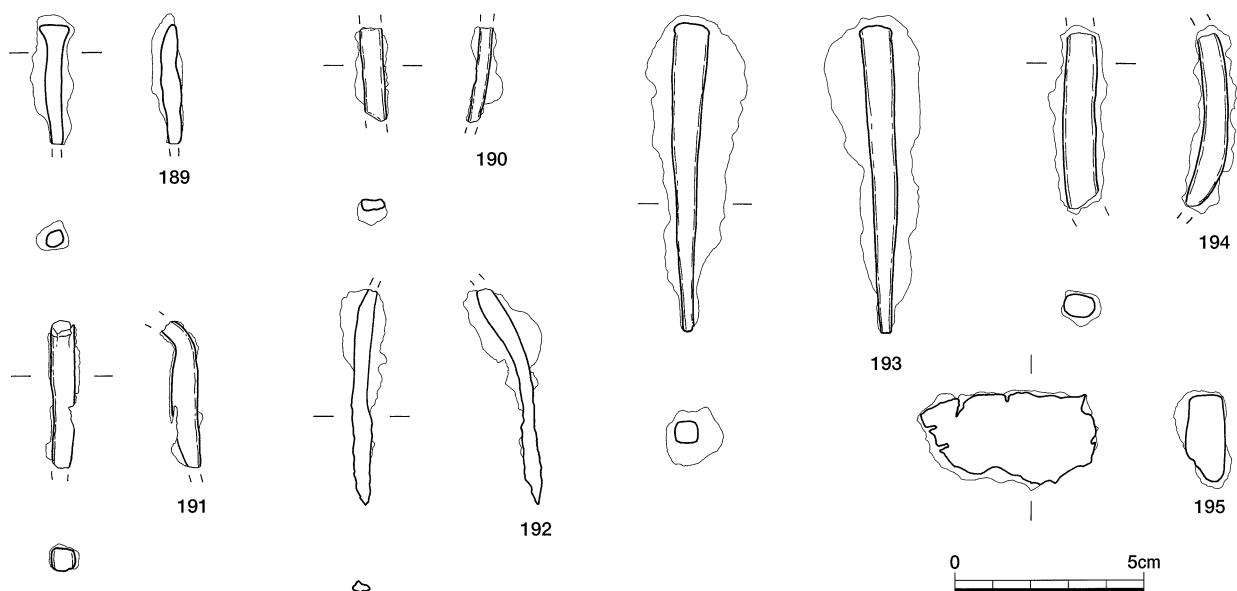
187



188



第55図 包含層出土遺物 (6)



第56図 包含層出土鉄器 (7)

包含層出土遺物 (第50～56図)

包含層からの遺物は比較的時期が幅広く出土している。また、中世墓において煮沸具が集中して出土していることより、その周辺の包含層からもこれらに伴うと考えられる土師器の羽釜や鍋が多く出土している。

105は弥生土器の甕底部である。106～111は土師器の甕である。112は土師器の甕または鉢である。113～123は土師器の杯である。124～134は土師器の小皿である。135～137は土師器の茶釜である。138～149は土師器の羽釜およびその脚部である。150～159は土師器の鍋である。160～162は土師器の播り鉢・捏ね鉢である。163～168は須恵器の杯である。169、170は須恵器の甕である。171～173は須恵器の捏ね鉢である。174は陶器の鉢である。175は陶器の碗である。176は陶器の播り鉢である。177～180は青磁の碗である。181は白磁の子壺である。182は磁器の皿である。183、184は磁器の碗である。185は砥石である。186は鉄刀である。187は鍍金具である。188は鉄製の鉋である。189～195は鉄製の釘である。

3 まとめ

供養地遺跡においてとくに注目される発見および成果は、6基の中世墓を確認したことである。その中でもST1002～1006の5基は、いずれも30～50cm前後の礫を用い集石するなどの基本形態をもっていることで共通している。この集石に用いられる礫群は、吉野川南岸に立地する当該遺跡においては岩盤および吉野川周辺で容易に入手が可能なものである。また、ST1003、1004においては、平面形状は異なるもののさらに礫を用いて長軸1.2m、短軸1m前後を測る小規模な埋葬施設を構築する点でも共通しており、興味深い。

出土遺物をみても、土師器の羽釜や鍋といった煮沸具が圧倒的に多く出土している点においても注目される。いずれの中世墓においても100%に近い数字で煮沸具が出土しており、しかも全てが破片である。しかし、底部まで復元できたものはないということで共通している。

つまり、底部以外の部位を選んでいるということが考えられる。これらの煮沸具が意図的に破壊されたのか、破片となったものを選定して集石内におさめたのかという点については今回の調査において判断し得ていないが、いずれにしても土師器の煮沸具に限定された破片を埋葬施設以外の範囲に散布するという祭祀行為を伴っていることは断定できそうである。

この集石の内部に礫を用いて埋葬施設を構築する方法や集石の範囲の全面に土師器の煮沸具に限定される破片を散布するという祭祀行為は同町内に隣接するお塚古墳¹⁾においてもみられることであり、この吉野川上流域における中世段階の礫を用いた埋葬形態のあり方という点において注目されることである。

なお、吉野川上流域において当該期の石組みの墓は吉野川北岸の三好町円通寺遺跡²⁾や南岸の池田町山田遺跡(Ⅱ)³⁾においても確認されているが、いずれも供養地遺跡やお塚古墳のような形態ではなく方形区画の列石をもちその場で火葬して茶毘に付している点で異なっている。資料の蓄積を待ち、今後の検討に期待したい。

註

1) 本報告書所収

2) 辻 佳伸ほか『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 15 円通寺遺跡』

(財) 徳島県埋蔵文化財センター 2000

3) 本報告書所収

第1表 供養地遺跡 検出遺構一覧表 堀立柱建物跡

遺構番号	調査区	位置	平面形態	構造(間)	遺構規模(cm)				面積(m ²)	主軸方位	付属施設	出土遺物
					梁間		桁行					
					長軸	柱間寸法	長軸	柱間寸法				
SA1001	B	E-9・10	側柱式	1×2	125	125.0	437	218.5	5.46	N-85° -E	-	
SA1002	C	I-7・8	側柱式	1×2	225	225.0	245	122.5	5.51	N-82° -W	-	

第2表 供養地遺跡 遺構一覧表 SK

遺構番号	調査区	位置(グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SK1001	C	H・I-7	196	151	56	不整長方形	不整逆台形		
SK1002	C	I-8	190	-	33	不整長方形	船底形		
SK1003	C	I-7・8	144	-	30	楕円形	船底形		
SK1004	C	I-7・8	225	-	33	不整長方形	不整逆台形		
SK1005	C	I・J-7	56	-	9	方形	船底形	土師鍋1	
SK1006	C	J-8	70	48	17	楕円形	逆台形		
SK1007	C	I・J-7・8	335	48	17	不整溝状	逆台形	須恵器椀1、土師皿1	SP1139を切る
SK1008	C	J-7	272	64	37	不楕円形	逆台形		

第3表 供養地遺跡 遺構一覧表 SO

遺構番号	調査区	位置(グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SO1001	A	E・F-3・4	118	79	32	楕円形	逆台形		
SO1002	A	F-3・4	726	270	48	不整形	船底形	土師こね鉢1、軒平瓦1	

第4表 供養地遺跡 遺構一覧表 SJ

遺構番号	調査区	位置(グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SJ1001	C	H-10・11	535	182	56	不楕円形	逆台形	土師小皿1、土師茶釜1、土師羽釜2、土師鍋2、青白磁碗?1	

第5表 供養地遺跡 遺構一覧表 ST

遺構番号	調査区	位置(グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
ST1001	A	E-3	168	123	39	楕円形	逆台形	陶器碗1、土師焙烙2	
ST1002	B	E-8~10	2150	160	70	溝状?	船底形	土師茶釜5、土師羽釜13、土師鍋14、土師釜	SP1004・1037・1040・1041・1042を切り、SP1007・1036に切られる
ST1003	B	F・G-9・10	297	188	182	不整円形	-	土師杯1、土師皿1、土師羽釜9、土師鍋6、土師脚2、須恵器 こね鉢1	
ST1004	B	F-9	64	54	22	方形?	-	土師 杯1	
ST1005	B	F-8・9	380	354	132	不整形	-	土師 羽釜2 鍋1 脚1	
ST1006	C	J・K-6・7	454	196	64	長方形	-	土師茶釜1、土師羽釜5、土師脚4、土師鍋3	

第6表 供養地遺跡 遺構一覧表 SU

遺構番号	調査区	位置(グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SU1001	A	D-1~3	1045	65	35	不整楕円形	逆台形	陶器すり鉢2、瓦器瓦1、壁土3	

第7表 供養地遺跡 遺構一覧表 SP

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1001	B	E-10	11	6		
SP1002	B	E-10	18	4		SA1001
SP1003	B	E-10	66	45		
SP1004	B	E-10	(23)	5		ST1002に切られる
SP1005	B	欠番				
SP1006	B	D-10	20	20		
SP1007	B	E-10	(37)	17		SP1036・ST1002を切る
SP1008	B	E-10	22	18		SA1001
SP1009	B	E-10	22	24		
SP1010	B	E-10	22	21		
SP1011	B	E-10	18	19		SA1001
SP1012	B	E-10	21	21		
SP1013	B	E-10	25	23		SA1001
SP1014	B	E-9	28	26		
SP1015	B	E-9	29	31		
SP1016	B	E-10	24	18		
SP1017	B	E-9	52	39		
SP1018	B	F-9・10	16	21		
SP1019	B	E-9	24	25		SA1001
SP1020	B	E-9	42	31		
SP1021	B	E-9	36	24		SA1001
SP1022	B	F-9	26	22		
SP1023	B	E-9	23	13	土師鍋1	
SP1024	B	E-9	31	28		
SP1025	B	E-8	42	33		
SP1026	B	E-7	20	21		
SP1027	B	E-7	22	19		
SP1028	B	E-7	20	20		
SP1029	B	E-7	28	28		
SP1030	B	F-7	21	23		
SP1031	B	F-6	34	18		
SP1032	B	F-6	23	12		
SP1033	B	F-6	70	35		
SP1034	B	F・G-6	22	17		
SP1035	B	F-5	28	12		
SP1036	B	E-10	42	12		ST1002を切り、SP1007に切られる
SP1037	B	E-8	36	29		ST1002に切られる
SP1038	B	E-10	24	9		
SP1039	B	F-6	27	20		
SP1040	B	E-9	27			ST1002に切られる
SP1041	B	E-9	22	12		ST1002に切られる
SP1042	B	E-9	27	26		ST1002に切られる
SP1043	B	E-9	36	9		
SP1044	B	E-9	20	26		
SP1045	B	F-9	35	34		
SP1046	C	H-6	34	17		
SP1047	C	H-7	25	23	磁器(青磁)碗1	
SP1048	C	H-7	25	10		
SP1049	C	H-7	24	11		
SP1050	C	H-7	26	16		
SP1051	C	H-7	46	20		
SP1052	C	H-7	27	14		
SP1053	C	H-7	25	8		

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1054	C	H-7	21	14		
SP1055	C	H-7	23	14		
SP1056	C	H-7	34	20		
SP1057	C	H-7	33	18		
SP1058	C	H-7	57	26		
SP1059	C	H-6	23	13	磁器椀1	
SP1060	C	H-6	28	15		
SP1061	C	H-6	30	9		
SP1062	C	H-7	33	14		
SP1063	C	H-6・7	21	11		
SP1064	C	H-7	30	20		
SP1065	C	H-7	27	19		
SP1066	C	H-7	31	20		
SP1067	C	I-6	32	17		
SP1068	C	I-6	20	20		
SP1069	C	I-6	26	13		
SP1070	C	I-7	26	16		
SP1071	C	I-7	25	15		
SP1072	C	I-7	23	18		
SP1073	C	I-7	20	13		
SP1074	C	I-7	46	15		
SP1075	C	I-7	52	20		SA1002
SP1076	C	I-7	32	22		
SP1077	C	I-7	36	13		
SP1078	C	I-7	43	13		SA1002
SP1079	C	I-6・7	26	17		
SP1080	C	I-7	24	20		
SP1081	C	I-7	32	19		
SP1082	C	I-7	21	16		
SP1083	C	I-6	25	18		
SP1084	C	I-6	21	15		
SP1085	C	I-6	26	7		SP1086を切る
SP1086	C	I-6	23	11		SP1085に切られる
SP1087	C	I-6	20	23		
SP1088	C	J-6	27	14		
SP1089	C	J-6	32	12		
SP1090	C	J-7	21	11		
SP1091	C	J-7	23	16		
SP1092	C	G-8	25	21		
SP1093	C	H-8	26	12		
SP1094	C	H-8	24	10		
SP1095	C	H-8	26	14		
SP1096	C	H-8	27	15		
SP1097	C	H-8	25	20		
SP1098	C	H-8	37	14		
SP1099	C	H-8	28	16		
SP1100	C	H-8	40	25		
SP1101	C	H-8	24	16		SP1102に切られる
SP1102	C	H-8	30	14		SP1101を切る
SP1103	C	I-8	26	17		
SP1104	C	I-8	60	27		
SP1105	C	I-8	59	20		
SP1106	C	I-8	35	18		SA1002

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1107	C	I-8	32	19		
SP1108	C	I-7	26	10		SA1002
SP1109	C	I-8	22	22		
SP1110	C	I-8	28	4		
SP1111	C	I-8	28	10		
SP1112	C	J-8	(23)	15		SP1113に切られる
SP1113	C	J-8	24	22	鉄釘1	SP1112を切る
SP1114	C	J-7・8	26	18		
SP1115	C	J-8	28	18		
SP1116	C	J-8	23	19		
SP1117	C	J-8	34	25		
SP1118	C	J-8	22	16	土師皿1	
SP1119	C	J-8	35	22		
SP1120	C	J-8	28	20		
SP1121	C	J-8	38	14		
SP1122	C	I-9	37	18		
SP1123	C	I-9	20	10		
SP1124	C	I-9	28	13		

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)		出土遺物	備考
			長軸	深さ		
SP1125	C	H-6・7	26	17		
SP1126	C	I-6	44	31	土師杯1	
SP1127	C	J-9	26	24		
SP1128	C	I-7	40	12		
SP1129	C	I-6	21	22		
SP1130	C	I-6	25	13		
SP1131	C	I-8	38	19		
SP1132	C	J-7	36	10		
SP1133	C	J-7	38	15		
SP1134	C	I-8	31	20		
SP1135	C	I-8	24	13		
SP1136	C	I-8	24	20		
SP1137	C	I-8	20	18		
SP1138	C	I-8	34	18		SA1002
SP1139	C	I・J-7	25	27		SK1007に切られる
SP1140	C	J-7	26	19		
SP1141	C	J-5	35	40	土師杯1	

第8表 供養地遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
1	C区 SK1005	土師器 鍋	10%	33.1	-	-	-	(10.5)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後板ナデ(ヨコ方向後ナメ方向) 内)口縁部:ナデ、指オサエ後ヨコ方向のハケ、体部:指オサエ後ヨコ方向のハケ後ナメ方向のハケ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	長、雲、石	
2	C区 SK1007	土師器 皿	30%	8.0	-	4.8	-	1.5	-	外)口縁部:ヨコナデ、底部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)橙 内)橙	雲、赤、片	
3	C区 SK1007	須恵器 椀	10%	12.3	-	-	-	(2.4)	-	外)口縁部:回転ナデ 内)口縁部:回転ナデ	外)灰 内)灰		西村 系?
4	A区 SO1002	土師器 こね鉢	90%	-	-	15.7	-	(5.6)	-	外)体部:回転ヘラ切り後指ナデ、底部:回転ヘラ切り後指オサエ 内)体部:回転ナデ後指ナデ、指オサエ	外)明赤褐 内)明赤褐	石、結	
5	A区 SO1002	土師器 軒平瓦	-	-	-	-	-	-	-	全体に薄い釉有り	外)明赤褐	長、雲、石	
6	C区 SJ1001	土師器 小皿	20%	7.6	-	6.1	-	1.25	-	外)口縁部:ヨコ方向のナデ、底部:ヘラ切り 内)口縁部:ヨコ方向のナデ、底部:ナデ	外)橙 内)橙	雲、長	
7	C区 SJ1001	青白磁? 碗	10%	11.4	-	-	-	(2.8)	-	外)口縁部:ロクロナデ 内)口縁部:ロクロナデ	内・外)うすい黄緑	砂	
8	C区 SJ1001	土師器 茶釜	10%	21.8	-	-	-	(4.8)	-	外)口縁部:ヨコナデ、指オサエ、体部:板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)橙	長、赤、石	
9	C区 SJ1001	土師器 羽釜	10%	24.8	-	-	鏝径 (27.9)	(4.9)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向のナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ナデ 外面鏝以下煤?付着(黒褐色)	外)明黄褐 内)明黄褐	石、長、結	
10	C区 SJ1001	土師器 羽釜	-	31.5	-	-	-	(5.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、ヨコ方向の指ナデ後ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)明黄褐 内)ぶい黄橙	石、雲、結	
11	C区 SJ1001	土師器 鍋	20%	25.6	-	-	-	(8.2)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ 内)口縁部:板ナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)赤橙 内)橙	石、長、赤 頁、頁	
12	C区 SJ1001	土師器 鍋	20%	31.2	-	-	-	(7.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、指オサエ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)橙	雲、長、結	
13	A区 ST1001	陶器 碗	80%	-	-	高台径 4.4	-	(2.0)	高台高 0.5	外)体部:回転ヘラケズリ・一部釉有、底部:ケズリ出し高台 内)体部:ロクロ・施釉(一部釉なし) 見込み環状無釉、蛇の目かけはぎ	(釉)内面・グレイみの緑 (素地)ぶい黄橙		
14	B区 ST1002	土師器 茶釜	10%	16.7	-	-	-	(5.7)	-	外)口縁部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:指オサエ後板ナデ	外)黄橙 内)明黄褐	石、雲	
15	B区 ST1002	土師器 茶釜	2%	-	-	-	-	(10.0)	-	外)体部:指オサエ後タテ方向の板ナデ 内)体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	内・外)ぶい黄橙	結	
16	B区 ST1002	土師器 茶釜	80%	14.1	26.4	-	-	(12.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後タテナデ、ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)黄橙 内)黄橙	石、長、結	
17	B区 ST1002	土師器 茶釜	40%	14.8	-	-	16.3	(7.45)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)ぶい黄橙	結、石	
18	B区 ST1002	土師器 茶釜	10%	-	-	-	-	(7.7)	-	外)体部:指オサエ後タテナデ 内)体部:指オサエ後ヨコナデ	外)ぶい黄橙 内)橙	長、雲、頁	
19	B区 ST1002	土師器 羽釜	-	-	-	-	-	-	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	石、雲、結	
20	B区 ST1002	土師器 羽釜	-	-	-	-	-	-	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向のナデ	内・外)ぶい黄橙	長、雲、石	
21	B区 ST1002	土師器 羽釜	20%	23.2	-	-	鏝径 (26.1)	(9.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後タテナデ方向の板ナデ、ヨコ方向の板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)橙	長、赤、頁	
22	B区 ST1002	土師器 鍋	30%	24.7	-	-	鏝径 (26.6)	(8.7)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:板ナデ	外)ぶい黄橙 内)明黄褐	長、赤、石	
23	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	21.8	-	-	鏝径 (25.5)	(5.5)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	長、雲、石、 赤	
24	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	28.2	-	-	鏝径 (30.7)	(6.4)	-	外)口縁部:ヨコナデ後指オサエ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)浅黄	長、雲、石	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
25	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	26.8	-	-	鐏径 (29.3)	(10.0)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後 板ナデ 内)口縁部:板ナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板 ナデ	外)橙 内)橙	石、長	
26	B区 ST1002	土師器 鍋	5%	24.8	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ・指オサエ後ナデ 内)口縁部:板ナデ	外)橙 内)橙	石、長、結	
27	B区 ST1002	土師器 羽釜	15%	17.0	-	-	鐏径 (20.0)	(4.3)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ、体部:指オサエ後板 ナデ 内)口縁部:指オサエ、体部:指オサエ後板ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	長、赤、結	
28	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	15.8	-	-	鐏径 (19.1)	(4.7)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後 ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコナデ 外面鐏部以下煤付着	外)明赤褐 内)明赤褐	長、雲、石、 赤	
29	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	16.3	-	-	鐏径 (19.2)	(4.4)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ・ナデ	外)にぶい黄橙 内)にぶい橙	石、赤、雲、 長	
30	B区 ST1002	土師器 羽釜	25%	23.0	-	-	鐏径 (27.3)	(4.7)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:接合痕時による指オサエ後ナデ、体部: 指オサエ後板ナデ	外)橙 内)褐	石、赤、雲、 長	
31	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	22.0	-	-	鐏径 (25.55)	(4.2)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向のナデ・指オサエ? ヨコ方向のナデ、体部:指オサエ後ヨコ方向のナデ 内)口縁部:ヨコ方向のナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	長、雲、石	
32	B区 ST1002	土師器 鍋	20%	26.25	-	-	鐏径 (29.1)	(6.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ後指オサエ・ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ後ナデ・指オサエ 、その他:把手部分 指オサエ後ナデ	外)橙 内)橙	長、赤、石	
33	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	27.0	-	-	鐏径 (30.15)	(8.5)	-	外)口縁部:ヨコナデ・指オサエ後ヨコの板ナデ、体 部:ナデ・指オサエ後板ナデ・指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 板ナデ	外)橙 内)橙	石、雲、結	
34	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	34.7	-	-	鐏径 (37.6)	(6.7)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:板ナデ	外)橙 内)にぶい黄橙	雲、赤、長	
35	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	28.4	-	-	鐏径 (32.0)	(4.45)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ後 指オサエ	内・外)にぶい黄橙	長、雲、石	
36	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	17.8	-	-	鐏径 (21.3)	(5.5)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ、体部:指オサエ後板 ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)明赤褐 内)橙	長、雲、石、 赤	
37	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	36.6	-	-	鐏径 (36.8)	(8.6)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後ナデ・ナデ	外)にぶい黄 内)浅黄	石、雲、泥、 結	
38	B区 ST1002	土師器 羽釜	60%	25.7	30.2	-	鐏径 28.95	(11.35)	-	外)口縁部:ナデ後指オサエ、体部:指オサエ後ヨコ 方向のハケ・タテ方向のハケ(7条/cm) 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)黒褐 内)明黄褐	雲、赤、石	
39	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	26.8	-	-	-	(7.5)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後板ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後ヨコ方向の板ナデ、その他:輪積痕あり	外)明黄褐 内)明黄褐	石、長	
40	B区 ST1002	土師器 羽釜	13%	21.8	-	-	鐏径 (25.0)	(7.3)	-	外)口縁部:回転ナデ・指オサエ後回転ナデ、体部: 指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後板ナデ	外)浅黄 内)明褐	長、雲、石、 赤	
41	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	33.0	-	-	-	(6.1)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後クテナデ・ ヨコナデ、外面に煤付着 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	石、赤、結	
42	B区 ST1002	土師器 鍋	13%	23.4	-	-	鐏径 (25.6)	(6.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:板ナデ	外)褐灰 内)にぶい黄橙	長、赤、結	
43	B区 ST1002	土師器 脚	10%	-	-	-	-	-	-	外)その他:指オサエ後指ナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	長、石、頁、 赤	
44	B区 ST1002	土師器 羽釜(脚部)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ・指オサエ 内)体部:ナデ	外)にぶい黄橙 内)にぶい橙	石、長、雲、 砂	
45	B区 ST1002	土師器 脚	10%	-	-	-	-	-	-	外)その他:指オサエ後指ナデ 内)体部:指オサエ・ナデ	外)明赤褐 内)にぶい赤褐	長、石、赤頁	
46	B区 ST1002	土師器 羽釜 (脚部)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ・指オサエ 内)体部:ナデ	外)にぶい褐 内)にぶい黄褐	石、長、雲、 砂	
47	B区 ST1002	土師器 脚	10%	-	-	-	-	-	-	外)その他:指オサエ後指ナデ 内)体部:ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	長、赤頁 石、	
48	B区 ST1002	土師器 羽釜(脚部)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ・指オサエ 内)体部:ナデ	外)にぶい橙 内)明赤褐	石、雲、赤	
49	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	28.4	-	-	-	(6.1)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:板ナデ	外)明赤褐 内)褐	石、長	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入 品
50	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	32.4	-	-	-	(5.5)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ・ 指ナデ	外)橙 内)明黄褐	石、雲、結	
51	B区 ST1002	土師器 播鉢	10%	33.45	-	-	-	(7.5)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ナデ、体部:板ナデ	外)明赤褐 内)橙	石、長	
52	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	31.4	-	-	-	(3.6)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)にぶい褐 内)橙	赤頁、長	
53	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	40.45	-	-	-	(6.8)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、体部: 指オサエ後タテ方向の板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:タテ方向の板ナデ	外)にぶい黄褐 内)明黄褐	結、長	
55	B区 ST1003	土師器 杯	10%	11.05	-	(8.85)	-	3.6	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り 内)口縁部:回転ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	結、雲、赤	
56	B区 ST1003	土師器 皿	-	-	-	4.8	-	(1.2)	-	外)体部:回転ナデ、底部:静止糸切り?後ヘラ圧痕 内)体底部:回転ナデ	外)浅黄橙 内)浅黄橙	長、赤、石	
57	B区 ST1003	土師器 羽釜	-	-	-	-	-	(3.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:ナデ・指オサエ、外面 鏝以下煤付着 内)口縁部:ナデ	外)明黄褐 内)赤褐	石、赤	
58	B区 ST1003	土師器 羽釜	11%	24.0	-	-	鏝径 (26.0)	(3.2)	-	外)口縁部:指オサエ、体部:指オサエ後ナデ、一 部爪のあとが残る 内)口縁部:ナデ	内・外)にぶい黄橙	石、赤、結	
59	B区 ST1003	土師器 羽釜	20%	24.35	-	-	鏝径 (27.05)	(9.1)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ・ナデ、底部:板ナデ 後指オサエ・ナデ 内)口縁部:板ナデ後ナデ、底部:板ナデ後指オサエ	外)明黄褐 内)橙	石、雲、結	
60	B区 ST1003	土師器 羽釜	27%	22.0	-	-	鏝径 (25.0)	(12.1)	-	外)口縁部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:指オサエ後板ナデ	外)明黄褐 内)浅黄橙	長、雲、石、 赤	
61	B区 ST1003	土師器 羽釜	15%	24.8	-	-	鏝径 (27.65)	(7.9)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ、外面 に煤付着 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)にぶい黄橙 内)褐	長、雲、頁、 赤	
62	B区 ST1003	土師器 羽釜	10%	28.2	-	-	鏝径 (31.0)	(6.0)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ(体部 途中まで)、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)明黄橙	長、雲、石	
63	B区 ST1003	土師器 鍋	-	34.0	-	-	鏝径 (36.2)	(6.0)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ後 板ナデ 内)口縁部:ヨコヨコ方向の板ナデ、体部:板ナデ	外)にぶい橙 内)浅黄橙	長、石、赤	
64	B区 ST1003	土師器 羽釜	10%	28.0	-	-	鏝径 (30.8)	(9.1)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ	外)橙 内)にぶい黄橙	石、雲、結	
65	B区 ST1003	土師器 鍋	10%	26.55	-	-	鏝径 (29.5)	(10.2)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ、体部:指オサエ後板 ナデ 内)口縁部:指オサエ後ナデ、体部:ヨコ方向の板 ナデ	外)橙 内)橙	石、長、頁	
66	B区 ST1003	土師器 羽釜	20%	25.0	-	-	鏝径 (27.9)	(13.7)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	石、雲、結	
67	B区 ST1003	土師器 羽釜	14%	(23.4)	-	-	鏝径 (27.0)	(6.7)	-	外)口縁部:回転ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:回転ナデ、体部:指オサエ後板ナデ	外)橙 内)にぶい橙	長、雲、石	
68	B区 ST1003	土師器 羽釜	20%	17.0	-	-	鏝径 (20.3)	(7.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ	外)橙 内)橙	長、赤、石	
69	B区 ST1003	土師器 羽釜(脚 部)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ・指オサエ 内)体部:ナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	石	
70	B区 ST1003	土師器 羽釜(脚 部)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他:指ナデ・指オサエ 内)体部:ナデ	外)にぶい黄橙 内)にぶい橙	石、長、雲、 砂	
71	B区 ST1003	土師器 鍋	15%	32.4	-	-	-	(9.2)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ・指オ サエ後タテ方向の板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ナデ	外)橙 内)橙	長、雲、石	
72	B区 ST1003	土師器 鍋	-	37.6	-	-	-	(3.5)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ、外面 に煤付着 内)口縁部:ヨコナデ	外)橙 内)明赤褐	石、赤、長、 雲、頁	
73	B区 ST1003	須恵器 こね鉢	10%	26.5	-	-	-	(2.7)	-	外)口縁部:回転ナデ 内)口縁部:回転ナデ	外)灰白 内)灰白	長、赤頁、 頁	
74	B区 ST1004	土師器 杯	40%	-	-	8.85	-	(2.5)	-	外)体部:回転ナデ、底部:回転ヘラ切り後ナデ 内)体部:回転ナデ	外)褐 内)にぶい褐	雲、頁、結	
75	B区 ST1005	土師器 羽釜	20%	24.6	-	-	鏝径 (27.05)	(10.0)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ヨコ方向の板ナデ・タテ方向の板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)明黄褐	石、長、結、 赤	
76	B区 ST1005	土師器 羽釜	10%	29.6	-	-	鏝径 (31.8)	(7.5)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後ナデ、外面に煤付着 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)明赤褐	石、結、雲、 長	